

# 第1期倉吉市国民健康保険 データヘルス計画

平成31年3月  
倉吉市



-目次-

第1章 計画策定について		
1. 背景		4
2. 計画期間		4
3. 基本方針		5
4. データヘルス計画の位置づけ		6
5. 実施体制・関係者連携		6
第2章 現状と課題把握		
1. 保険者の特性把握		7
(1) 基本情報		7
(2) 医療費等の状況		10
(3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況		11
① 特定健康診査		11
② 特定保健指導		13
(4) 介護保険の状況		15
(5) 主たる死因の状況		19
2. 過去の取り組みの考察(計画作成以前の振り返り)		21
(1) 計画作成以前の各事業達成状況		21
(2) 計画作成以前の各事業実施内容		23
① 特定健康診査未受診者対策事業		23
② 特定保健指導未利用者対策事業		24
③ 生活習慣病重症化予防訪問指導事業		25
④ 生活習慣病治療中断者訪問指導事業		26
⑤ 生活習慣病予防啓発事業		27
⑥ 重複・頻回受診者訪問指導事業		28
⑦ ジェネリック医薬品差額通知事業		29
3. 医療情報分析結果		30
(1) 基礎統計		30
(2) 高額レセプトの件数及び医療費		31
① 高額レセプトの件数及び割合		31
② 高額レセプト発生患者の疾病傾向		33
(3) 疾病別医療費		37
① 大分類による疾病別医療費統計		37
② 中分類による疾病別医療費統計		41
(4) 生活習慣病に係る医療費		51
4. 保健事業実施に係る分析結果		54
(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析		54
(2) 特定健康診査に係る分析		55
(3) 特定保健指導に係る分析		57
(4) 健診異常値放置者に係る分析		59
(5) 生活習慣病治療中断者に係る分析		61
(6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析		63
(7) COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る分析		67

-目次-

	(8) 受診行動適正化に係る分析	71
	(9) ジェネリック医薬品普及率に係る分析	74
	5. 分析結果に基づく健康課題の把握	77
	(1) 分析結果	77
	(2) 分析結果に基づく課題とその対策	82
<b>第3章 保健事業実施計画</b>		
	1. 各事業の目的と概要一覧	83
	2. 全体スケジュール	85
	3. 各事業の実施内容と評価方法	86
	(1) 特定健康診査未受診者対策事業	86
	(2) 特定保健指導未利用者対策事業	89
	(3) 生活習慣病重症化予防訪問指導事業	91
	(4) 生活習慣病治療中断者訪問指導事業	94
	(5) 糖尿病性腎症重症化予防事業	97
	(6) COPDの早期発見に向けた啓発事業	99
	(7) 重複・頻回受診者訪問指導事業（重複・頻回受診、重複服薬）	101
	(8) ジェネリック医薬品差額通知事業	103
<b>第4章 その他</b>		
	1. データヘルス計画の見直し	106
	(1) 評価	106
	(2) 評価時期	106
	2. 計画の公表・周知	106
	3. 個人情報の取り扱い	107
	4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項	107
<b>地区分析</b>		
	1. 大分類による疾病別医療費地区別統計	
	2. 中分類による疾病別医療費地区別統計	
<b>年度別 特定健康診査結果分析</b>		
	1. 有所見者割合	
	2. 質問別回答状況	
<b>巻末資料</b>		
	1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方	
	2. 用語解説集	
	3. 疾病分類表(2013年版)	
	4. 分析方法	

# 第1章 計画策定について

## 1. 背景

近年、特定健康診査（以下「特定健診」という。）の実施や診療報酬明細書（以下「レセプト」という。）等の電子化の進展、国保データベース（KDB）システム（以下「KDB」という。）等の整備により、保険者が健康や医療に関する情報を活用して被保険者の健康課題の分析、保健事業の評価等を行うための基盤整備が進んでいます。

平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータの分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取り組みを求めるとともに市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」とされました。

これまでレセプトや特定健康診査の結果から得られる医療及び健康に関する情報を活用することにより、「特定健康診査等実施計画」の策定や見直し、そのほかの保健事業を実施してきましたが、今後は更なる被保険者の健康保持増進に努めるため、保有しているデータを活用しながら被保険者をリスク別に分けてターゲットを絞った保健事業の展開やポピュレーションアプローチ※1から重症化予防まで網羅的に保健事業を進めていくことが求められています。

こうした背景を踏まえ、保健事業の実施等に関する指針（「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」平成16年厚生労働省告示第307号）の一部を改正する等により、保険者は健康・医療情報を活用してPDC Aサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）を策定した上で、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとなりました。

※倉吉市国民健康保険は国がいう「第1期計画（H27～H29）」は策定していません。

国がいう「第2期計画（H30～H35）」から取組むこととし、これを「第1期倉吉市国民健康保険データヘルス計画」として策定するものです。

※1 ポピュレーションアプローチ…まだ高リスクを抱えていない集団に働きかけ、集団全体がリスクを軽減したり病気を予防したりできるようにすること。

## 2. 計画期間

本計画の期間は、平成30年度を初年度とし、第3期倉吉市国民健康保険特定健康診査等実施計画等との整合を勘案し、平成35年度を目標年度とする6年間の計画とします。

### ■ 計画期間

平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度
					

### 3. 基本方針

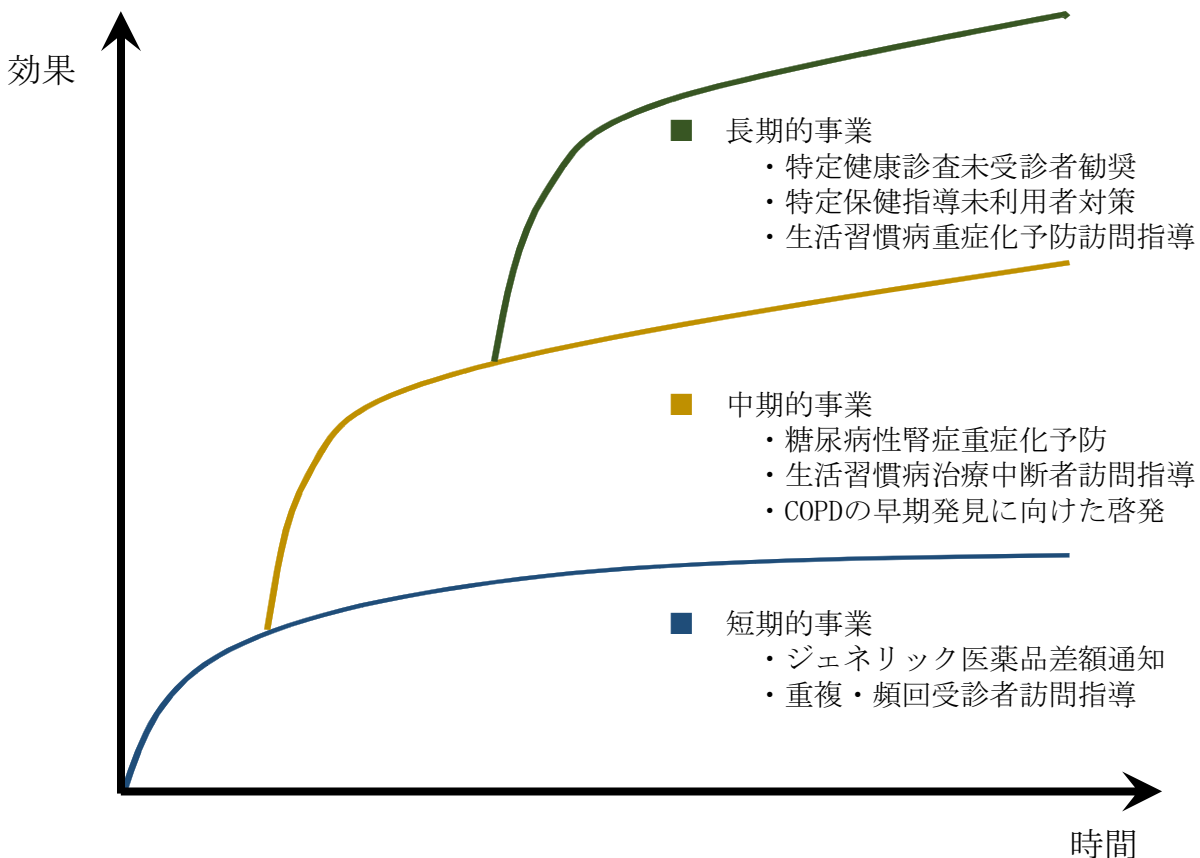
データヘルス計画では、短期的に取り組むべき対策と、中長期的に取り組むべき対策について、それぞれの段階にあった事業を行うことを計画します。

目標とする成果を達成するために、以下の基本方針でデータヘルス計画を策定します。

1. 潜在する課題を確認するため、疾病ごとの医療費比較、高額レセプトの発生状況や発生元となる疾病の把握を行い課題を明確にします。
2. 明確となった課題より、「短期的な対策」・「中長期的な対策」を選択します。費用対効果の見込める集団を特定し、PDCAサイクルを意識した継続的な事業を実施します。
3. データヘルス計画には、実施事業に対する明確な目標を設定し、記載します。またこの目標を達成することのできる効果的な実施方法を検討し、明示します。目標に対する客観的な効果測定が必要であることから、事業実施後の効果測定方法についても記載することとします。

事業には、即効性が大きい反面効果額が小さい短期的事業と、即効性は小さい反面将来の大きな医療費削減につながる中・長期的な事業があります。

下図は代表的な保健事業の組み合わせです。これら事業を倉吉市国民健康保険の実情に合わせて、効率良く実施します。



## 4. データヘルス計画の位置づけ

---

「21世紀における国民健康づくり運動(健康日本21(第2次))」に示された基本方針を踏まえるとともに、「市町村健康増進計画」で用いた評価指標を用いる等、それぞれの計画と整合性を図る必要があります。

## 5. 実施体制・関係者連携

---

本データヘルス計画の遂行に当たっては、保険担当部局が主体となり、関係部局(保健衛生、介護部門等)、保健師・栄養士等の専門職が共同で事業を推進します。そのために、課題や評価について共有する場としてのプロジェクトチーム等を設置し、一体となって保健事業の実施に当たります。

また、医師会、栄養士会等の外部有識者が議論に参画できる協議の場として、既存の協議会等の活用や鳥取県、鳥取県国民健康保険団体連合会(保健事業支援・評価委員会による国保・後期高齢者ヘルスサポート事業等の活用)、全国健康保険協会鳥取支部などの各種機関と必要な連携及び協力を行います。

加えて、市民主体の健康づくりを推進するためには、隣近所など地域の中での取り組みを進めていくことが重要であることから、市内各地区の健康づくり推進員や食生活改善推進員と連携及び協力を行い、被保険者自身が当事者意識を持って主体的・積極的に取り組める体制を整備しながら事業を運営します。

本計画の見直し等においては、倉吉市国民健康保険運営協議会へ報告を行うとともに、必要に応じて同会の助言・支援を求めることとします。

### ■ データ分析期間

- ・ 国保データベース(KDB)システムデータ  
平成27年度～平成29年度(3年分)
  
- ・ 入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト  
単年分析  
平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)  
年度分析  
平成27年度…平成27年3月～平成28年2月診療分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年3月～平成29年2月診療分(12カ月分)  
平成29年度…平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)
  
- ・ 健康診査データ  
単年分析  
平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)  
年度分析  
平成27年度…平成27年4月～平成28年3月健診分(12カ月分)  
平成28年度…平成28年4月～平成29年3月健診分(12カ月分)  
平成29年度…平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)

## 第2章 現状と課題把握

### 1. 保険者の特性把握

#### (1) 基本情報

以下は、本市の平成29年度における、人口構成概要を示したものです。高齢化率(65歳以上)は31.7%であり、県との比較で1.1倍となっています。また、国民健康保険被保険者数は11,351人で、市の人口に占める国民健康保険加入率は23.1%です。国民健康保険被保険者平均年齢は54.6歳です。

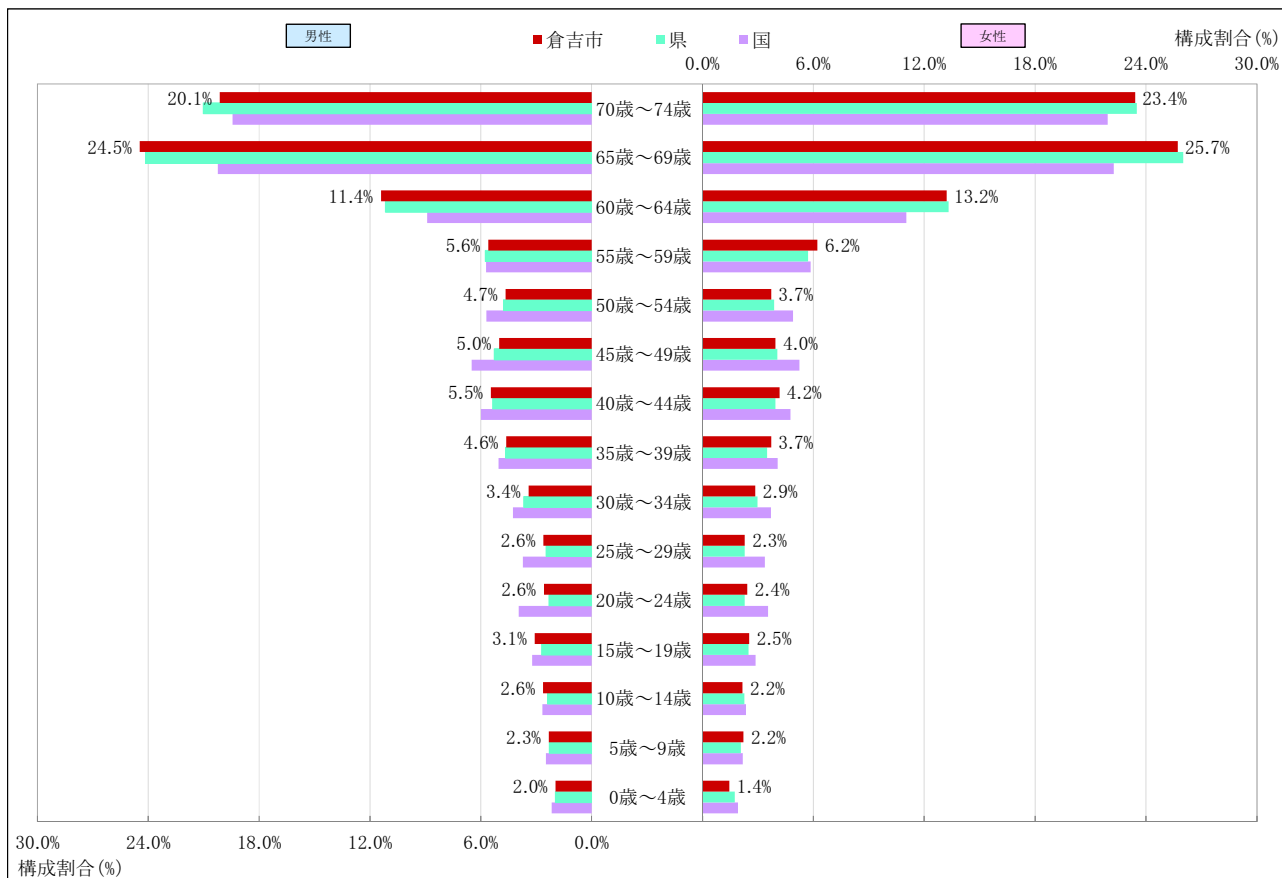
#### 人口構成概要(平成29年度)

	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国民健康保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
倉吉市	49,044	31.7%	11,351	23.1%	54.6	7.8%	14.0%
県	573,441	29.7%	124,593	21.7%	54.8	8.1%	12.8%
国	127,094,745	26.6%	28,831,499	22.7%	52.3	8.0%	10.3%

※「県」は鳥取県を指す。以下すべての表において同様である。

出典:人口は平成27年度国勢調査、その他は国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

#### 男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「人口及び被保険者の状況」



以下は、本市の平成27年度から平成29年度における、人口構成概要を年度別に示したものです。平成29年度を平成27年度と比較すると、国民健康保険被保険者数11,351人は平成27年度12,441人より1,090人減少しており、国民健康保険被保険者平均年齢54.6歳は平成27年度53.7歳より0.9歳上昇しています。

### 年度別 人口構成概要

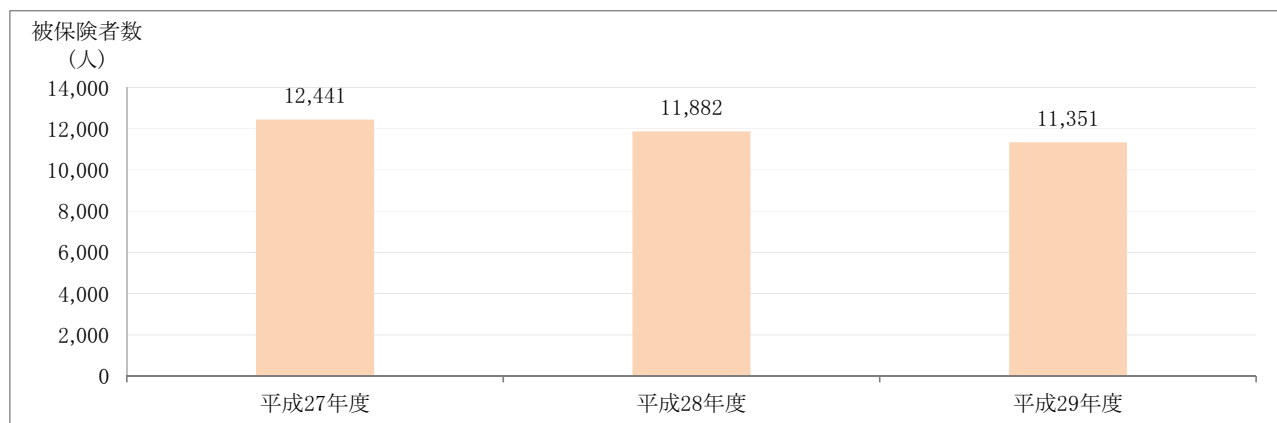
区分		人口総数 (人)	高齢化率 (65歳以上)	国保被保険者数 (人)	国保加入率	国保被保険者 平均年齢 (歳)	出生率 (人口千対)	死亡率 (人口千対)
倉吉市	平成27年度	48,889	30.9%	12,441	25.4%	53.7	7.8	14.1
	平成28年度	48,340	31.6%	11,882	24.6%	54.0	7.6	13.9
	平成29年度	47,755	32.3%	11,351	23.8%	54.6	7.8	13.9
県	平成27年度	579,309	29.7%	135,367	23.4%	53.6	8.0	12.5
	平成28年度	575,264	29.9%	129,656	22.5%	54.2	7.8	12.8
	平成29年度	570,824	30.4%	124,593	21.8%	54.8	7.6	13.2
国	平成27年度	128,066,211	26.3%	31,202,338	24.4%	51.4	8.0	10.2
	平成28年度	127,907,086	26.8%	29,794,893	23.3%	51.8	7.8	10.3
	平成29年度	127,707,259	27.2%	28,831,499	22.6%	52.3	7.6	10.6

出典:

人口総数、高齢化率、出生率、死亡率：総務省人口動態統計

国保被保険者数、国保被保険者平均年齢：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

### 年度別 被保険者数



出典：国保データベース(KDB)システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

以下は、男女・年齢階層別被保険者数を年度別に示したものです。

年度別 男女・年齢階層別国民健康保険被保険者数

単位：人

年齢階層	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性	男女計	男性	女性
0歳～4歳	223	123	100	205	118	87	192	108	84
5歳～9歳	303	155	148	279	146	133	257	128	129
10歳～14歳	297	156	141	294	161	133	272	146	126
15歳～19歳	363	181	182	339	178	161	318	171	147
20歳～24歳	343	171	172	296	140	156	284	143	141
25歳～29歳	365	191	174	337	173	164	278	145	133
30歳～34歳	437	235	202	410	217	193	355	189	166
35歳～39歳	499	264	235	502	277	225	472	256	216
40歳～44歳	642	346	296	605	329	276	544	302	242
45歳～49歳	484	257	227	512	279	233	507	277	230
50歳～54歳	555	298	257	505	274	231	474	258	216
55歳～59歳	865	385	480	744	342	402	672	310	362
60歳～64歳	1,722	789	933	1,556	696	860	1,400	631	769
65歳～69歳	3,057	1,453	1,604	3,072	1,475	1,597	2,850	1,353	1,497
70歳～74歳	2,286	1,021	1,265	2,226	989	1,237	2,476	1,113	1,363
合計	12,441	6,025	6,416	11,882	5,794	6,088	11,351	5,530	5,821

出典：国保データベース（KDB）システム「人口及び被保険者の状況」

## (2) 医療費等の状況

以下は、本市の平成29年度における、医療基礎情報を示したものです。

### 医療基礎情報(平成29年度)

医療項目	倉吉市	県	同規模	国
千人当たり				
病院数	0.8	0.4	0.4	0.3
診療所数	4.4	4.1	3.0	3.4
病床数	119.4	69.9	62.0	53.3
医師数	15.9	14.3	7.9	10.6
外来患者数	653.3	700.7	707.6	691.2
入院患者数	22.8	22.9	24.2	19.4
受診率	676.2	723.6	731.8	710.7
一件当たり医療費(円)	39,410	39,330	39,180	36,710
一般(円)	39,590	39,320	39,180	36,680
退職(円)	31,220	39,780	39,310	38,910
外来				
外来費用の割合	54.9%	55.3%	56.5%	59.5%
外来受診率	653.3	700.7	707.6	691.2
一件当たり医療費(円)	22,380	22,460	22,900	22,470
一人当たり医療費(円)	14,620	15,740	16,200	15,530
一日当たり医療費(円)	15,010	14,810	14,910	14,390
一件当たり受診回数	1.5	1.5	1.5	1.6
入院				
入院費用の割合	45.1%	44.7%	43.5%	40.5%
入院率	22.8	22.9	24.2	19.4
一件当たり医療費(円)	526,280	554,960	514,930	543,240
一人当たり医療費(円)	12,020	12,720	12,470	10,560
一日当たり医療費(円)	33,090	33,170	30,170	34,160
一件当たり在院日数	15.9	16.7	17.1	15.9

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### (3) 特定健康診査受診状況及び特定保健指導実施状況

#### ① 特定健康診査

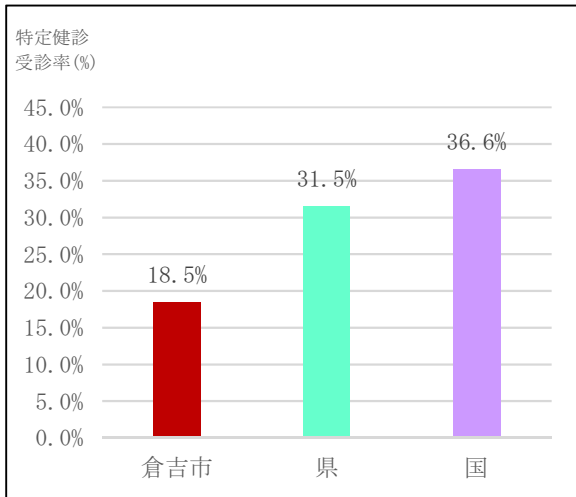
以下は、本市の平成29年度における、40歳から74歳の特定健康診査の受診率を示したものです。

#### 特定健康診査受診率

	特定健診受診率	
	平成28年度	平成29年度（速報値）
倉吉市	18.5%	20.0%
県	31.5%	32.2%
国	36.6%	—

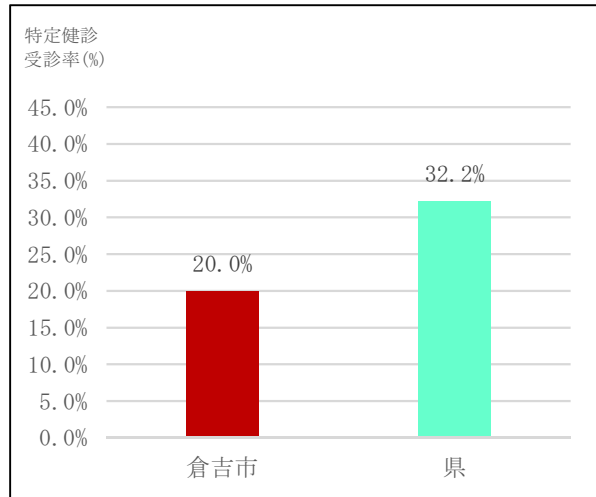
出典：特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

#### 特定健康診査受診率（平成28年度）

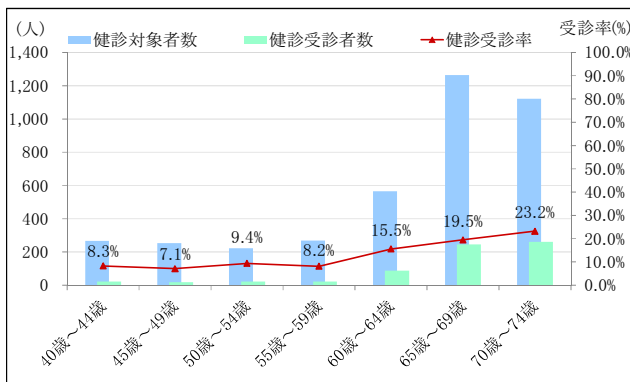


出典：特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

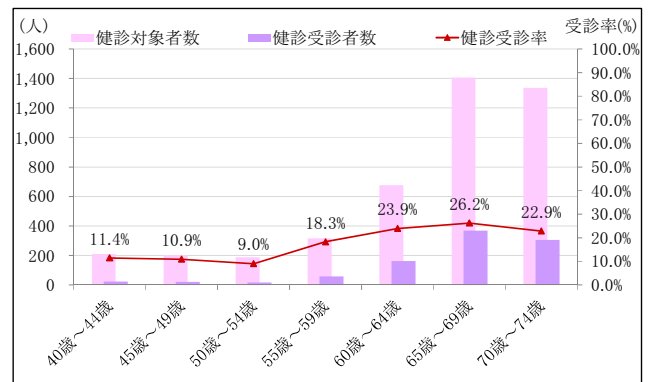
#### 特定健康診査受診率（平成29年度速報値）



#### (男性) 年齢別特定健康診査受診率（平成29年度）



#### (女性) 年齢別特定健康診査受診率（平成29年度）



出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

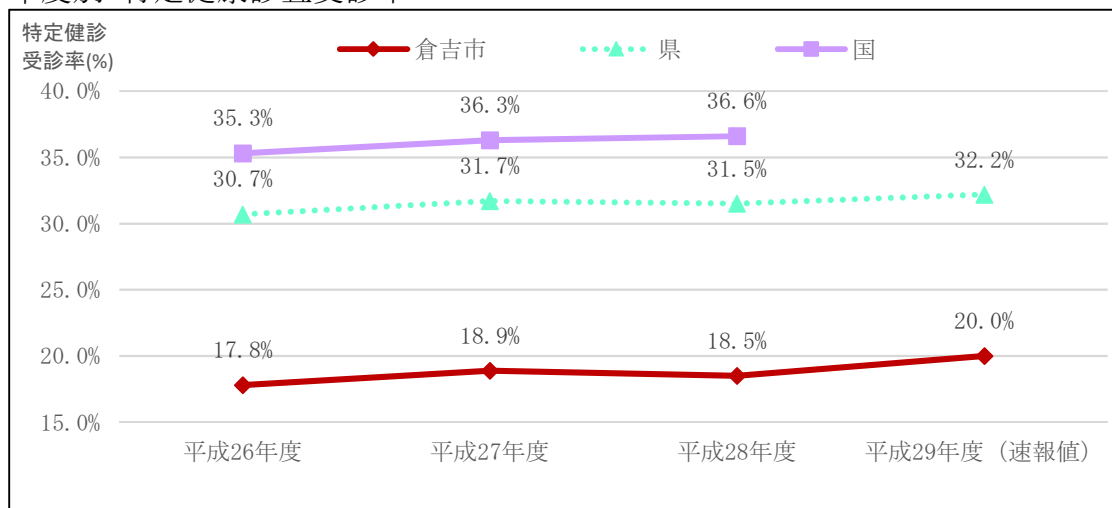
以下は、本市の平成26年度から平成29年度における、40歳から74歳の特定健康診査受診率を年度別に示したものです。平成29年度の特定健康診査受診率20.0%は平成26年度17.8%より2.2ポイント上昇しています。

### 年度別 特定健康診査受診率

	特定健診受診率			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度（速報値）
倉吉市	17.8%	18.9%	18.5%	20.0%
県	30.7%	31.7%	31.5%	32.2%
国	35.3%	36.3%	36.6%	—

出典：特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

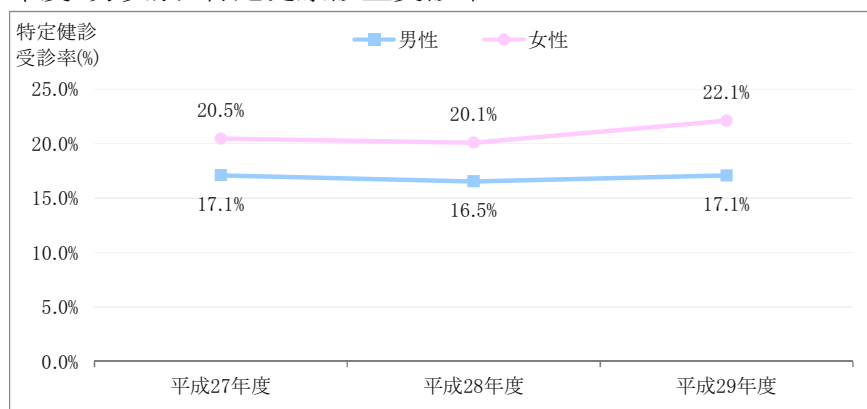
### 年度別 特定健康診査受診率



出典：特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

男女別の特定健康診査の受診率をみると、男性の平成29年度受診率17.1%は平成27年度からほぼ横ばいであり、女性の平成29年度受診率22.1%は平成27年度20.5%より1.6ポイント上昇しています。

### 年度・男女別 特定健康診査受診率



出典：国保データベース（KDB）システム「健診・医療・介護データからみる地域の健康課題」

## ②特定保健指導

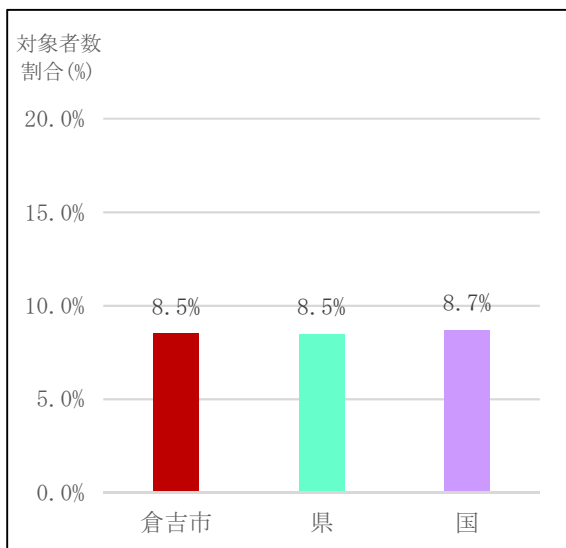
以下は、本市の平成28年度における、特定保健指導の実施状況を示したものです。

### 特定保健指導実施状況(平成28年度)

	動機付け支援 対象者数割合	積極的支援 対象者数割合	支援対象者数割合	特定保健指導 実施率
倉吉市	8.5%	2.5%	11.0%	13.9%
県	8.5%	2.3%	10.8%	29.1%
国	8.7%	2.8%	11.5%	26.3%

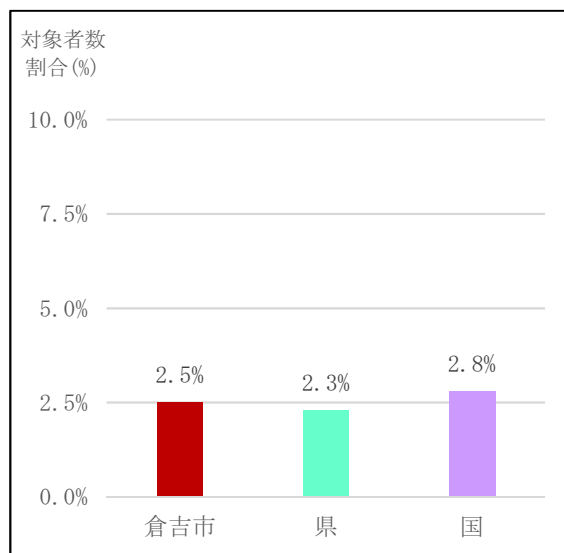
出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 動機付け支援対象者数割合(平成28年度)



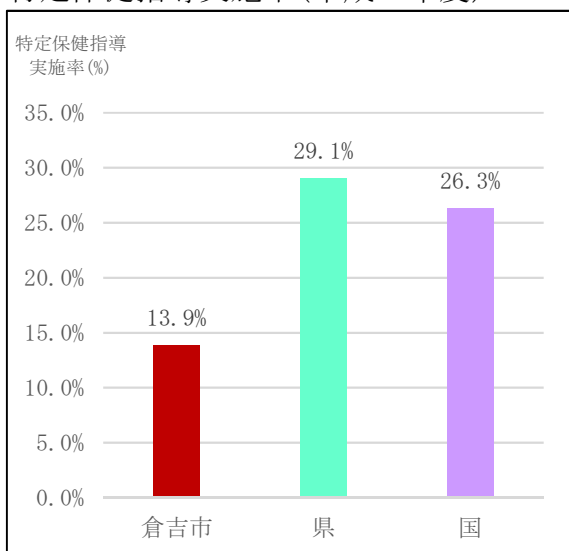
出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 積極的支援対象者数割合(平成28年度)



出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 特定保健指導実施率(平成28年度)



出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

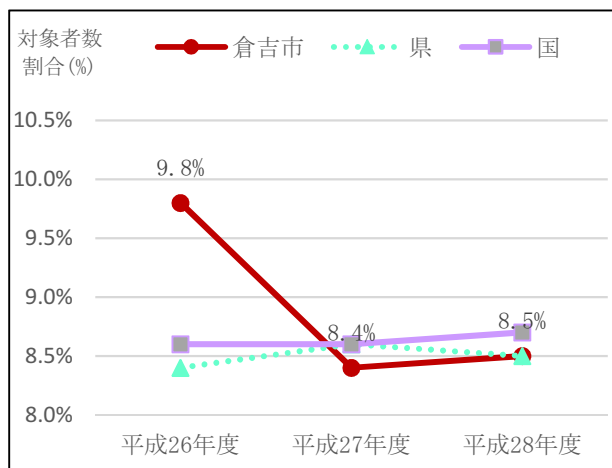
以下は、本市の平成26年度から平成28年度における、特定保健指導の実施状況を年度別に示したものです。平成28年度の特定保健指導実施率13.9%は平成26年度20.5%より6.6ポイント低下しています。

### 年度別 特定保健指導実施状況

	動機付け支援対象者数割合			積極的支援対象者数割合			支援対象者数割合			特定保健指導実施率		
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
倉吉市	9.8%	8.4%	8.5%	2.5%	2.6%	2.5%	12.3%	11.0%	11.0%	20.5%	15.8%	13.9%
県	8.4%	8.6%	8.5%	2.8%	2.4%	2.3%	11.1%	10.9%	10.8%	25.4%	27.4%	29.1%
国	8.6%	8.6%	8.7%	3.0%	2.9%	2.8%	11.6%	11.5%	11.5%	24.4%	25.1%	26.3%

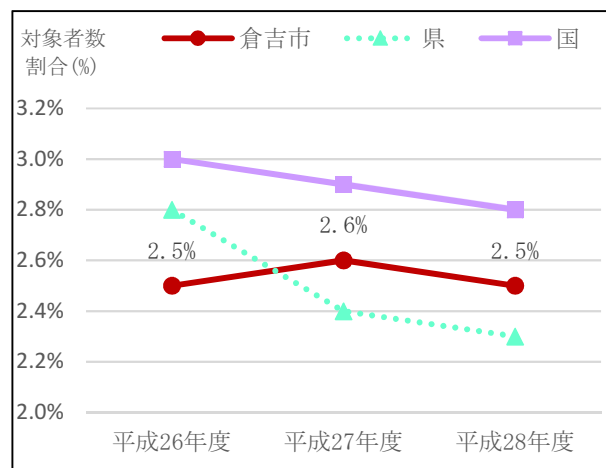
出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 年度別 動機付け支援対象者数割合



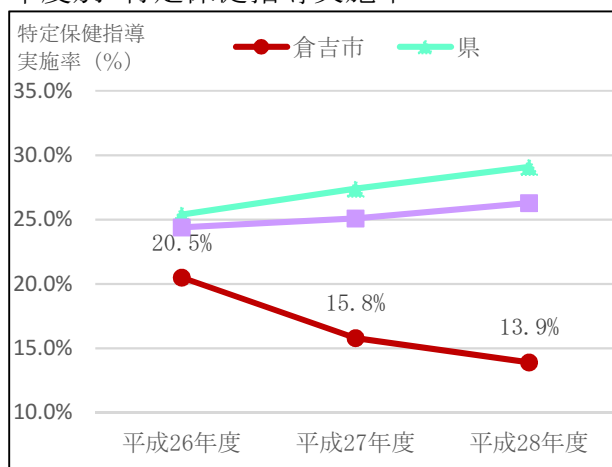
出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 年度別 積極的支援対象者数割合



出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

### 年度別 特定保健指導実施率



出典:特定健康診査・特定保健指導実施状況報告

#### (4) 介護保険の状況

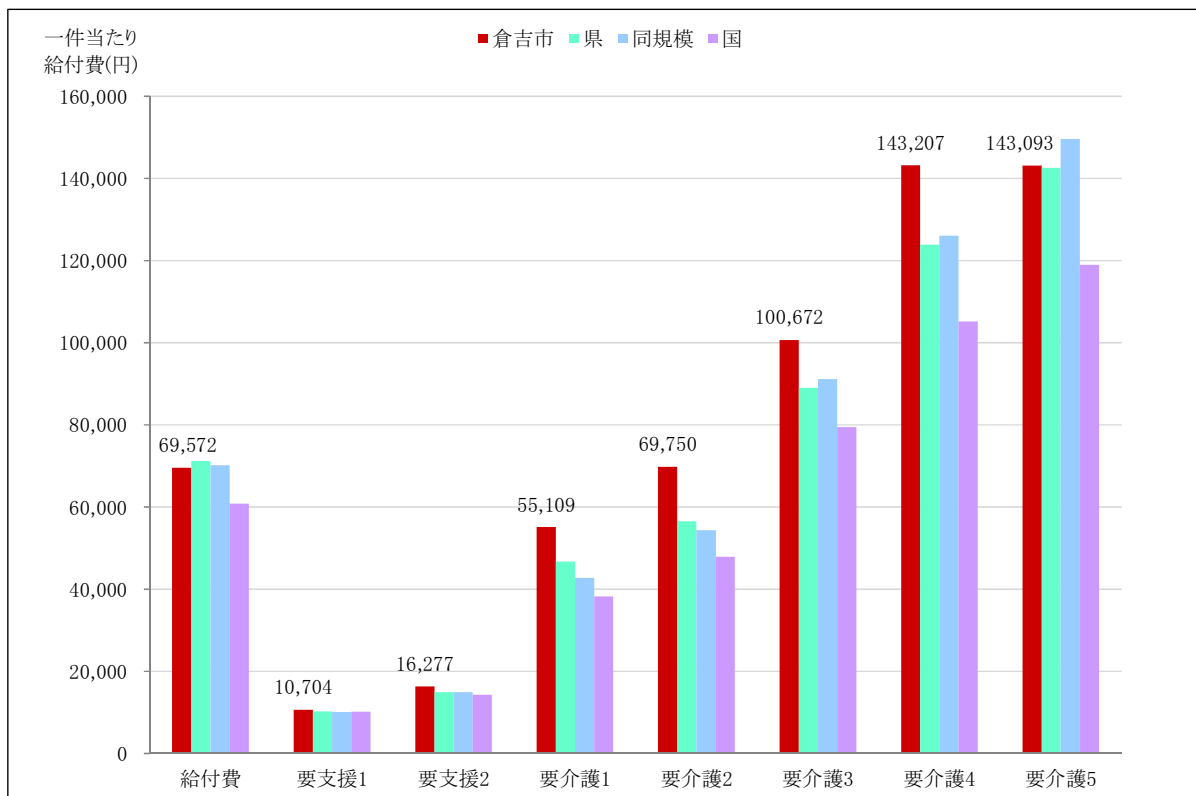
以下は、本市の平成29年度における、認定率及び給付費等の状況を示したものです。

認定率及び給付費等の状況(平成29年度)

区分	倉吉市	県	同規模	国
認定率	18.6%	20.4%	19.2%	18.8%
認定者数(人)	2,858	35,025	556,557	6,208,699
第1号(65歳以上)	2,816	34,360	545,661	6,057,292
第2号(40～64歳)	42	665	10,896	151,407
一件当たり給付費(円)				
給付費	69,572	71,143	70,223	60,833
要支援1	10,704	10,250	10,153	10,210
要支援2	16,277	14,892	14,895	14,308
要介護1	55,109	46,719	42,770	38,211
要介護2	69,750	56,513	54,321	47,839
要介護3	100,672	89,008	91,155	79,483
要介護4	143,207	123,897	126,097	105,135
要介護5	143,093	142,622	149,598	118,957

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

一件当たり要介護度別給付費(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」



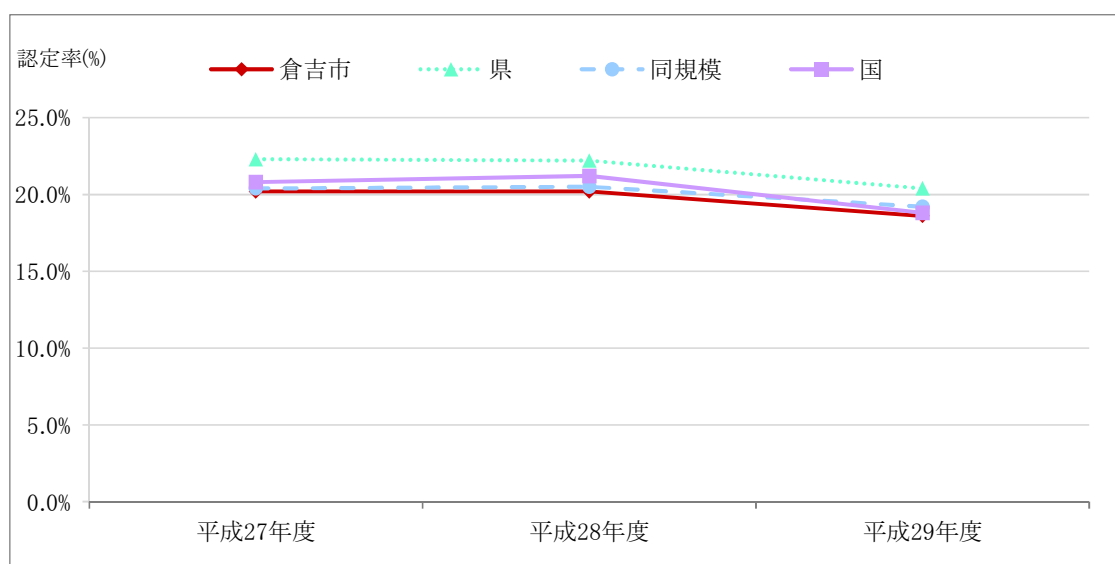
以下は、平成27年度から平成29年度における、認定率及び認定者数を年度別に示したものです。平成29年度認定率18.6%は平成27年度20.2%より1.6ポイント低下しており、平成29年度の認定者数2,858人は平成27年度2,936人より78人減少しています。

### 年度別 認定率及び認定者数

区分		認定率	認定者数(人)		
				第1号 (65歳以上)	第2号 (40歳～64歳)
倉吉市	平成27年度	20.2%	2,936	2,893	43
	平成28年度	20.2%	2,945	2,903	42
	平成29年度	18.6%	2,858	2,816	42
県	平成27年度	22.3%	35,285	34,544	741
	平成28年度	22.2%	34,800	34,093	707
	平成29年度	20.4%	35,025	34,360	665
同規模	平成27年度	20.4%	529,348	518,179	11,169
	平成28年度	20.5%	550,860	539,696	11,164
	平成29年度	19.2%	556,557	545,661	10,896
国	平成27年度	20.8%	5,883,288	5,730,333	152,955
	平成28年度	21.2%	6,037,083	5,885,270	151,813
	平成29年度	18.8%	6,208,699	6,057,292	151,407

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 認定率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成29年度における、認定者の疾病別有病率を示したものです。疾病別の有病者数を合計すると8,496人となり、認定者は平均3.0疾病を有していることがわかります。

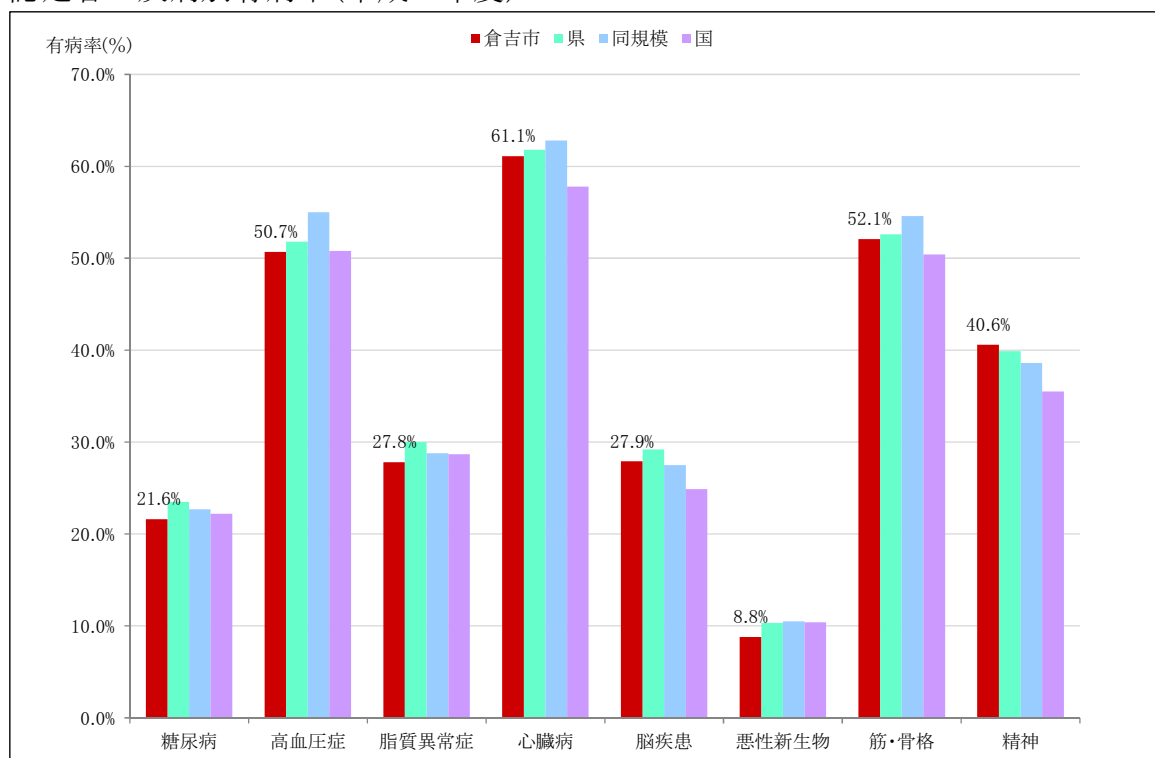
### 認定者の疾病別有病状況(平成29年度)

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

区分	倉吉市	順位	県	順位	同規模	順位	国	順位
認定者数(人)	2,858		35,025		556,557		6,208,699	
糖尿病	実人数(人)	625	8,368	7	127,551	7	1,396,109	7
	有病率	21.6%	23.5%	7	22.7%	7	22.2%	7
高血圧症	実人数(人)	1,483	18,419	3	308,237	2	3,176,320	2
	有病率	50.7%	51.8%	3	55.0%	2	50.8%	2
脂質異常症	実人数(人)	802	10,731	6	162,527	5	1,804,586	5
	有病率	27.8%	30.0%	6	28.8%	5	28.7%	5
心臓病	実人数(人)	1,778	21,926	1	351,272	1	3,612,547	1
	有病率	61.1%	61.8%	1	62.8%	1	57.8%	1
脳疾患	実人数(人)	813	10,235	5	152,859	6	1,540,429	6
	有病率	27.9%	29.2%	5	27.5%	6	24.9%	6
悪性新生物	実人数(人)	256	3,713	8	59,702	8	657,405	8
	有病率	8.8%	10.3%	8	10.5%	8	10.4%	8
筋・骨格	実人数(人)	1,531	18,646	2	305,758	3	3,150,734	3
	有病率	52.1%	52.6%	2	54.6%	3	50.4%	3
精神	実人数(人)	1,208	14,120	4	216,854	4	2,222,308	4
	有病率	40.6%	39.9%	4	38.6%	4	35.5%	4

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 認定者の疾病別有病率(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

以下は、本市の平成27年度から平成29年度における、認定者の疾病別有病率を年度別に示したものです。平成29年度の認定者が有している平均疾病数3.0疾病は平成27年度2.9疾病より増加しています。

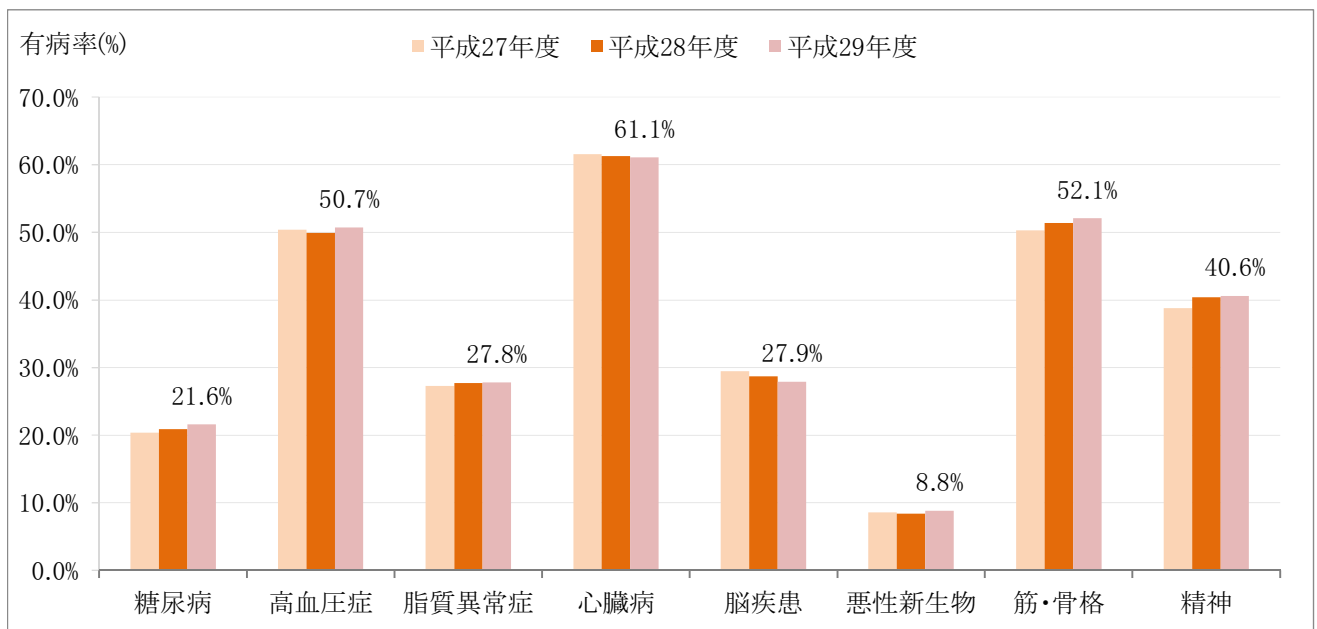
年度別 認定者の疾病別有病状況

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

区分	倉吉市						県			同規模			国			
	平成27年度	順位	平成28年度	順位	平成29年度	順位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
認定者数(人)	2,936		2,945		2,858		35,285	34,800	35,025	529,348	550,860	556,557	5,883,288	6,037,083	6,208,699	
糖尿病	実人数(人)	598	7	652	7	625	7	8,456	8,263	8,368	118,904	125,636	127,551	1,311,205	1,350,152	1,396,109
	有病率(%)	20.4%		20.9%		21.6%		23.7%	23.5%	23.5%	22.0%	22.3%	22.7%	21.9%	22.1%	22.2%
高血圧症	実人数(人)	1,458	3	1,494	3	1,483	3	18,271	18,228	18,419	291,816	306,174	308,237	3,025,010	3,101,200	3,176,320
	有病率(%)	50.4%		49.9%		50.7%		51.5%	51.7%	51.8%	54.5%	54.6%	55.0%	50.8%	50.9%	50.8%
脂質異常症	実人数(人)	804	6	846	6	802	6	10,360	10,436	10,731	150,290	159,862	162,527	1,683,014	1,741,866	1,804,586
	有病率(%)	27.3%		27.7%		27.8%		28.9%	29.4%	30.0%	27.8%	28.4%	28.8%	28.0%	28.4%	28.7%
心臓病	実人数(人)	1,801	1	1,812	1	1,778	1	21,836	21,717	21,926	333,346	349,548	351,272	3,444,300	3,529,682	3,612,547
	有病率(%)	61.6%		61.3%		61.1%		61.5%	61.7%	61.8%	62.3%	62.5%	62.8%	57.9%	58.0%	57.8%
脳疾患	実人数(人)	855	5	868	5	813	5	10,567	10,428	10,235	151,705	154,945	152,859	1,533,687	1,538,683	1,540,429
	有病率(%)	29.5%		28.7%		27.9%		30.0%	29.6%	29.2%	28.5%	27.9%	27.5%	25.9%	25.5%	24.9%
悪性新生物	実人数(人)	263	8	259	8	256	8	3,599	3,585	3,713	54,541	58,440	59,702	606,159	631,950	657,405
	有病率(%)	8.6%		8.4%		8.8%		9.9%	10.0%	10.3%	10.1%	10.3%	10.5%	10.1%	10.3%	10.4%
筋・骨格	実人数(人)	1,497	2	1,567	2	1,531	2	18,483	18,452	18,646	287,029	303,462	305,758	2,976,401	3,067,196	3,150,734
	有病率(%)	50.3%		51.4%		52.1%		52.0%	52.4%	52.6%	53.7%	54.1%	54.6%	50.0%	50.3%	50.4%
精神	実人数(人)	1,156	4	1,242	4	1,208	4	13,804	14,095	14,120	200,580	213,558	216,854	2,075,125	2,154,214	2,222,308
	有病率(%)	38.8%		40.4%		40.6%		38.8%	39.4%	39.9%	37.3%	37.8%	38.6%	34.7%	35.2%	35.5%

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

年度別 認定者の疾病別有病率



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## (5) 主たる死因の状況

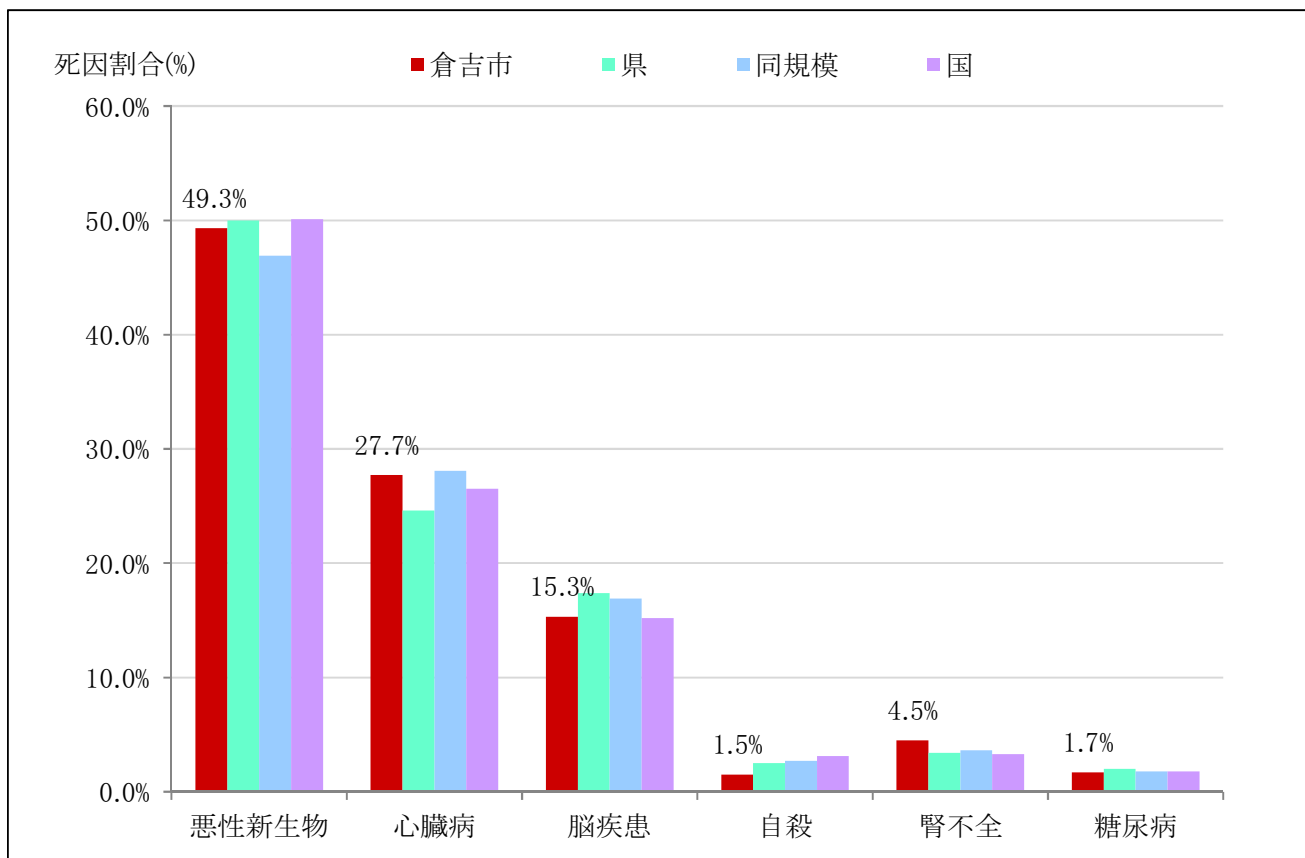
以下は、本市の平成29年度における、主たる死因の状況を示したものです。

### 主たる死因の状況(平成29年度)

疾病項目	倉吉市		県	同規模	国
	人数(人)	割合(%)			
悪性新生物	199	49.3%	50.0%	46.9%	50.1%
心臓病	112	27.7%	24.6%	28.1%	26.5%
脳疾患	62	15.3%	17.4%	16.9%	15.2%
自殺	6	1.5%	2.5%	2.7%	3.1%
腎不全	18	4.5%	3.4%	3.6%	3.3%
糖尿病	7	1.7%	2.0%	1.8%	1.8%
合計	404				

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 主たる死因の割合(平成29年度)



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

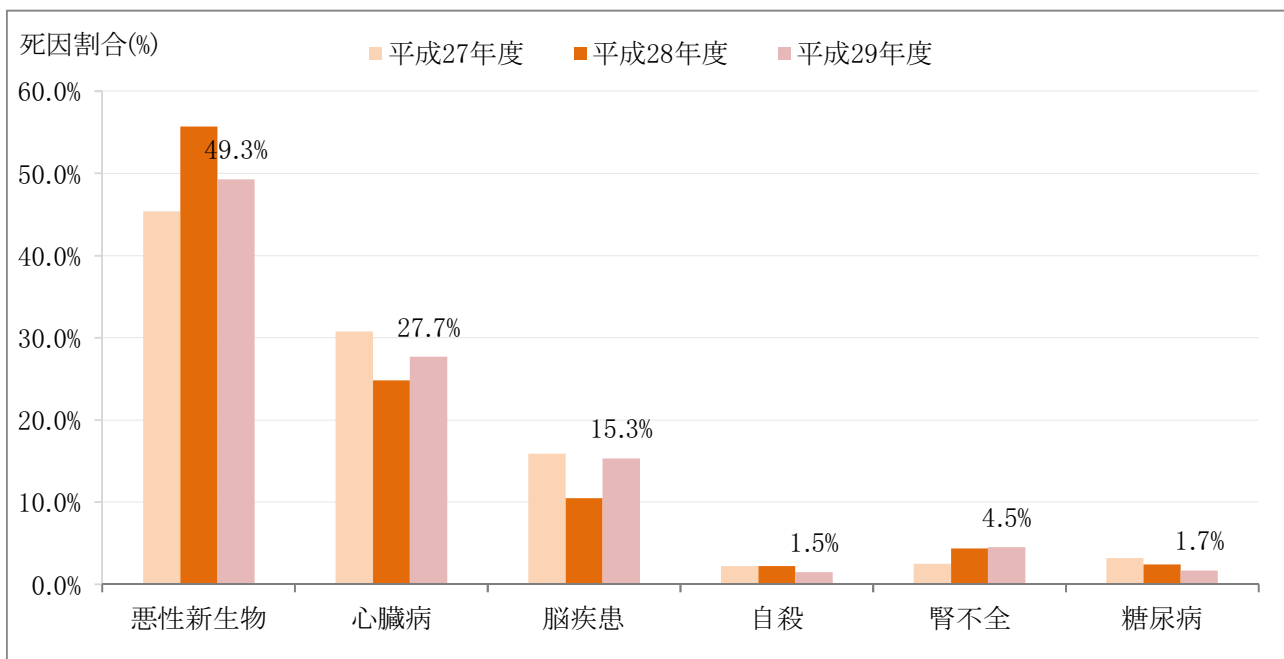
以下は、本市の平成27年度から平成29年度における、主たる死因の状況を年度別に示したものです。平成29年度を平成27年度と比較すると、悪性新生物を死因とする人数199人は平成27年度183人より16人増加しており、心臓病を死因とする人数112人は平成27年度124人より12人減少しています。また、脳疾患を死因とする人数62人は平成27年度64人より2人減少しています。

### 年度別 主たる死因の状況

疾病項目	倉吉市						県			同規模			国		
	人数(人)			割合(%)			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度									
悪性新生物	183	229	199	45.4%	55.7%	49.3%	48.1%	49.7%	50.0%	45.5%	46.4%	46.9%	49.0%	49.6%	50.1%
心臓病	124	102	112	30.8%	24.8%	27.7%	26.0%	25.6%	24.6%	28.3%	28.2%	28.1%	26.4%	26.5%	26.5%
脳疾患	64	43	62	15.9%	10.5%	15.3%	17.5%	16.3%	17.4%	17.7%	17.0%	16.9%	15.9%	15.4%	15.2%
自殺	9	9	6	2.2%	2.2%	1.5%	2.9%	2.6%	2.5%	2.9%	2.7%	2.7%	3.5%	3.3%	3.1%
腎不全	10	18	18	2.5%	4.4%	4.5%	3.6%	3.5%	3.4%	3.6%	3.7%	3.6%	3.4%	3.3%	3.3%
糖尿病	13	10	7	3.2%	2.4%	1.7%	2.0%	2.3%	2.0%	1.9%	1.9%	1.8%	1.9%	1.8%	1.8%
合計	403	411	404												

出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

### 年度別 主たる死因の割合



出典:国保データベース(KDB)システム「地域の全体像の把握」

## 2. 過去の取り組みの考察(計画作成以前の振り返り)

### (1) 計画作成以前の各事業達成状況

計画作成以前に実施した各事業についての達成状況は以下のとおりです。

実施年度	事業名	事業目的	事業概要
平成27年度から	特定健康診査未受診者対策事業	特定健診の受診率向上	特定健康診査の受診率を向上させ、疾病の早期発見・予防、健康保持増進を図る。 特定健診未受診者に対して、健診受診を促す通知を行う。 40歳以上の国民健康保険被保険者の人間ドック・脳ドック申込者に対して健診費用の助成を実施する。
平成20年度から	特定保健指導未利用者対策事業	特定保健指導の実施率向上	特定保健指導の有効性、必要性を啓発し、特定保健指導の該当者・未利用者に対して、保健師等が特定保健指導の必要性について説明するとともに利用勧奨を行う。
平成26年度から	生活習慣病重症化予防訪問指導事業	血圧高値者、糖尿病予備軍の重症化予防	生活習慣病要治療者またはその予備群の被保険者に対して、受療勧奨及び生活習慣改善のために保健師等が訪問指導を行う。
平成26年度から	生活習慣病治療中断者訪問指導事業	生活習慣病治療中断者の重症化予防	生活習慣病治療中断者に対して、かかりつけ医療機関等への再受診を促す。加えて、特定健診未受診者には受診勧奨を行い、受診行動の変容による継続した治療に繋げるために保健師による訪問指導を行う。
平成20年度から	生活習慣病予防啓発事業	生活習慣病の発生予防	地区住民を対象とした出前講座や医師会、薬剤師会・栄養士会等と連携し、積極的な啓発活動を行う。
平成29年度から	重複・頻回受診者訪問指導事業	重複・頻回受診者の健康保持	被保険者の受診状況等の把握を行い、保健師の訪問により、重複・頻回受診が及ぼす弊害の啓発(重複検査、重複服薬等)や食事・運動等生活改善の指導を行う。
平成24年度から	ジェネリック医薬品差額通知事業	被保険者の治療にかかる費用負担の軽減	削減効果が得られると見込まれる者に対し、ジェネリック医薬品への行動変容を促すように通知を行う。

実施内容	目標値(平成29年度末)	達成状況(平成29年度時点)
<p>特定の対象者を抽出し、未受診者へ個別受診勧奨通知を送付し、健診受診を促す。 40歳以上（脳ドックは69歳まで）の国民健康保険被保険者のドック申込者に対して健診費用の助成を実施する。</p>	<p>特定健診受診率40.0%  (特定健康診査・特定保健指導実施状況報告基準)</p>	<p>特定健診受診率20.0%  (特定健康診査・特定保健指導実施状況報告基準)</p>
<p>特定保健指導の該当者に対して、保健師等が利用勧奨を促し、特定保健指導の必要性を直接説明するとともに利用勧奨を行う。 特定保健指導の申込みがない未利用者に対して、保健師等が本人データの入った資料や今後の生活習慣病発生の可能性等、生活習慣の改善に取り組む必要性について直接説明するとともに利用勧奨を行う。</p>	<p>特定保健指導実施率45.0%  (特定健康診査・特定保健指導実施状況報告基準)</p>	<p>特定保健指導実施率6.1%  (特定健康診査・特定保健指導実施状況報告基準)</p>
<p>特定健診結果で血圧の値が収縮期血圧160以上、あるいは拡張期血圧100以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が12月以上放置されていると確認された者、特定健診結果でHbA1cの値が6.0以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が12月以上放置されていると確認された者に対して、受療勧奨及び生活習慣改善のために保健師等が訪問指導を行う。</p>	<p>訪問指導実施率 80.0%  訪問対象者の医療機関受診率 20.0%</p>	<p>訪問指導実施率 100%  訪問対象者の医療機関受診率 40.0%</p>
<p>診療報酬明細書から高血圧症、あるいは糖尿病の医療機関受診が6月以上治療中断している者に対して保健師による訪問指導を行い、かかりつけ医療機関等への再受診を促すとともに特定健診未受診者には受診勧奨を行い、受診行動の変容による継続した治療に繋げる。</p>	<p>訪問指導実施率 80.0%  訪問対象者の医療機関受診率 20.0%</p>	<p>訪問指導実施率 100%  訪問対象者の医療機関受診率 28.6%</p>
<p>地区住民を対象とした出前講座を開催する。 医師会、薬剤師会・栄養士会等と連携し、積極的な啓発活動を行う。</p>	<p>—</p>	<p>開催回数 21回</p>
<p>被保険者のレセプトデータや保健支援事業システムをベースに、指導対象者の抽出及び受診状況の把握を行い、重複・頻回受診が及ぼす弊害の啓発（重複検査、重複服薬等）や食事・運動等生活改善について、保健師が訪問指導を行う。</p>	<p>訪問指導実施率 50.0%</p>	<p>訪問指導実施率 100%</p>
<p>100円以上の削減効果が得られると見込まれる者、ジェネリック医薬品の利用率が100%未満である者に対し、大きな削減効果を期待することが出来る者から順次通知書を送付する。</p>	<p>ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80.0%</p>	<p>ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 79.2%</p>

## (2) 計画作成以前の各事業実施内容

実施した事業の詳細は以下のとおりです。

### ①特定健康診査未受診者対策事業

【実施年度】平成27年度から平成29年度

【事業目的】特定健診の受診率向上

【事業概要】特定健康診査の受診率を向上させ、疾病の早期発見・予防、健康保持増進を図る。

【実施内容】特定の対象者を抽出し、未受診者へ個別受診勧奨通知を送付し、健診受診を促す。

40歳以上（脳ドックは69歳まで）の国民健康保険被保険者のドック申込者に対して健診費用の助成を実施する。

### 【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率 (%)	30.0%	35.0%	40.0%

### 【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
受診率 (%)	18.9%	18.5%	20.0%

【考察】平成29年度の受診率は20.0%であり、平成28年度の18.5%から1.5ポイント増加しているが、目標値に対しては大幅に未達となっている。結果に基づき事業の実施方法等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。



## ②特定保健指導未利用者対策事業

【実施年度】平成20年度から平成29年度

【事業目的】特定保健指導の実施率向上

【事業概要】特定保健指導の有効性、必要性を啓発し、特定保健指導の該当者・未利用者に対して、保健師等が特定保健指導の必要性について説明するとともに利用勧奨を行う。

【実施内容】特定保健指導の該当者に対して、保健師等が利用勧奨を促し、特定保健指導の必要性を直接説明するとともに利用勧奨を行う。

特定保健指導の申込みがない未利用者に対して、保健師等が本人データの入った資料や今後の生活習慣病発生の可能性等、生活習慣の改善に取り組む必要性について直接説明するとともに利用勧奨を行う。

### 【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施率 (%)	36.0%	41.0%	45.0%

### 【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
実施率 (%)	15.8%	13.9%	6.1%

【考察】平成29年度の実施率は6.1%であり、平成28年度の13.9%から7.8ポイント減少している。目標値に対しても大幅な未達となっている。結果に基づき事業の実施方法等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

### ③生活習慣病重症化予防訪問指導事業

【実施年度】平成26年度から平成29年度

【事業目的】 血圧高値者、糖尿病予備軍の重症化予防

【事業概要】 生活習慣病要治療者またはその予備群の被保険者に対して、受療勧奨及び生活習慣改善のために保健師等が訪問指導を行う。

【実施内容】 特定健診結果で血圧の値が収縮期血圧160以上、あるいは拡張期血圧100以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が12月以上放置されていると確認された者、特定健診結果でHbA1cの値が6.0以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が12月以上放置されていると確認された者に対して、受療勧奨及び生活習慣改善のために保健師等が訪問指導を行う。

#### 【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率 (%)	—	70.0%	80.0%
訪問対象者の医療機関受診率 (%)	—	10.0%	20.0%

#### 【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率 (%)	90.5%	83.0%	100%
訪問対象者の医療機関受診率 (%)	0%	30.0%	40.0%

【考察】 平成29年度の訪問指導実施率は100%であり、平成28年度の83.0%から17ポイント増加、平成29年度の訪問対象者の医療機関受診率は40.0%であり、平成28年度の30.0%から10ポイント増加している。目標を達成しているが、結果に基づき事業の実施方法等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

④生活習慣病治療中断者訪問指導事業

【実施年度】平成26年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病治療中断者の重症化予防

【事業概要】生活習慣病治療中断者に対して、かかりつけ医療機関等への再受診を促す。加えて、特定健診未受診者には受診勧奨を行い、受診行動の変容による継続した治療に繋げるために保健師による訪問指導を行う。

【実施内容】診療報酬明細書から高血圧症、あるいは糖尿病の医療機関受診が6月以上治療中断している者に対して保健師による訪問指導を行い、かかりつけ医療機関等への再受診を促すとともに特定健診未受診者には受診勧奨を行い、受診行動の変容による継続した治療に繋げる。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率 (%)	—	70.0%	80.0%
訪問対象者の医療機関受診率 (%)	—	10.0%	20.0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率 (%)	72.3%	73.3%	100%
訪問対象者の医療機関受診率 (%)	10.0%	23.3%	28.6%

【考察】平成29年度の訪問指導実施率は100%であり、平成28年度の73.3%から26.7ポイント増加、平成29年度の訪問対象者の医療機関受診率は28.6%であり、平成28年度の23.3%から5.3ポイント増加している。目標を達成しているが、結果に基づき事業の実施方法等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑤生活習慣病予防啓発事業

【実施年度】平成20年度から平成29年度

【事業目的】生活習慣病の発生予防

【事業概要】地区住民を対象とした出前講座や医師会、薬剤師会・栄養士会等と連携し、積極的な啓発活動を行う。

【実施内容】地区住民を対象とした出前講座を開催する。  
医師会、薬剤師会・栄養士会等と連携し、積極的な啓発活動を行う。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
住民向け講座の開催回数(回)	—	—	—

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
住民向け講座の開催回数(回)	26回	23回	21回

【考察】平成29年度の実施回数は21回であったが、目標設定を行っていなかった。結果に基づき実施方法等の見直しを行い、事業の位置付けについても検討が必要である。

⑥重複・頻回受診者訪問指導事業

【実施年度】平成29年度から

【事業目的】重複・頻回受診者の健康保持

【事業概要】被保険者の受診状況等の把握を行い、保健師の訪問により、重複・頻回受診が及ぼす弊害の啓発（重複検査、重複服薬等）や食事・運動等生活改善の指導を行う。

【実施内容】被保険者のレセプトデータや保健支援事業システムをベースに、指導対象者の抽出及び受診状況の把握を行い、重複・頻回受診が及ぼす弊害の啓発（重複検査、重複服薬等）や食事・運動等生活改善について、保健師が訪問指導を行う。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率（％）	—	—	50.0％

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問指導実施率（％）	—	—	100％

【考察】平成29年度の訪問指導実施率は100%であった。目標を達成したが、結果に基づき事業の実施方法等の見直しを行い、更なる取り組みを検討する。

⑦ジェネリック医薬品差額通知事業

【実施年度】平成24年度から平成29年度

【事業目的】被保険者の治療にかかる費用負担の軽減

【事業概要】削減効果が得られると見込まれる者に対し、ジェネリック医薬品への行動変容を促すように通知を行う。

【実施内容】100円以上の削減効果が得られると見込まれる者、ジェネリック医薬品の利用率が100%未満である者に対し、大きな削減効果を期待することが出来る者から順次通知書を送付する。

【目標値】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）（%）	80.0%	80.0%	80.0%

【達成状況】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ジェネリック医薬品普及率（数量ベース）（%）	70.3%	75.8%	79.2%

【考察】平成29年度の実施率は79.2%であり、平成28年度の75.8%から3.4ポイント増加している。目標に近付きつつあり、今後も継続的な取り組みを行う。

### 3. 医療情報分析結果

#### (1) 基礎統計

当医療費統計は、倉吉市国民健康保険における、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)の入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプトを対象とし分析します。被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数等は以下の通りです。被保険者数は平均10,279人、レセプト件数は平均13,709件、患者数は平均5,822人となっています。また、患者一人当たりの医療費は平均55,173円となっています。

#### 基礎統計

		平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	
A	被保険者数(人)	9,807	10,048	10,094	10,159	10,197	10,258	10,311	
B	レセプト件数(件)	入院外	7,941	7,597	7,731	7,809	7,660	7,615	7,478
		入院	283	253	257	282	277	259	282
		調剤	6,058	5,821	5,908	6,046	5,851	5,796	5,650
		合計	14,282	13,671	13,896	14,137	13,788	13,670	13,410
C	医療費(円) ※	334,613,810	297,358,230	327,565,590	320,044,010	315,300,820	324,893,190	324,666,340	
D	患者数(人) ※	6,034	5,837	5,893	5,936	5,838	5,793	5,716	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	34,120	29,594	32,452	31,503	30,921	31,672	31,487	
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,429	21,751	23,573	22,639	22,868	23,767	24,211	
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	55,455	50,944	55,586	53,916	54,008	56,084	56,800	
B/A	受診率(%)	145.6%	136.1%	137.7%	139.2%	135.2%	133.3%	130.1%	
D/A	有病率(%)	61.5%	58.1%	58.4%	58.4%	57.3%	56.5%	55.4%	

		平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	12カ月平均	12カ月合計	
A	被保険者数(人)	10,383	10,432	10,480	10,567	10,615	10,279		
B	レセプト件数(件)	入院外	7,660	7,589	7,669	7,412	7,290	7,621	91,451
		入院	287	293	285	263	273	275	3,294
		調剤	5,825	5,739	5,860	5,673	5,535	5,814	69,762
		合計	13,772	13,621	13,814	13,348	13,098	13,709	164,507
C	医療費(円) ※	316,822,560	326,534,480	342,293,530	332,228,500	292,367,590	321,224,054	3,854,688,650	
D	患者数(人) ※	5,814	5,789	5,873	5,740	5,602	5,822	69,865	
C/A	被保険者一人当たりの医療費(円)	30,514	31,301	32,662	31,440	27,543	31,250		
C/B	レセプト一件当たりの医療費(円)	23,005	23,973	24,779	24,890	22,322	23,432		
C/D	患者一人当たりの医療費(円)	54,493	56,406	58,283	57,880	52,190	55,173		
B/A	受診率(%)	132.6%	130.6%	131.8%	126.3%	123.4%	133.4%		
D/A	有病率(%)	56.0%	55.5%	56.0%	54.3%	52.8%	56.6%		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

被保険者数、レセプト件数、医療費、患者数…株式会社データホライゾンがシステムで把握できるものを集計(以下同様)。

※医療費…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトに記載されている、保険の請求点数を集計し、金額にするために10倍にして表示。

※患者数…医療機関もしくは保険薬局に受診されたレセプトの人数を集計。同診療年月で一人の方に複数のレセプトが発行された場合は、一人として集計。

## (2) 高額レセプトの件数及び医療費

### ① 高額レセプトの件数及び割合

平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、診療点数が5万点以上のものを高額レセプトとし、以下の通り集計しました。高額レセプトは1,415件発生しており、レセプト件数全体の0.9%を占めています。高額レセプトの医療費は13億5,176万円となり、医療費全体の35.1%を占めています。

#### 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月
A	レセプト件数(件)	14,282	13,671	13,896	14,137	13,788	13,670	13,410
B	高額レセプト件数(件)	109	96	120	117	115	129	126
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.7%	0.9%	0.8%	0.8%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	334,613,810	297,358,230	327,565,590	320,044,010	315,300,820	324,893,190	324,666,340
D	高額レセプトの医療費(円) ※	108,638,900	87,944,840	119,253,970	106,126,940	107,006,320	120,886,140	122,386,090
E	その他レセプトの医療費(円) ※	225,974,910	209,413,390	208,311,620	213,917,070	208,294,500	204,007,050	202,280,250
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	32.5%	29.6%	36.4%	33.2%	33.9%	37.2%	37.7%

		平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月	12カ月平均	12カ月合計
A	レセプト件数(件)	13,772	13,621	13,814	13,348	13,098	13,709	164,507
B	高額レセプト件数(件)	116	118	131	124	114	118	1,415
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.8%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	
C	医療費全体(円) ※	316,822,560	326,534,480	342,293,530	332,228,500	292,367,590	321,224,054	3,854,688,650
D	高額レセプトの医療費(円) ※	106,418,130	115,026,470	130,241,250	127,877,680	99,951,300	112,646,503	1,351,758,030
E	その他レセプトの医療費(円) ※	210,404,430	211,508,010	212,052,280	204,350,820	192,416,290	208,577,552	2,502,930,620
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	33.6%	35.2%	38.0%	38.5%	34.2%	35.1%	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。

※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。



以下は、平成27年度から平成29年度に発生している高額レセプトの集計結果を年度別に示したものです。平成29年度高額レセプト件数1,415件は平成27年度1,604件より189件減少しており、平成29年度高額レセプトの医療費13億5,176万円は平成27年度16億3,042万円より2億7,866万円減少しています。

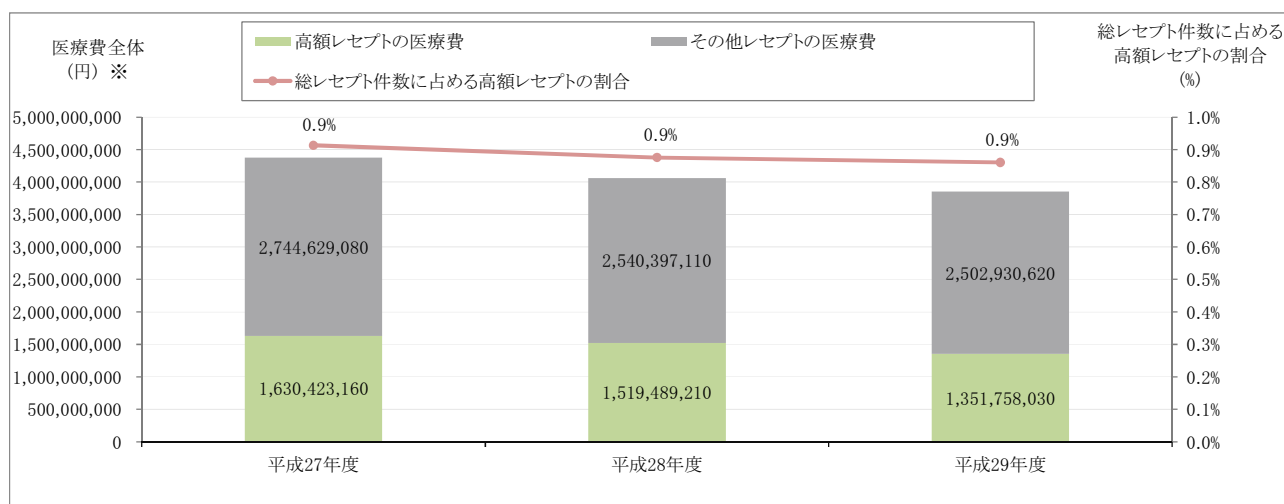
### 年度別 高額(5万点以上)レセプト件数及び割合

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
A	レセプト件数(件)	175,721	169,254	164,507
B	高額レセプト件数(件)	1,604	1,482	1,415
B/A	総レセプト件数に占める高額レセプトの割合(%)	0.9%	0.9%	0.9%
C	医療費全体(円) ※	4,375,052,240	4,059,886,320	3,854,688,650
D	高額レセプトの医療費(円) ※	1,630,423,160	1,519,489,210	1,351,758,030
E	その他レセプトの医療費(円) ※	2,744,629,080	2,540,397,110	2,502,930,620
D/C	総医療費に占める高額レセプトの割合(%)	37.3%	37.4%	35.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。  
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。  
※高額レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプトの医療費。  
※その他レセプトの医療費…高額(5万点以上)レセプト以外の医療費。

### 年度別 高額(5万点以上)レセプトの医療費及び件数割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。  
※医療費全体…データ化範囲(分析対象)全体での医療費を算出。

## ②高額レセプト発生患者の疾病傾向

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトのうち、高額レセプト発生患者の疾病傾向を示したものです。高額レセプト発生患者の分析対象期間の全レセプトを医療費分解後、最も医療費がかかっている疾病を主要傷病名と定義し、対象者の全医療費を集計しました。患者一人当たりの医療費が高額な疾病は、「その他の理由による保健サービスの利用者」「心臓の先天奇形」「脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群」等となっています。

### 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	2106	その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後、腎移植後	3	26,251,010	1,433,080	27,684,090	9,228,030
2	1701	心臓の先天奇形	単心室症	1	5,263,190	3,040,700	8,303,890	8,303,890
3	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	5	39,744,060	0	39,744,060	7,948,812
4	1307	その他の脊柱障害	症候性胸腰椎側弯症、変性側弯症	2	14,285,930	561,130	14,847,060	7,423,530
5	1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	1	7,394,270	0	7,394,270	7,394,270
6	0209	白血病	小児急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、骨髄増殖性疾患	3	15,875,970	5,908,200	21,784,170	7,261,390
7	0904	くも膜下出血	前交通脈瘤破裂によるくも膜下出血、IC-PC動脈瘤破裂によるくも膜下出血、くも膜下出血	3	20,946,890	364,790	21,311,680	7,103,893
8	0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	1	6,497,170	200,380	6,697,550	6,697,550
9	0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫、血管免疫芽球性T細胞リンパ腫、マンデル細胞リンパ腫	7	40,524,910	3,176,060	43,700,970	6,242,996
10	1010	喘息	気管支喘息、気管支喘息重症発作	2	9,733,870	1,718,210	11,452,080	5,726,040
11	0905	脳内出血	被殻出血、脳皮質下出血、脳幹部出血	18	87,540,180	2,452,520	89,992,700	4,999,594
12	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎、C型肝炎、B型慢性肝炎	18	6,767,680	77,991,930	84,759,610	4,708,867
13	1404	その他の腎尿路系の疾患	尿路感染症	1	4,112,970	208,250	4,321,220	4,321,220
14	0912	その他の循環器系の疾患	急性大動脈解離StanfordA、腹部大動脈瘤、食道静脈瘤破裂	9	35,081,380	2,855,480	37,936,860	4,215,207
15	0301	貧血	鉄欠乏性貧血、貧血	2	7,618,290	369,920	7,988,210	3,994,105
16	0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌、下葉肺癌、肺扁平上皮癌	18	46,626,220	23,658,600	70,284,820	3,904,712
17	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌、乳房下外側部乳癌、乳房上内側部乳癌	18	35,040,930	32,951,110	67,992,040	3,777,336
18	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌、膀胱癌、胸部中部食道癌	49	133,840,670	50,629,520	184,470,190	3,764,698
19	1402	腎不全	慢性腎不全、末期腎不全、急性腎不全	11	19,195,130	21,577,660	40,772,790	3,706,617
20	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌、直腸S状結腸癌、直腸カルチノイド	20	63,023,190	10,379,920	73,403,110	3,670,156

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成27年度から平成29年度における、患者一人当たりの医療費上位5疾病を年度別に示したものです。

年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者一人当たりの医療費順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成27年度	1	1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	褥瘡, 殿部褥瘡, 水疱性類天疱瘡	3	7,142,667
	2	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	4	6,786,250
	3	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型代償性肝硬変, C型肝炎	44	5,678,078
	4	0208 悪性リンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫, 悪性リンパ腫, 末梢性T細胞リンパ腫	5	5,677,918
	5	1402 腎不全	慢性腎不全, 末期腎不全, 慢性腎臓病ステージG5	16	5,617,855
平成28年度	1	0209 白血病	急性骨髄性白血病, 慢性骨髄性白血病, 骨髄増殖性疾患	6	7,638,397
	2	1009 慢性閉塞性肺疾患	慢性閉塞性肺疾患, 慢性気管支炎	2	7,030,485
	3	0603 てんかん	てんかん	2	6,419,735
	4	0403 脂質異常症	高脂血症	1	6,226,460
	5	0908 その他の脳血管疾患	未破裂脳動脈瘤, 内頸動脈狭窄症, 硬膜動静脈瘻	5	5,803,628
平成29年度	1	2106 その他の理由による保健サービスの利用者	気管切開術後, 腎移植後	3	9,228,030
	2	1701 心臓の先天奇形	単心室症	1	8,303,890
	3	0604 脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	脳性麻痺	5	7,948,812
	4	1307 その他の脊柱障害	症候性胸腰椎側弯症, 変性側弯症	2	7,423,530
	5	1009 慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	1	7,394,270

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間中の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)の疾病傾向を患者数順に示したものです。患者数が多い疾病は「その他の悪性新生物<腫瘍>」「骨折」「脳梗塞」となっています。

### 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

順位	疾病分類(中分類)		主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数 (人) ※	医療費(円) ※			患者一人当たりの 医療費(円) ※
					入院	入院外	合計	
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 胸部中部食道癌	49	133,840,670	50,629,520	184,470,190	3,764,698
2	1901	骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折	29	58,174,930	6,855,440	65,030,370	2,242,427
3	0906	脳梗塞	多発性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 血栓性脳梗塞	26	50,889,830	6,381,130	57,270,960	2,202,729
4	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 統合失調感情障害	22	51,947,530	5,870,910	57,818,440	2,628,111
5	0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 盲腸癌	20	51,220,070	16,120,470	67,340,540	3,367,027
5	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌, 直腸S状結腸癌, 直腸カルチノイド	20	63,023,190	10,379,920	73,403,110	3,670,156
5	0903	その他の心疾患	うっ血性心不全, 慢性心不全, 非弁膜症性発作性心房細動	20	44,950,250	10,345,860	55,296,110	2,764,806
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 胃癌, 噴門癌	19	34,988,100	19,013,700	54,001,800	2,842,200
8	1113	その他の消化器系の疾患	膵径ヘルニア, 癒着性イレウス, 急性穿孔性虫垂炎	19	16,835,570	9,104,760	25,940,330	1,365,281
10	0105	ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型肝炎, B型慢性肝炎	18	6,767,680	77,991,930	84,759,610	4,708,867
10	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	上葉肺癌, 下葉肺癌, 肺扁平上皮癌	18	46,626,220	23,658,600	70,284,820	3,904,712
10	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌, 乳房下外側部乳癌, 乳房上内側部乳癌	18	35,040,930	32,951,110	67,992,040	3,777,336
10	0902	虚血性心疾患	労作性狭心症, 急性心筋梗塞, 急性前壁中隔心筋梗塞	18	35,383,440	7,197,690	42,581,130	2,365,618
10	0905	脳内出血	被殻出血, 脳皮質下出血, 脳幹部出血	18	87,540,180	2,452,520	89,992,700	4,999,594
15	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	卵巣のう腫, 胆のう腺筋腫症, 副咽頭間隙腫瘍	16	21,784,040	6,947,800	28,731,840	1,795,740
15	0606	その他の神経系の疾患	低酸素性脳症, 睡眠時無呼吸症候群, 肘部管症候群	16	35,691,100	7,924,980	43,616,080	2,726,005
15	0704	その他の眼及び付属器の疾患	開放隅角緑内障, 裂孔原性網膜剥離, 黄斑円孔	16	13,034,160	4,729,560	17,763,720	1,110,233
18	0402	糖尿病	2型糖尿病, 糖尿病, 糖尿病網膜症	14	30,170,140	7,998,580	38,168,720	2,726,337
19	1302	関節症	変形性膝関節症, 原発性股関節症, 続発性股関節症	13	30,609,900	3,236,360	33,846,260	2,603,558
19	1303	脊椎障害(脊椎症を含む)	腰部脊柱管狭窄症, 頸椎症性脊髄症, 頸椎後縦靭帯骨化症	13	29,182,110	7,921,260	37,103,370	2,854,105

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※医療費…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトの医療費(高額レセプトに限らない)。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

以下は、平成27年度から平成29年度における、患者数上位5疾病を年度別に示したものです。

### 年度別 高額(5万点以上)レセプト発生患者の疾病傾向(患者数順)

年度	順位	疾病分類(中分類)	主要傷病名 ※ (上位3疾病まで記載)	患者数(人) ※	患者一人当たりの 医療費(円) ※
平成27年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 転移性脳腫瘍	65	3,811,240
	2	0906 脳梗塞	ラクナ梗塞, アテローム血栓性脳梗塞, 多発性脳梗塞	45	2,559,580
	3	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型代償性肝硬変, C型肝炎	44	5,678,078
	4	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 多発骨折	36	2,699,585
	5	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	胃体部癌, 噴門癌, 幽門前庭部癌	34	2,424,296
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 腎癌, 胸部中部食道癌	52	3,476,165
	2	1901 骨折	大腿骨頸部骨折, 橈骨遠位端骨折, 大腿骨転子部骨折	43	2,265,871
	3	0906 脳梗塞	多発性脳梗塞, 脳梗塞後遺症, アテローム血栓性脳梗塞	40	2,278,029
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調感情障害	26	2,839,396
	5	0105 ウイルス性肝炎	C型慢性肝炎, C型代償性肝硬変, C型肝炎	23	5,107,651
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌, 膀胱癌, 胸部中部食道癌	49	3,764,698
	2	1901 骨折	橈骨遠位端骨折, 大腿骨頸部骨折, 膝蓋骨骨折	29	2,242,427
	3	0906 脳梗塞	多発性脳梗塞, アテローム血栓性脳梗塞・急性期, 血栓性脳梗塞	26	2,202,729
	4	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症, 統合失調症様状態, 統合失調感情障害	22	2,628,111
	5	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	S状結腸癌, 横行結腸癌, 盲腸癌	20	3,367,027

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※主要傷病名…高額レセプト発生患者の分析期間の全レセプトを医療費分解後、患者毎に最も医療費が高額となった疾病。

※患者数…高額レセプト発生患者を主要傷病名で中分類ごとに集計した。

※患者一人当たりの医療費…高額レセプト発生患者の分析期間中の患者一人当たり医療費。

### (3) 疾病別医療費

#### ① 大分類による疾病別医療費統計

平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費、レセプト件数、患者数を算出しました。「新生物<腫瘍>」が医療費合計の18.3%、「循環器系の疾患」は医療費合計の15.2%と高い割合を占めています。

#### 大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	165,878,226	4.3%	10	16,188	9	3,257	7	50,930	9
II. 新生物<腫瘍>	696,813,397	18.3%	1	13,977	11	2,857	9	243,897	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	26,506,817	0.7%	15	4,883	16	969	15	27,355	17
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	331,905,662	8.7%	4	63,301	1	5,258	3	63,124	7
V. 精神及び行動の障害	339,109,504	8.9%	3	18,720	7	1,486	14	228,203	2
VI. 神経系の疾患	220,715,928	5.8%	8	30,163	5	2,609	10	84,598	5
VII. 眼及び付属器の疾患	127,931,803	3.4%	11	14,956	10	3,292	6	38,861	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	13,004,568	0.3%	17	3,375	17	789	16	16,482	20
IX. 循環器系の疾患	580,914,559	15.2%	2	62,818	2	4,662	4	124,606	3
X. 呼吸器系の疾患	207,255,996	5.4%	9	28,853	6	5,279	2	39,260	13
X I. 消化器系の疾患 ※	293,333,950	7.7%	6	56,480	3	5,830	1	50,315	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	80,983,753	2.1%	13	17,014	8	3,128	8	25,890	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	305,903,236	8.0%	5	39,200	4	4,249	5	71,994	6
X IV. 泌尿路生殖器系の疾患	223,679,017	5.9%	7	12,643	12	2,407	12	92,929	4
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	6,166,854	0.2%	18	240	19	107	19	57,634	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	1,087,796	0.0%	20	32	21	22	21	49,445	11
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,312,346	0.1%	19	471	18	143	18	37,149	15
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	1.6%	14	12,488	13	2,428	11	25,425	19
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	103,768,880	2.7%	12	7,610	14	2,120	13	48,948	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,515,238	0.6%	16	5,497	15	766	17	32,004	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	257,614	0.0%	21	179	20	40	20	6,440	21
合計	3,816,776,070			162,699		10,291		370,885	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

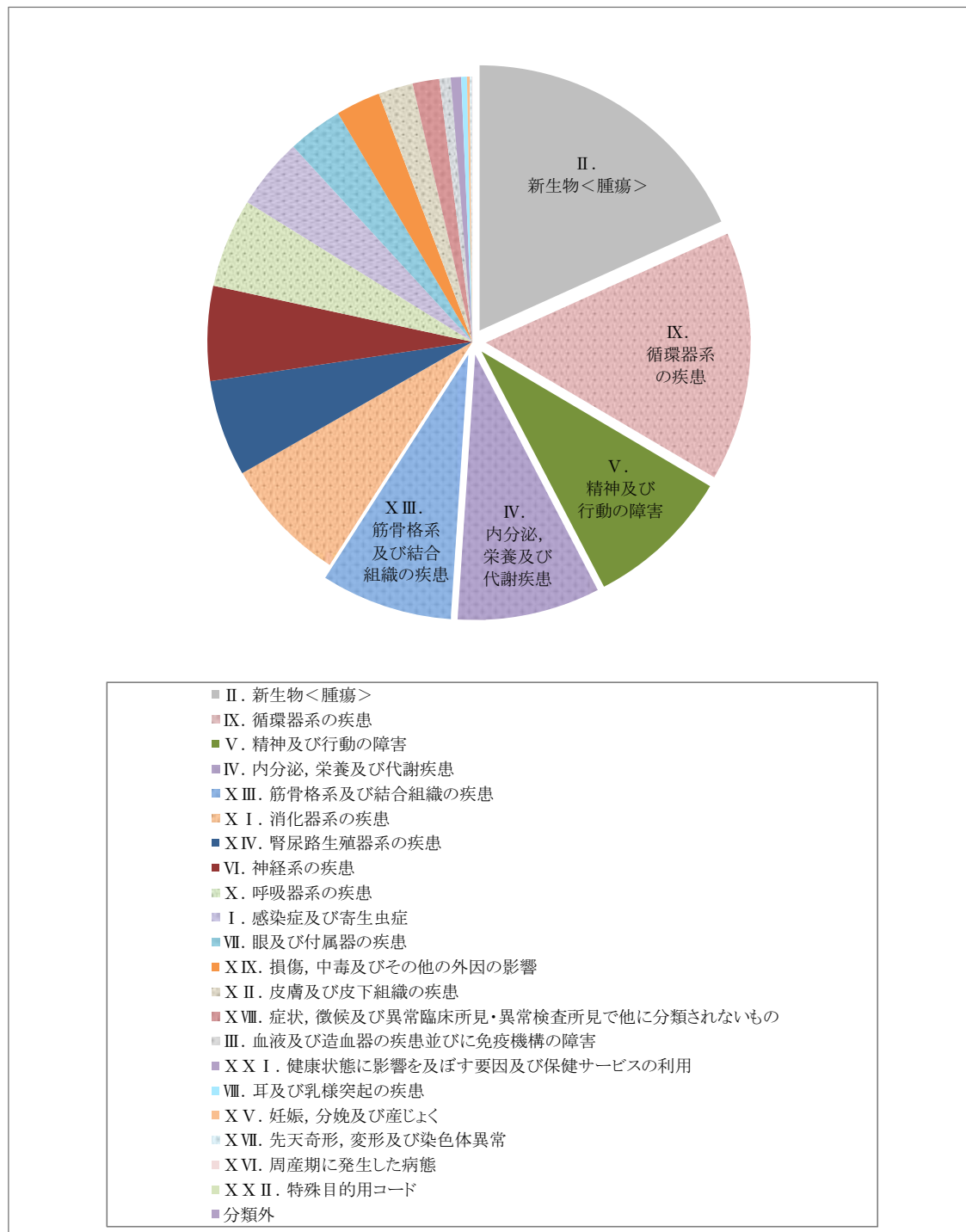
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、「男性」においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

疾病項目別医療費割合は、「新生物<腫瘍>」「循環器系の疾患」「精神及び行動の障害」「内分泌、栄養及び代謝疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」の医療費で高い割合を占めています。

### 疾病項目別医療費割合



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。  
 株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。  
 消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

以下は、平成27年度から平成29年度に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費を算出し年度別に示したものです。

年度別 大分類による疾病別医療費統計 ※各年度毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	平成27年度			平成28年度			平成29年度		
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	331,747,494	7.7%	7	203,135,412	5.1%	9	165,878,226	4.3%	10
II. 新生物<腫瘍>	659,144,452	15.3%	1	681,753,770	17.0%	1	696,813,397	18.3%	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	35,838,780	0.8%	15	28,159,206	0.7%	15	26,506,817	0.7%	15
IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患	381,995,453	8.9%	4	347,638,600	8.7%	4	331,905,662	8.7%	4
V. 精神及び行動の障害	392,264,979	9.1%	3	351,542,185	8.8%	3	339,109,504	8.9%	3
VI. 神経系の疾患	198,594,526	4.6%	10	185,101,406	4.6%	10	220,715,928	5.8%	8
VII. 眼及び付属器の疾患	140,041,266	3.2%	12	125,407,186	3.1%	12	127,931,803	3.4%	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	19,074,629	0.4%	17	12,782,469	0.3%	17	13,004,568	0.3%	17
IX. 循環器系の疾患	655,303,181	15.2%	2	667,467,128	16.6%	2	580,914,559	15.2%	2
X. 呼吸器系の疾患	215,246,524	5.0%	9	208,225,245	5.2%	8	207,255,996	5.4%	9
X I. 消化器系の疾患 ※	346,481,818	8.0%	6	323,978,008	8.1%	6	293,333,950	7.7%	6
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	89,840,763	2.1%	13	74,298,167	1.9%	13	80,983,753	2.1%	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	351,373,277	8.1%	5	324,908,985	8.1%	5	305,903,236	8.0%	5
X IV. 腎尿路生殖生殖器系の疾患	241,398,648	5.6%	8	226,937,531	5.7%	7	223,679,017	5.9%	7
X V. 妊娠、分娩及び産じょく ※	4,020,069	0.1%	19	9,372,257	0.2%	18	6,166,854	0.2%	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	448,049	0.0%	21	1,773,329	0.0%	20	1,087,796	0.0%	20
X VII. 先天奇形、変形及び染色体異常	8,371,514	0.2%	18	8,295,060	0.2%	19	5,312,346	0.1%	19
X VIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79,357,041	1.8%	14	62,361,487	1.6%	14	61,730,927	1.6%	14
X IX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	143,964,053	3.3%	11	150,144,412	3.7%	11	103,768,880	2.7%	12
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	19,807,923	0.5%	16	19,057,586	0.5%	16	24,515,238	0.6%	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%	
分類外	1,094,851	0.0%	20	824,801	0.0%	21	257,614	0.0%	21
合計	4,315,409,290			4,013,164,230			3,816,776,070		

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

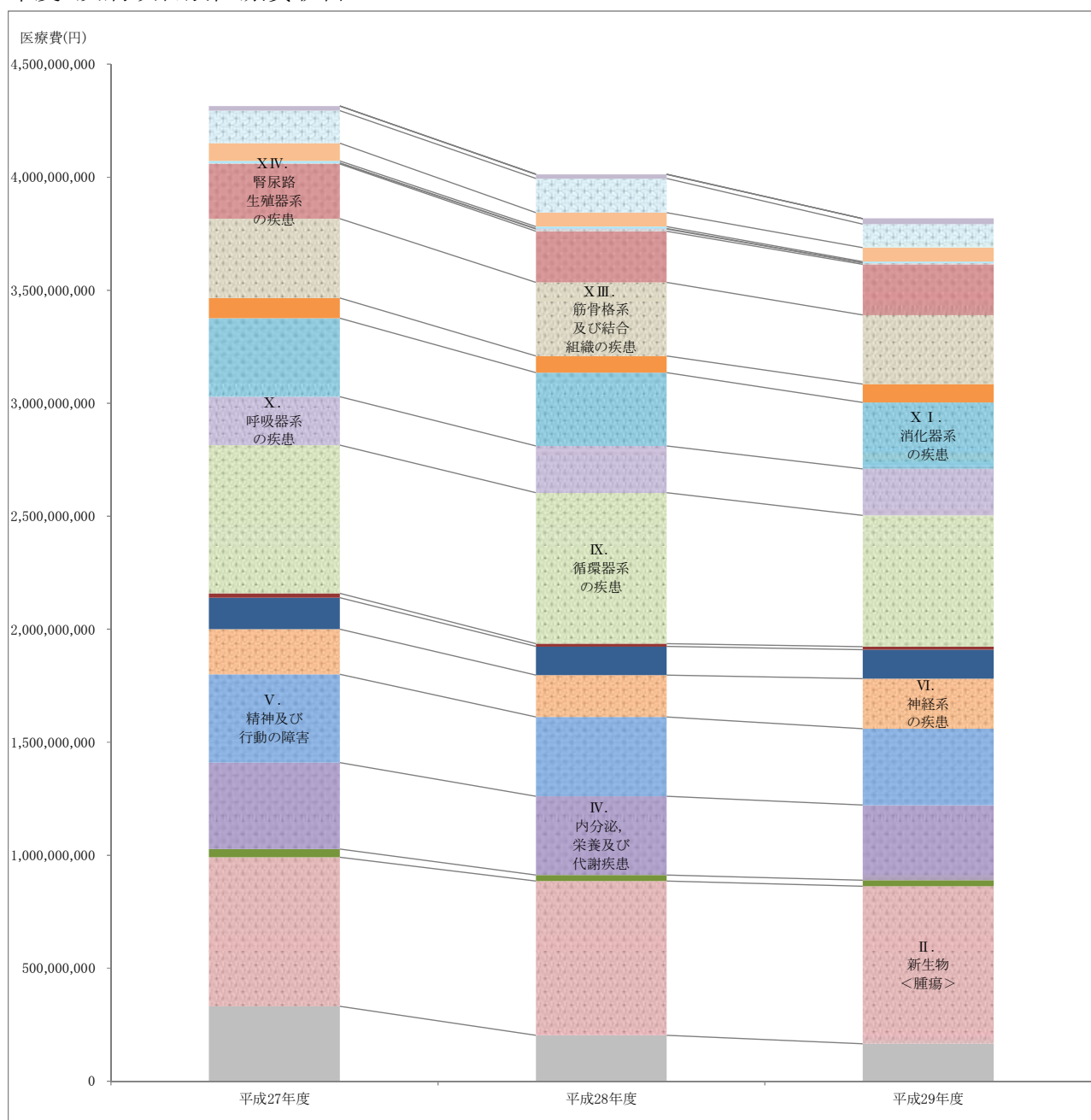
※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠、分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



## 年度・疾病項目別医療費統計



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

## ②中分類による疾病別医療費統計

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費、患者数、患者一人当たりの医療費、各項目の上位10疾病を示したものです。

### 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041	5.7%	1,058
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	5.4%	513
3	0901	高血圧性疾患	169,042,239	4.4%	3,496
4	0402	糖尿病	152,585,315	4.0%	3,181
5	1402	腎不全	152,173,790	4.0%	246
6	1113	その他の消化器系の疾患	142,877,816	3.7%	2,888
7	0903	その他の心疾患	134,486,982	3.5%	1,503
8	0606	その他の神経系の疾患	110,969,884	2.9%	2,318
9	0403	脂質異常症	110,481,393	2.9%	3,417
10	0105	ウイルス性肝炎	108,629,184	2.8%	825

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	169,042,239	3,496	34.0%
2	0403	脂質異常症	110,481,393	3,417	33.2%
3	0402	糖尿病	152,585,315	3,181	30.9%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	47,377,707	2,905	28.2%
5	1113	その他の消化器系の疾患	142,877,816	2,888	28.1%
6	0703	屈折及び調節の障害	19,580,953	2,814	27.3%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	2,428	23.6%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	43,201,995	2,336	22.7%
9	0606	その他の神経系の疾患	110,969,884	2,318	22.5%
10	1110	その他の肝疾患	26,472,949	2,255	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
1	0209	白血病	18,756,239	23	815,489
2	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	61,269,395	88	696,243
3	0904	くも膜下出血	15,796,046	25	631,842
4	1402	腎不全	152,173,790	246	618,593
5	2105	特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	558,896	1	558,896
6	0208	悪性リンパ腫	39,439,526	74	532,967
7	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	69,733,763	163	427,814
8	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	513	400,306
9	1502	妊娠高血圧症候群	2,434,530	7	347,790
10	0501	血管性及び詳細不明の認知症	7,621,890	22	346,450

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成27年度から平成29年度に発生しているレセプトより、疾病中分類毎に集計し、医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

### 年度別 中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に対して占める割合)	患者数(人) ※
平成27年度	1	0105 ウイルス性肝炎	271,234,216	6.3%	914
	2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	237,201,321	5.5%	1,077
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	227,672,462	5.3%	513
	4	0901 高血圧性疾患	202,722,156	4.7%	3,730
	5	0402 糖尿病	181,044,812	4.2%	3,517
	6	1113 その他の消化器系の疾患	167,937,873	3.9%	3,077
	7	1402 腎不全	158,731,669	3.7%	251
	8	0903 その他の心疾患	132,156,624	3.1%	1,538
	9	0403 脂質異常症	123,269,080	2.9%	3,606
	10	0906 脳梗塞	115,434,840	2.7%	893
平成28年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	212,284,965	5.3%	1,005
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	210,833,311	5.3%	513
	3	0903 その他の心疾患	192,279,312	4.8%	1,517
	4	0901 高血圧性疾患	184,222,657	4.6%	3,635
	5	0402 糖尿病	160,004,072	4.0%	3,319
	6	1113 その他の消化器系の疾患	151,715,447	3.8%	2,948
	7	1402 腎不全	151,394,383	3.8%	237
	8	0105 ウイルス性肝炎	136,186,304	3.4%	875
	9	0403 脂質異常症	120,924,608	3.0%	3,542
	10	0606 その他の神経系の疾患	95,107,763	2.4%	2,358
平成29年度	1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041	5.7%	1,058
	2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	5.4%	513
	3	0901 高血圧性疾患	169,042,239	4.4%	3,496
	4	0402 糖尿病	152,585,315	4.0%	3,181
	5	1402 腎不全	152,173,790	4.0%	246
	6	1113 その他の消化器系の疾患	142,877,816	3.7%	2,888
	7	0903 その他の心疾患	134,486,982	3.5%	1,503
	8	0606 その他の神経系の疾患	110,969,884	2.9%	2,318
	9	0403 脂質異常症	110,481,393	2.9%	3,417
	10	0105 ウイルス性肝炎	108,629,184	2.8%	825

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者数上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
平成27年度	1	0901 高血圧性疾患	202,722,156	3,730	33.7%
	2	0403 脂質異常症	123,269,080	3,606	32.6%
	3	0402 糖尿病	181,044,812	3,517	31.8%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	58,807,830	3,313	29.9%
	5	0703 屈折及び調節の障害	24,616,382	3,095	27.9%
	6	1113 その他の消化器系の疾患	167,937,873	3,077	27.8%
	7	1110 その他の肝疾患	32,890,814	2,639	23.8%
	8	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	79,357,041	2,635	23.8%
	9	1202 皮膚炎及び湿疹	45,324,982	2,543	23.0%
	10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	76,847,173	2,465	22.3%
平成28年度	1	0901 高血圧性疾患	184,222,657	3,635	34.0%
	2	0403 脂質異常症	120,924,608	3,542	33.1%
	3	0402 糖尿病	160,004,072	3,319	31.0%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	52,483,859	3,123	29.2%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	151,715,447	2,948	27.6%
	6	0703 屈折及び調節の障害	21,299,648	2,934	27.4%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	62,361,487	2,589	24.2%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	42,406,710	2,454	22.9%
	9	1110 その他の肝疾患	29,958,198	2,413	22.6%
	10	0606 その他の神経系の疾患	95,107,763	2,358	22.1%
平成29年度	1	0901 高血圧性疾患	169,042,239	3,496	34.0%
	2	0403 脂質異常症	110,481,393	3,417	33.2%
	3	0402 糖尿病	152,585,315	3,181	30.9%
	4	1105 胃炎及び十二指腸炎	47,377,707	2,905	28.2%
	5	1113 その他の消化器系の疾患	142,877,816	2,888	28.1%
	6	0703 屈折及び調節の障害	19,580,953	2,814	27.3%
	7	1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	2,428	23.6%
	8	1202 皮膚炎及び湿疹	43,201,995	2,336	22.7%
	9	0606 その他の神経系の疾患	110,969,884	2,318	22.5%
	10	1110 その他の肝疾患	26,472,949	2,255	21.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

以下は、患者一人当たりの医療費上位10疾病を年度別に示したものです。

年度別 中分類による疾病別統計(患者一人当たりの医療費が高額な上位10疾病)

年度	順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	患者数(人) ※	患者一人当たりの医療費(円)
平成27年度	1	1402 腎不全	158,731,669	251	632,397
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	48,272,810	87	554,860
	3	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	227,672,462	513	443,806
	4	0209 白血病	10,770,160	25	430,806
	5	0208 悪性リンパ腫	29,031,357	69	420,744
	6	0904 くも膜下出血	10,124,952	28	361,605
	7	0501 血管性及び詳細不明の認知症	11,938,654	36	331,629
	8	0105 ウイルス性肝炎	271,234,216	914	296,755
	9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	49,885,352	172	290,031
	10	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	237,201,321	1,077	220,243
平成28年度	1	0209 白血病	26,711,800	17	1,571,282
	2	1402 腎不全	151,394,383	237	638,795
	3	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	44,856,898	85	527,728
	4	0208 悪性リンパ腫	26,846,119	57	470,985
	5	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	210,833,311	513	410,981
	6	0904 くも膜下出血	8,029,445	24	334,560
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	49,423,626	172	287,347
	8	0601 パーキンソン病	27,338,103	107	255,496
	9	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	212,284,965	1,005	211,229
	10	1701 心臓の先天奇形	4,796,351	24	199,848
平成29年度	1	0209 白血病	18,756,239	23	815,489
	2	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	61,269,395	88	696,243
	3	0904 くも膜下出血	15,796,046	25	631,842
	4	1402 腎不全	152,173,790	246	618,593
	5	2105 特定の処置(歯の補てつを除く)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	558,896	1	558,896
	6	0208 悪性リンパ腫	39,439,526	74	532,967
	7	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	69,733,763	163	427,814
	8	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	513	400,306
	9	1502 妊娠高血圧症候群	2,434,530	7	347,790
	10	0501 血管性及び詳細不明の認知症	7,621,890	22	346,450

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

中分類による疾病別医療費統計(全項目)

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)			レセプト件数 ※			患者数 ※				
	3,816,776,070			162,699			10,291				
疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>	165,878,226	4.3%		16,188	9.9%		3,257	31.6%		50,930	
0101 腸管感染症	10,451,187	0.3%	73	2,366	1.5%	56	871	8.5%	35	11,999	103
0102 結核	1,063,668	0.0%	108	156	0.1%	107	76	0.7%	101	13,996	95
0103 主として性的伝播様式をとる感染症	1,986,640	0.1%	100	470	0.3%	93	295	2.9%	69	6,734	112
0104 皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	10,289,278	0.3%	75	2,058	1.3%	58	520	5.1%	54	19,787	79
0105 ウイルス性肝炎	108,629,184	2.8%	10	5,187	3.2%	37	825	8.0%	37	131,672	19
0106 その他のウイルス性疾患	5,703,429	0.1%	87	737	0.5%	86	248	2.4%	75	22,998	74
0107 真菌症	15,833,346	0.4%	60	4,015	2.5%	41	871	8.5%	35	18,178	84
0108 感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	47,478	0.0%	120	18	0.0%	118	7	0.1%	117	6,783	111
0109 その他の感染症及び寄生虫症	11,874,015	0.3%	70	3,211	2.0%	49	943	9.2%	33	12,592	100
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>	696,813,397	18.3%		13,977	8.6%		2,857	27.8%		243,897	
0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	56,324,568	1.5%	21	2,025	1.2%	60	557	5.4%	52	101,121	21
0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	65,082,087	1.7%	15	2,455	1.5%	54	703	6.8%	43	92,578	24
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	61,269,395	1.6%	20	772	0.5%	84	88	0.9%	97	696,243	2
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	25,450,142	0.7%	46	1,332	0.8%	69	371	3.6%	61	68,599	31
0205 気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	75,771,756	2.0%	11	1,642	1.0%	67	538	5.2%	53	140,840	18
0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	69,733,763	1.8%	13	964	0.6%	81	163	1.6%	83	427,814	7
0207 子宮の悪性新生物<腫瘍>	22,214,699	0.6%	50	323	0.2%	99	80	0.8%	98	277,684	12
0208 悪性リンパ腫	39,439,526	1.0%	34	430	0.3%	95	74	0.7%	103	532,967	6
0209 白血病	18,756,239	0.5%	54	173	0.1%	106	23	0.2%	111	815,489	1
0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041	5.7%	1	5,142	3.2%	38	1,058	10.3%	27	204,666	14
0211 良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	46,234,183	1.2%	28	2,749	1.7%	52	1,041	10.1%	30	44,413	47
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>	26,506,817	0.7%		4,883	3.0%		969	9.4%		27,355	
0301 貧血	17,062,413	0.4%	58	3,950	2.4%	43	769	7.5%	39	22,188	77
0302 その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	9,444,405	0.2%	77	1,154	0.7%	73	287	2.8%	72	32,907	59
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>	331,905,662	8.7%		63,301	38.9%		5,258	51.1%		63,124	
0401 甲状腺障害	16,266,466	0.4%	59	3,836	2.4%	45	619	6.0%	48	26,279	68
0402 糖尿病	152,585,315	4.0%	4	30,644	18.8%	3	3,181	30.9%	3	47,968	42
0403 脂質異常症	110,481,393	2.9%	9	44,012	27.1%	2	3,417	33.2%	2	32,333	61
0404 その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	52,572,488	1.4%	22	13,671	8.4%	8	1,930	18.8%	14	27,240	66
<b>V. 精神及び行動の障害</b>	339,109,504	8.9%		18,720	11.5%		1,486	14.4%		228,203	
0501 血管性及び詳細不明の認知症	7,621,890	0.2%	82	99	0.1%	112	22	0.2%	112	346,450	10
0502 精神作用物質使用による精神及び行動の障害	10,323,363	0.3%	74	589	0.4%	90	63	0.6%	104	163,863	17
0503 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948	5.4%	2	8,286	5.1%	24	513	5.0%	56	400,306	8

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,816,776,070	162,699	10,291

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位	
0504	気分[感情]障害(躁うつ病を含む)	64,070,223	1.7%	17	10,091	6.2%	15	644	6.3%	47	99,488	22
0505	神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	30,455,748	0.8%	40	8,545	5.3%	22	749	7.3%	40	40,662	51
0506	知的障害<精神遅滞>	1,765,177	0.0%	103	295	0.2%	100	111	1.1%	89	15,902	89
0507	その他の精神及び行動の障害	19,516,156	0.5%	53	1,921	1.2%	61	226	2.2%	78	86,355	28
VI. 神経系の疾患		220,715,928	5.8%		30,163	18.5%		2,609	25.4%		84,598	
0601	パーキンソン病	32,357,890	0.8%	39	1,310	0.8%	70	99	1.0%	93	326,847	11
0602	アルツハイマー病	18,334,052	0.5%	56	1,101	0.7%	75	102	1.0%	92	179,746	16
0603	てんかん	33,634,458	0.9%	38	3,871	2.4%	44	311	3.0%	66	108,149	20
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	24,136,968	0.6%	48	845	0.5%	83	110	1.1%	90	219,427	13
0605	自律神経系の障害	1,282,676	0.0%	106	996	0.6%	80	90	0.9%	96	14,252	93
0606	その他の神経系の疾患	110,969,884	2.9%	8	25,853	15.9%	5	2,318	22.5%	9	47,873	43
VII. 眼及び付属器の疾患		127,931,803	3.4%		14,956	9.2%		3,292	32.0%		38,861	
0701	結膜炎	7,863,903	0.2%	80	5,789	3.6%	32	1,506	14.6%	20	5,222	118
0702	白内障	28,948,682	0.8%	43	6,457	4.0%	29	1,230	12.0%	25	23,536	73
0703	屈折及び調節の障害	19,580,953	0.5%	52	12,825	7.9%	9	2,814	27.3%	6	6,958	110
0704	その他の眼及び付属器の疾患	71,538,265	1.9%	12	10,655	6.5%	14	2,211	21.5%	11	32,356	60
VIII. 耳及び乳様突起の疾患		13,004,568	0.3%		3,375	2.1%		789	7.7%		16,482	
0801	外耳炎	705,525	0.0%	110	335	0.2%	97	151	1.5%	87	4,672	119
0802	その他の外耳疾患	668,437	0.0%	112	277	0.2%	101	155	1.5%	85	4,312	121
0803	中耳炎	2,873,952	0.1%	94	769	0.5%	85	219	2.1%	80	13,123	96
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	648,465	0.0%	113	203	0.1%	102	80	0.8%	98	8,106	107
0805	メニエール病	4,125,271	0.1%	89	1,696	1.0%	65	290	2.8%	71	14,225	94
0806	その他の内耳疾患	1,979,645	0.1%	101	328	0.2%	98	77	0.7%	100	25,710	69
0807	その他の耳疾患	2,003,274	0.1%	99	453	0.3%	94	153	1.5%	86	13,093	97
IX. 循環器系の疾患		580,914,559	15.2%		62,818	38.6%		4,662	45.3%		124,606	
0901	高血圧性疾患	169,042,239	4.4%	3	51,920	31.9%	1	3,496	34.0%	1	48,353	40
0902	虚血性心疾患	64,758,782	1.7%	16	9,048	5.6%	19	1,018	9.9%	31	63,614	32
0903	その他の心疾患	134,486,982	3.5%	7	14,101	8.7%	7	1,503	14.6%	21	89,479	26
0904	くも膜下出血	15,796,046	0.4%	61	107	0.1%	111	25	0.2%	110	631,842	3
0905	脳内出血	61,743,927	1.6%	18	1,088	0.7%	76	322	3.1%	64	191,751	15
0906	脳梗塞	67,558,937	1.8%	14	6,627	4.1%	28	704	6.8%	42	95,964	23
0907	脳動脈硬化(症)	85,923	0.0%	117	33	0.0%	114	5	0.0%	119	17,185	86
0908	その他の脳血管疾患	12,012,196	0.3%	68	1,772	1.1%	63	298	2.9%	68	40,309	53
0909	動脈硬化(症)	13,384,295	0.4%	67	2,754	1.7%	51	452	4.4%	59	29,611	64
0911	低血圧(症)	1,524,875	0.0%	104	474	0.3%	92	42	0.4%	107	36,307	57
0912	その他の循環器系の疾患	40,520,357	1.1%	32	2,134	1.3%	57	458	4.5%	58	88,472	27
X. 呼吸器系の疾患		207,255,996	5.4%		28,853	17.7%		5,279	51.3%		39,260	
1001	急性鼻咽頭炎[かぜ]<感冒>	2,129,017	0.1%	98	1,296	0.8%	71	503	4.9%	57	4,233	122
1002	急性咽喉炎及び急性扁桃炎	8,261,531	0.2%	79	3,997	2.5%	42	1,452	14.1%	24	5,690	117
1003	その他の急性上気道感染症	11,974,997	0.3%	69	5,344	3.3%	34	2,088	20.3%	13	5,735	116



※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,816,776,070	162,699	10,291

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
1004 肺炎	29,668,508	0.8%	42	1,775	1.1%	62	701	6.8%	44	42,323	50
1005 急性気管支炎及び急性細気管支炎	14,968,186	0.4%	63	5,959	3.7%	31	1,927	18.7%	15	7,768	108
1006 アレルギー性鼻炎	21,389,202	0.6%	51	8,927	5.5%	20	1,747	17.0%	16	12,243	102
1007 慢性副鼻腔炎	7,747,703	0.2%	81	1,064	0.7%	77	226	2.2%	78	34,282	58
1008 急性又は慢性と明示されない気管支炎	1,375,863	0.0%	105	601	0.4%	89	191	1.9%	81	7,203	109
1009 慢性閉塞性肺疾患	18,334,699	0.5%	55	3,481	2.1%	47	348	3.4%	62	52,686	37
1010 喘息	40,330,321	1.1%	33	8,365	5.1%	23	1,048	10.2%	29	38,483	55
1011 その他の呼吸器系の疾患	51,075,968	1.3%	24	5,298	3.3%	35	2,101	20.4%	12	24,310	71
<b>X I . 消化器系の疾患</b>	<b>293,333,950</b>	<b>7.7%</b>		<b>56,480</b>	<b>34.7%</b>		<b>5,830</b>	<b>56.7%</b>		<b>50,315</b>	
1101 う蝕 ※	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1102 歯肉炎及び歯周疾患	35,825	0.0%	122	5	0.0%	121	3	0.0%	121	11,942	104
1103 その他の歯及び歯の支持組織の障害	50,913	0.0%	119	31	0.0%	115	11	0.1%	116	4,628	120
1104 胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	33,715,484	0.9%	37	10,001	6.1%	16	1,052	10.2%	28	32,049	62
1105 胃炎及び十二指腸炎	47,377,707	1.2%	27	23,225	14.3%	6	2,905	28.2%	4	16,309	88
1106 痔核	2,747,607	0.1%	95	903	0.6%	82	184	1.8%	82	14,933	92
1107 アルコール性肝疾患	7,570,219	0.2%	83	1,028	0.6%	78	109	1.1%	91	69,452	30
1108 慢性肝炎(アルコール性のものを除く)	4,483,458	0.1%	88	3,390	2.1%	48	283	2.7%	73	15,843	90
1109 肝硬変(アルコール性のものを除く)	3,574,085	0.1%	91	629	0.4%	88	76	0.7%	101	47,027	44
1110 その他の肝疾患	26,472,949	0.7%	45	11,243	6.9%	13	2,255	21.9%	10	11,740	105
1111 胆石症及び胆のう炎	14,593,580	0.4%	64	1,679	1.0%	66	326	3.2%	63	44,766	45
1112 膵疾患	9,834,308	0.3%	76	1,699	1.0%	64	516	5.0%	55	19,059	81
1113 その他の消化器系の疾患	142,877,816	3.7%	6	27,188	16.7%	4	2,888	28.1%	5	49,473	39
<b>X II . 皮膚及び皮下組織の疾患</b>	<b>80,983,753</b>	<b>2.1%</b>		<b>17,014</b>	<b>10.5%</b>		<b>3,128</b>	<b>30.4%</b>		<b>25,890</b>	
1201 皮膚及び皮下組織の感染症	7,400,378	0.2%	84	2,030	1.2%	59	586	5.7%	50	12,629	99
1202 皮膚炎及び湿疹	43,201,995	1.1%	31	12,324	7.6%	11	2,336	22.7%	8	18,494	83
1203 その他の皮膚及び皮下組織の疾患	30,381,380	0.8%	41	8,087	5.0%	25	1,581	15.4%	18	19,217	80
<b>X III . 筋骨格系及び結合組織の疾患</b>	<b>305,903,236</b>	<b>8.0%</b>		<b>39,200</b>	<b>24.1%</b>		<b>4,249</b>	<b>41.3%</b>		<b>71,994</b>	
1301 炎症性多発性関節障害	39,290,849	1.0%	35	5,209	3.2%	36	658	6.4%	46	59,713	34
1302 関節症	48,732,582	1.3%	26	9,439	5.8%	18	1,096	10.7%	26	44,464	46
1303 脊椎障害(脊椎症を含む)	50,853,806	1.3%	25	7,635	4.7%	26	996	9.7%	32	51,058	38
1304 椎間板障害	15,225,315	0.4%	62	3,824	2.4%	46	579	5.6%	51	26,296	67
1305 頸腕症候群	11,822,178	0.3%	71	8,594	5.3%	21	921	8.9%	34	12,836	98
1306 腰痛症及び坐骨神経痛	25,335,136	0.7%	47	11,645	7.2%	12	1,497	14.5%	22	16,924	87
1307 その他の脊柱障害	18,079,697	0.5%	57	1,515	0.9%	68	303	2.9%	67	59,669	35
1308 肩の傷害<損傷>	13,894,207	0.4%	65	4,964	3.1%	39	614	6.0%	49	22,629	76
1309 骨の密度及び構造の障害	43,875,078	1.1%	29	7,618	4.7%	27	777	7.6%	38	56,467	36
1310 その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	38,794,388	1.0%	36	9,621	5.9%	17	1,692	16.4%	17	22,928	75

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,816,776,070	162,699	10,291

疾病分類	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患	223,679,017	5.9%		12,643	7.8%		2,407	23.4%		92,929	
1401 糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患	11,701,115	0.3%	72	1,262	0.8%	72	269	2.6%	74	43,499	49
1402 腎不全	152,173,790	4.0%	5	2,375	1.5%	55	246	2.4%	76	618,593	4
1403 尿路結石症	6,372,234	0.2%	85	519	0.3%	91	158	1.5%	84	40,331	52
1404 その他の腎尿路系の疾患	26,813,187	0.7%	44	6,126	3.8%	30	1,537	14.9%	19	17,445	85
1405 前立腺肥大(症)	13,830,705	0.4%	66	2,962	1.8%	50	315	3.1%	65	43,907	48
1406 その他の男性生殖器の疾患	673,845	0.0%	111	140	0.1%	109	54	0.5%	105	12,479	101
1407 月経障害及び閉経周辺期障害	3,691,887	0.1%	90	1,109	0.7%	74	237	2.3%	77	15,578	91
1408 乳房及びその他の女性生殖器の疾患	8,422,255	0.2%	78	1,016	0.6%	79	444	4.3%	60	18,969	82
XV. 妊娠、分娩及び産じょく	6,166,854	0.2%		240	0.1%		107	1.0%		57,634	
1501 流産	213,362	0.0%	116	38	0.0%	113	20	0.2%	114	10,668	106
1502 妊娠高血圧症候群	2,434,530	0.1%	96	16	0.0%	119	7	0.1%	117	347,790	9
1503 単胎自然分娩	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
1504 その他の妊娠、分娩及び産じょく	3,518,963	0.1%	92	200	0.1%	103	93	0.9%	95	37,838	56
XVI. 周産期に発生した病態	1,087,796	0.0%		32	0.0%		22	0.2%		49,445	
1601 妊娠及び胎児発育に関連する障害	78,072	0.0%	118	3	0.0%	122	2	0.0%	122	39,036	54
1602 その他の周産期に発生した病態	1,009,724	0.0%	109	31	0.0%	115	21	0.2%	113	48,082	41
XVII. 先天奇形、変形及び染色体異常	5,312,346	0.1%		471	0.3%		143	1.4%		37,149	
1701 心臓の先天奇形	2,421,742	0.1%	97	108	0.1%	110	27	0.3%	109	89,694	25
1702 その他の先天奇形、変形及び染色体異常	2,890,604	0.1%	93	380	0.2%	96	120	1.2%	88	24,088	72
XVIII. 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	1.6%		12,488	7.7%		2,428	23.6%		25,425	
1800 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	61,730,927	1.6%	19	12,488	7.7%	10	2,428	23.6%	7	25,425	70
XIX. 損傷、中毒及びその他の外因の影響	103,768,880	2.7%		7,610	4.7%		2,120	20.6%		48,948	
1901 骨折	51,561,847	1.4%	23	2,656	1.6%	53	663	6.4%	45	77,771	29
1902 頭蓋内損傷及び内臓の損傷	6,033,301	0.2%	86	180	0.1%	104	95	0.9%	94	63,508	33
1903 熱傷及び腐食	1,111,870	0.0%	107	145	0.1%	108	54	0.5%	105	20,590	78
1904 中毒	1,818,211	0.0%	102	688	0.4%	87	295	2.9%	69	6,163	115
1905 その他の損傷及びその他の外因の影響	43,243,651	1.1%	30	4,721	2.9%	40	1,496	14.5%	23	28,906	65
XXI. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	24,515,238	0.6%		5,497	3.4%		766	7.4%		32,004	
2101 検査及び診査のための保健サービスの利用者	32,852	0.0%	123	8	0.0%	120	5	0.0%	119	6,570	113
2102 予防接種	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2103 正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	38,922	0.0%	121	24	0.0%	117	15	0.1%	115	2,595	123
2104 菌の補てつ	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	

※大分類毎の集計を 網掛け 表示する。  
 ※各項目毎に上位10疾病(中分類)を 網掛け 表示する。

総合計	医療費総計(円)	レセプト件数 ※	患者数 ※
	3,816,776,070	162,699	10,291

疾病分類		医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	構成比 (%)	順位	患者数 ※	構成比 (%)	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
2105	特定の処置(菌の補てつを除外)及び保健ケアのための保健サービスの利用者	558,896	0.0%	114	1	0.0%	123	1	0.0%	123	558,896	5
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	23,884,568	0.6%	49	5,465	3.4%	33	746	7.2%	41	32,017	63
XXII. 特殊目的用コード		0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2210	重症急性呼吸器症候群[SARS]	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
2220	その他の特殊目的用コード	0	0.0%		0	0.0%		0	0.0%		0	
分類外		257,614	0.0%		179	0.1%		40	0.4%		6,440	
9999	分類外	257,614	0.0%	115	179	0.1%	105	40	0.4%	108	6,440	114

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※う蝕…「う蝕」等歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

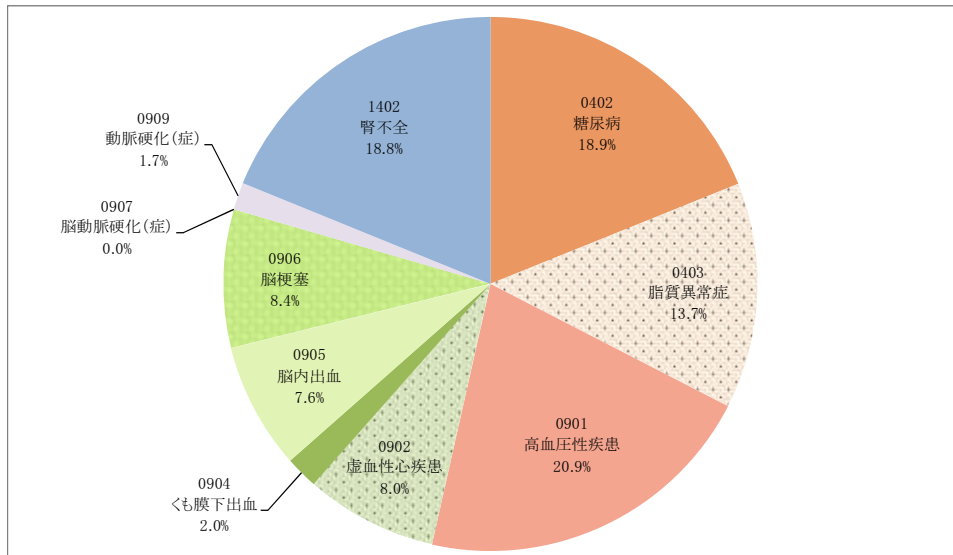
#### (4)生活習慣病に係る医療費

平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、生活習慣病の医療費及び患者数を算出しました。糖尿病医療費は1億5,259万円、脂質異常症医療費は1億1,048万円、高血圧性疾患医療費は1億6,904万円となります。

#### 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	患者数(人)	患者一人当たりの医療費(円)
0402	糖尿病	152,585,315	3,181	47,968
0403	脂質異常症	110,481,393	3,417	32,333
0901	高血圧性疾患	169,042,239	3,496	48,353
0902	虚血性心疾患	64,758,782	1,018	63,614
0904	くも膜下出血	15,796,046	25	631,842
0905	脳内出血	61,743,927	322	191,751
0906	脳梗塞	67,558,937	704	95,964
0907	脳動脈硬化(症)	85,923	5	17,185
0909	動脈硬化(症)	13,384,295	452	29,611
1402	腎不全	152,173,790	246	618,593

#### 生活習慣病医療費構成



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、平成27年度から平成29年度における、生活習慣病医療費を年度別に示したものです。平成29年度を平成27年度と比較すると、糖尿病医療費1億5,259万円は、平成27年度1億8,104万円より2,845万円減少しています。また、脂質異常症医療費1億1,048万円は、平成27年度1億2,327万円より1,279万円減少しています。高血圧性疾患医療費1億6,904万円は、平成27年度2億272万円より3,368万円減少しています。

#### 年度別 生活習慣病医療費

疾病分類(中分類)		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)	医療費(円) ※	構成比(%)
0402	糖尿病	181,044,812	19.8%	160,004,072	19.2%	152,585,315	18.9%
0403	脂質異常症	123,269,080	13.5%	120,924,608	14.5%	110,481,393	13.7%
0901	高血圧性疾患	202,722,156	22.1%	184,222,657	22.1%	169,042,239	20.9%
0902	虚血性心疾患	77,018,347	8.4%	66,440,426	8.0%	64,758,782	8.0%
0904	くも膜下出血	10,124,952	1.1%	8,029,445	1.0%	15,796,046	2.0%
0905	脳内出血	33,461,668	3.7%	40,489,940	4.9%	61,743,927	7.6%
0906	脳梗塞	115,434,840	12.6%	89,190,419	10.7%	67,558,937	8.4%
0907	脳動脈硬化(症)	72,779	0.0%	71,623	0.0%	85,923	0.0%
0909	動脈硬化(症)	13,352,035	1.5%	12,467,272	1.5%	13,384,295	1.7%
1402	腎不全	158,731,669	17.3%	151,394,383	18.2%	152,173,790	18.8%
合計		915,232,337		833,234,843		807,610,646	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

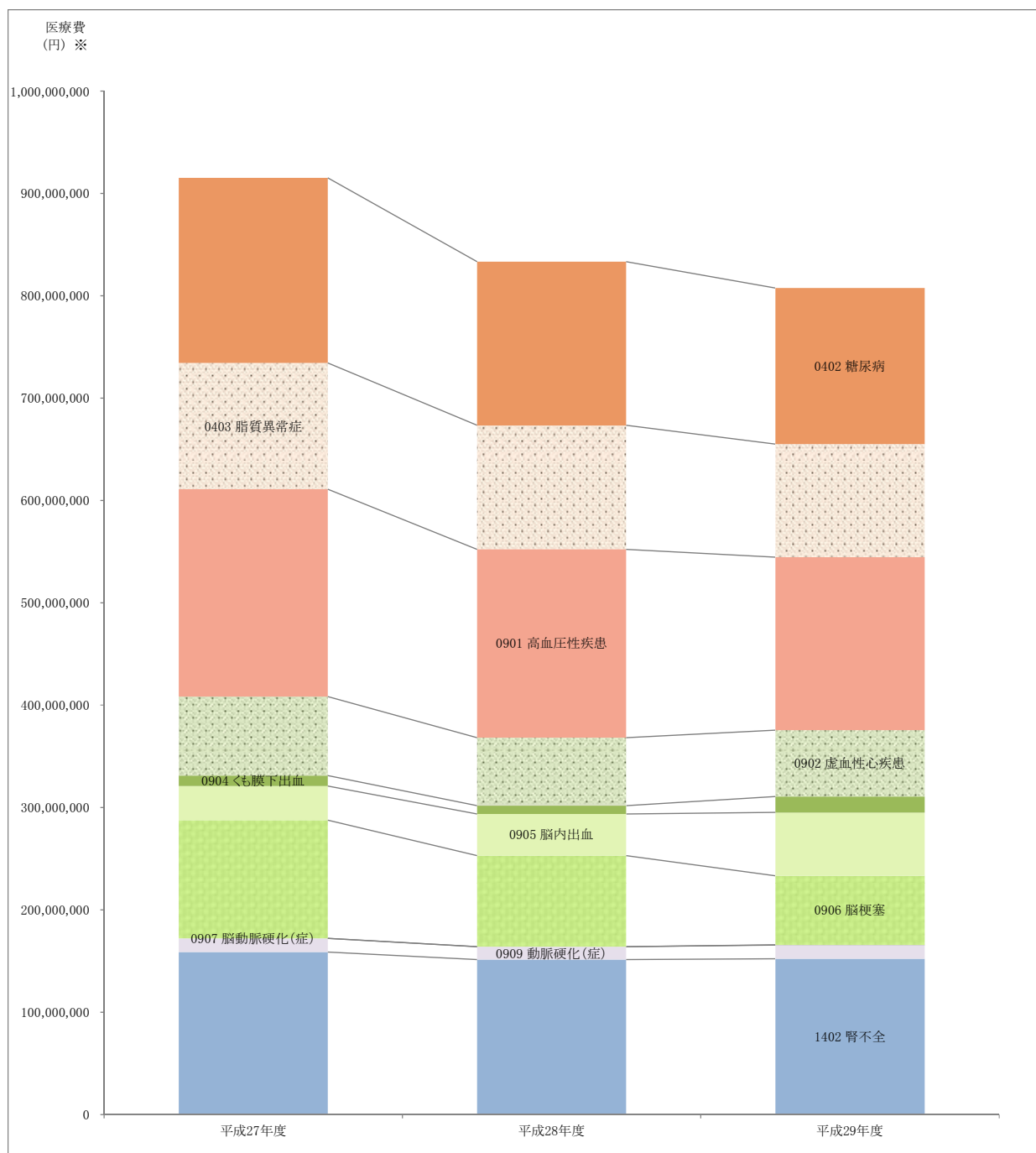
資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

## 年度別 生活習慣病医療費



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

厚生労働省「特定健康診査等実施計画作成の手引き(第2版)」に記載された疾病中分類を生活習慣病の疾病項目とする。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

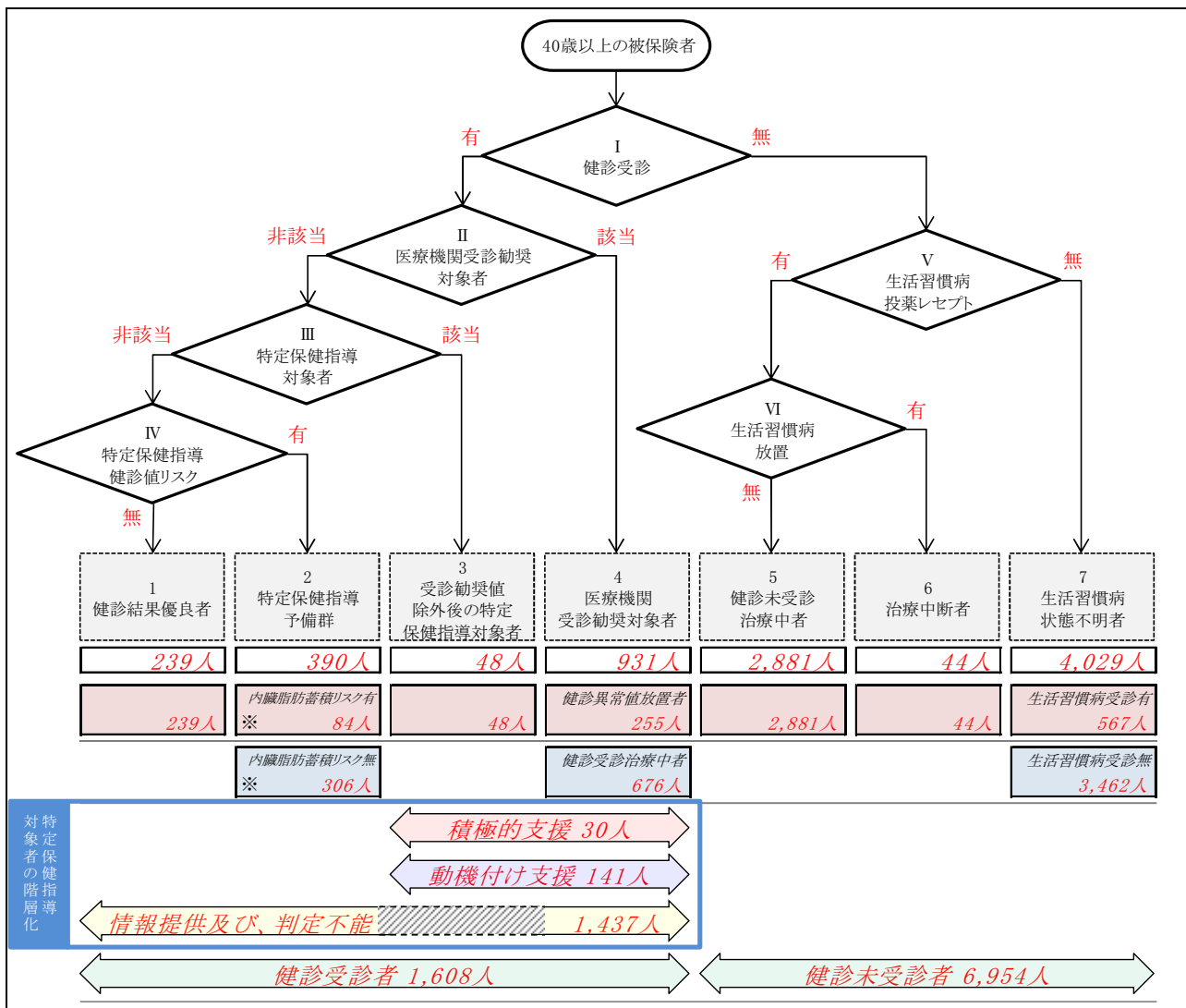
## 4. 保健事業実施に係る分析結果

### (1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析

特定健康診査データとレセプトデータを組み合わせて分析し、40歳以上の被保険者について、特定健康診査データの有無や異常値の有無、生活習慣病にかかわるレセプトの有無等を判定し、7つのグループに分類します。

左端の「1. 健診結果優良者」から「6. 治療中断者」まで順に健康状態が悪くなっており、「7. 生活習慣病状態不明者」は特定健康診査データ・レセプトデータから生活習慣病状態が確認できないグループです。

#### 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成30年2月28日時点。  
 各フローの詳細については巻末資料「1. 指導対象者群分析」のグループ分けの見方を参照。  
 ※内臓脂肪蓄積リスク…腹囲・BMIにより内臓脂肪蓄積リスクを判定し階層化。

## (2) 特定健康診査に係る分析

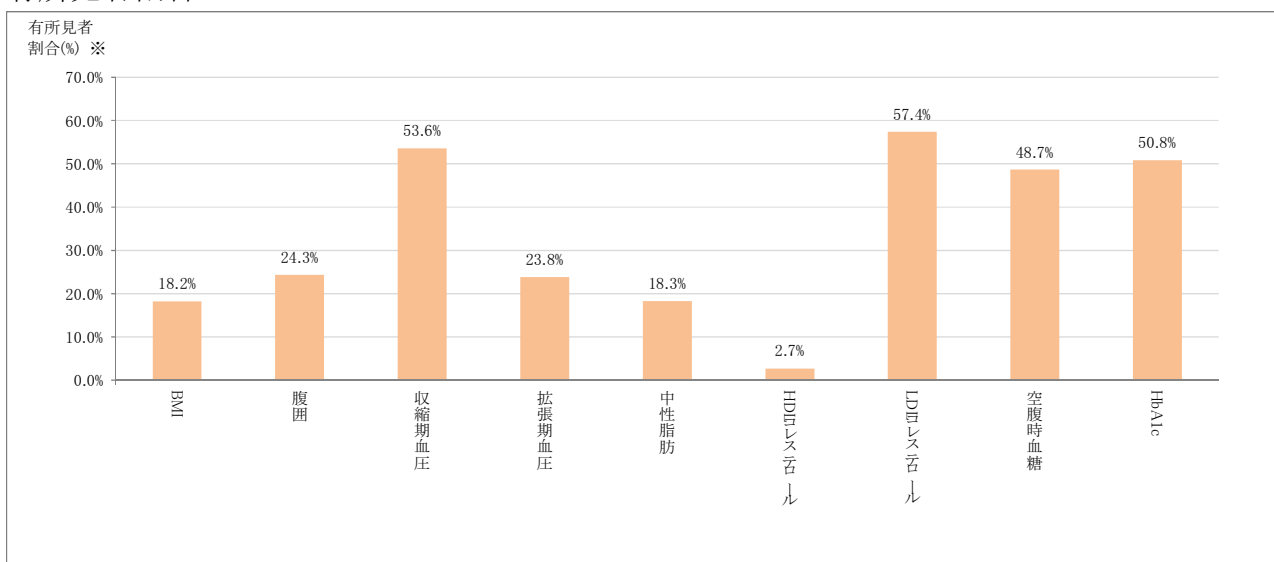
以下は、特定健康診査受診者の有所見者割合及び質問票への質問別回答状況を示したものです。

### 有所見者割合

	BMI	腹囲	収縮期血圧	拡張期血圧
対象者数(人) ※	1,608	1,607	1,608	1,608
有所見者数(人) ※	293	391	862	383
有所見者割合(%) ※	18.2%	24.3%	53.6%	23.8%

	中性脂肪	HDLコレステロール	LDLコレステロール	空腹時血糖	HbA1c
対象者数(人) ※	1,608	1,608	1,608	226	1,608
有所見者数(人) ※	294	44	923	110	817
有所見者割合(%) ※	18.3%	2.7%	57.4%	48.7%	50.8%

### 有所見者割合



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値

BMI:25以上、腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上、収縮期血圧:130mmHg以上、拡張期血圧:85mmHg以上、

中性脂肪:150mg/dl以上、HDLコレステロール:39mg/dl以下、LDLコレステロール:120mg/dl以上、

空腹時血糖値:100mg/dl以上、HbA1c:5.6%以上

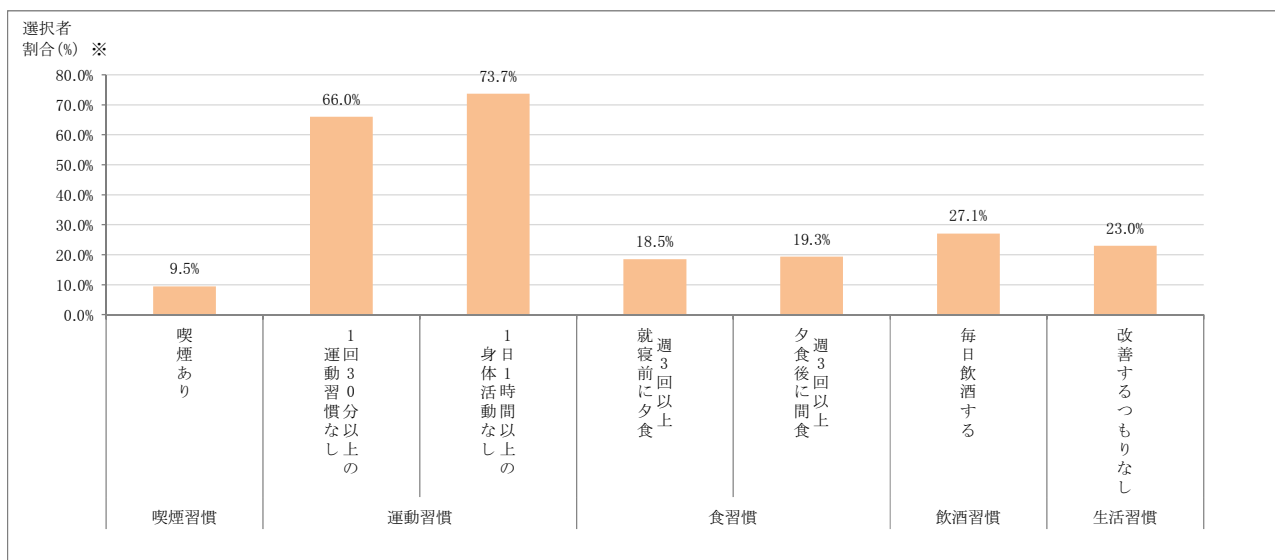


## 質問別回答状況

	喫煙習慣	運動習慣	
質問の選択肢	喫煙あり	1回30分以上の運動習慣なし	1日1時間以上の身体活動なし
質問回答者数(人) ※	1,608	998	999
選択者数(人) ※	152	659	736
選択者割合(%) ※	9.5%	66.0%	73.7%

	食習慣		飲酒習慣	生活習慣
質問の選択肢	週3回以上就寝前に夕食	週3回以上夕食後に間食	毎日飲酒する	改善するつもりなし
質問回答者数(人) ※	999	999	1,481	999
選択者数(人) ※	185	193	401	230
選択者割合(%) ※	18.5%	19.3%	27.1%	23.0%

## 質問別回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※質問回答者数…質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…質問回答者のうち、各質問の選択肢を選択した人の割合。

### 質問回答内容

- 喫煙あり …「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 1回30分以上の運動習慣なし …「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 1日1時間以上の身体活動なし …「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。
- 週3回以上就寝前に夕食 …「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 週3回以上夕食後に間食 …「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。
- 毎日飲酒する …「お酒(清酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対し、「毎日」の回答数を集計。
- 改善するつもりなし …「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようとおもいますか。」の質問に対し、「改善するつもりはない」の回答数を集計。

### (3) 特定保健指導に係る分析

日本人の生活習慣の変化や高齢者の増加等により、近年、糖尿病等の生活習慣病の有病者・予備群が増加しており、生活習慣病を原因とする死亡は、全体の約3分の1にのぼると推計されています。厚生労働省は、40歳以上の被保険者へメタボリックシンドロームの予防・解消に重点を置いた、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導の実施を義務付けています。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」にある「3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者」「4. 医療機関受診勧奨対象者」に該当する対象者より、特定保健指導対象者は171人です。このうち、積極的支援の対象者は30人、動機付け支援の対象者は141人です。

#### 特定保健指導対象者のリスク因子別該当状況

特定保健指導対象者	リスク判定 ※ (該当に●)				リスク因子数	リスク因子組み合わせ	対象者	
	① 血糖	② 血圧	③ 脂質	④ 喫煙			171人	
積極的支援	●	●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	3人	30人 18%
	●	●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	7人	
	●	●		●		血糖+血圧+喫煙	1人	
	●		●	●	因子数2	血糖+脂質+喫煙	3人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	0人	
	●	●			因子数1	血糖+血圧	6人	
	●		●			血糖+脂質	2人	
		●	●			血圧+脂質	3人	
	●			●		血糖+喫煙	3人	
		●		●	因子数0	血圧+喫煙	0人	
			●	●		脂質+喫煙	2人	
	●					血糖	0人	
	動機付け支援		●			因子数1	血圧	
			●		脂質		0人	
				●	喫煙	0人		
					なし	0人		
●		●	●	●	因子数4	血糖+血圧+脂質+喫煙	3人	
●		●	●		因子数3	血糖+血圧+脂質	14人	
●		●		●		血糖+血圧+喫煙	3人	
●			●	●	因子数2	血糖+脂質+喫煙	1人	
		●	●	●		血圧+脂質+喫煙	1人	
●		●			因子数1	血糖+血圧	31人	
●			●			血糖+脂質	8人	
		●	●			血圧+脂質	9人	
●				●		血糖+喫煙	3人	
		●		●	因子数0	血圧+喫煙	4人	
		●	●	脂質+喫煙		0人		
●				血糖		17人		
	●			血圧	38人			
		●		脂質	9人			
			●	喫煙	0人			
				なし	0人			

データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。

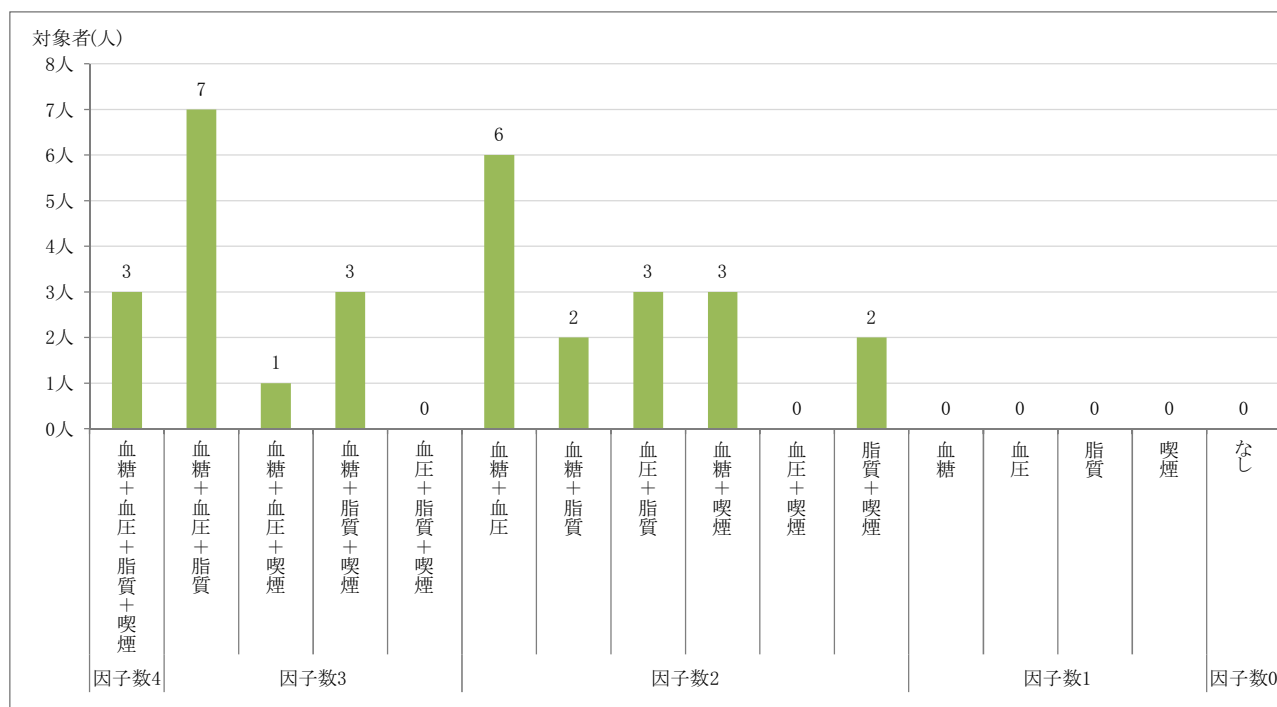
資格確認日…平成30年2月28日時点。

※リスク判定…健診検査値が保健指導判定値を超えている組み合わせ(喫煙については質問回答による)。そのため、厚生労働省が定める保健指導対象者の選定にない組み合わせに該当する場合があります。

リスク判定の詳細は以下の通りとする。

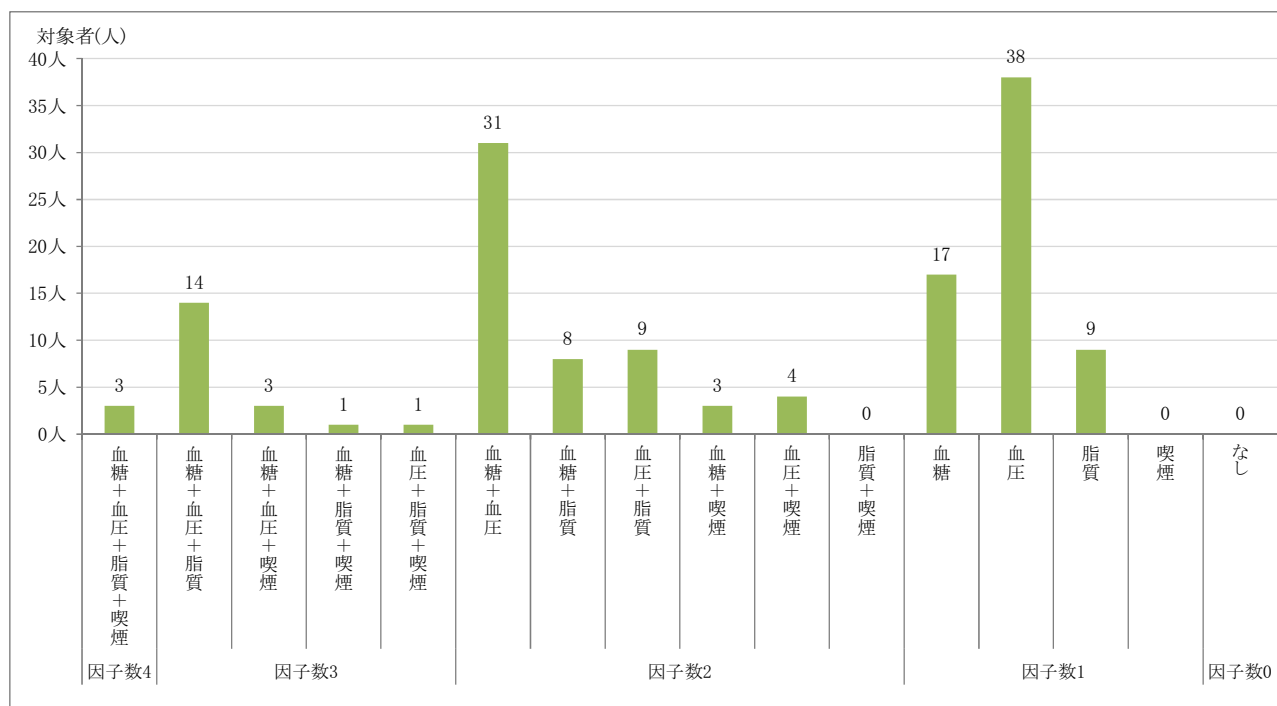
- ①血糖…特定健康診査の検査値において、空腹時血糖100mg/dl以上またはHbA1c5.6%以上(NGSP)
- ②血圧…特定健康診査の検査値において、収縮期血圧が130mmHg以上または拡張期血圧85mmHg以上
- ③脂質…特定健康診査の検査値において、中性脂肪150mg/dl以上またはHDLコレステロール40mg/dl未満
- ④喫煙…特定健康診査の生活習慣に関する質問票においてたばこを習慣的に吸っていると回答

### 積極的支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

### 動機付け支援対象者のリスク因子別該当状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

#### (4) 健診異常値放置者に係る分析

特定健康診査では異常値があった場合、医療機関での精密検査を勧めています。しかし、異常値があるにもかかわらず、医療機関への受診をしていない人が存在します。これらの対象者をレセプトにより見極めます。

「(1) 特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、医療機関への受診をしていない「健診異常値放置者」に該当する255人が健診異常値放置受診勧奨対象者となります。

#### 条件設定による指導対象者の特定(健診異常値放置)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
・健診異常値放置者 … 健診受診後、医療機関へ受診していない人 厚生労働省受診勧奨判定値以上の検査数値のある人を対象とする	
条件設定により対象となった候補者数	255 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「難病患者」「精神疾患患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、健診異常が発生している状態についても認知していると考えられるためです。また、指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

#### 除外設定(健診異常値放置)

II. 除外設定		
	除外理由別人数	
除外	がん、難病、精神疾患、認知症	90 人
↓		
除外患者を除いた候補者数		165 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
 資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、残る対象者165人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。厚生労働省の定める受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)を用いた結果、異常が認められ、かつ生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に対するレセプトが発生していない患者が、健診異常値放置受診勧奨対象者となります。ここでは受診勧奨判定異常値因子数(血糖、血圧、脂質)が多い患者を優先とし、喫煙は生活習慣病のリスクを高めることから、喫煙の有無によりリスクを判定しました。

これら対象者はすべてが受診勧奨対象者ではありますが、通知件数の制約により優先順位を設定する必要がある場合、候補者Aより順に対象者を選択します。

### 優先順位(健診異常値放置)

Ⅲ. 優先順位			
↑高 効果 ↓低	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 3つ	候補者A  0人	候補者C  1人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 2つ	候補者B  1人	候補者D  26人
	医療機関受診勧奨判定異常値因子数 1つ	候補者E  11人	候補者F  126人
		喫煙	非喫煙
←良 効率 悪→			
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの人数			165人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成29年4月～平成30年3月健診分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

#### 健診異常値放置者の判定について

- 健康診査にて異常値があるとされた被保険者を対象とし、健康診査受診後に医療機関への受診がない被保険者を健診異常値放置者と判定する。

## (5)生活習慣病治療中断者に係る分析

生活習慣病は一度発症すると治癒することは少ないため病状の維持が重要となります。そのためには定期的な診療が必要であり、継続的な服薬が求められます。しかし、生活習慣病となった患者の中には服薬を適切に行わないケース、定期的な診療を自己の判断により止めてしまうケースがあります。その結果、生活習慣病が進行し、脳卒中、心筋梗塞等の重篤な疾病を引き起こしてしまう可能性があります。

「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」において治療中断が発生している患者54人が対象となります。

### 条件設定による指導対象者の特定(生活習慣病治療中断者)

I.条件設定による指導対象者の特定		
・生活習慣病治療中断者 …かつて、生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)で定期受診をしていたが、その後、定期受診を中断した患者		
		候補者人数
指導対象者群 分析結果	6 治療中断者	44 人
	上記以外のグループ	10 人
条件設定により対象となった候補者数 (合計)		54 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

上記以外のグループ…治療中断者は健康診査受診の有無にかかわらず発生する。「(1)特定健康診査及びレセプトデータによる指導対象者群分析」では、最初の分岐で健康診査の受診の有無を見ているため、「6 治療中断者」には健康診査未受診者のみ格納される。事業を実施するためには健康診査受診者の治療中断者も併せて事業を実施する必要があるため、ここで健康診査受診者における治療中断者の人数を特定している。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。「がん患者」「難病患者」「精神疾患患者」「認知症患者」に関しては、すでにこれらの疾患について医療機関での治療を受けており、生活習慣病の治療を意図的に中止している可能性も考えられます。合わせて指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

### 除外設定(生活習慣病治療中断者)

II.除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病、精神疾患、認知症	2 人
除外患者を除き、候補者となった患者数		52 人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、残る対象者52人のうち、保健事業の実施効果が高い対象者を特定します。これは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。過去のレセプトデータから医療機関への受診頻度を確認し、その受診頻度に応じた期間を超えて、医療機関への受診が確認されない患者が、生活習慣病治療中断者となります。ここでは生活習慣病の有病数が多い患者を優先としています。

### 優先順位(生活習慣病治療中断者)

Ⅲ. 優先順位				
↑ 高 効果 ↓ 低	生活習慣病有病数 3つ	候補者A1 <i>1人</i>	候補者A2 <i>1人</i>	候補者A3 <i>0人</i>
	生活習慣病有病数 2つ	候補者B1 <i>2人</i>	候補者B2 <i>4人</i>	候補者B3 <i>0人</i>
	生活習慣病有病数 1つ	候補者C1 <i>5人</i>	候補者C2 <i>27人</i>	候補者C3 <i>12人</i>
		毎月受診	2~3カ月に1度受診	4カ月以上の定期受診
効果が高く効率の良い候補者A1~候補者C3の患者数				<i>52人</i>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月~平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

#### 生活習慣病治療中断者の判定について

- 分析期間内において生活習慣病の治療を行っている人の生活習慣病での医療機関受診頻度を特定する。その後、毎月受診していた方が毎月受診せず中断している等、現在の受診状況と比較し、生活習慣病の医療機関受診を中断している判定を行う。

## (6) 糖尿病性腎症重症化予防に係る分析

人工透析患者の分析結果を以下に示します。「透析」は傷病名ではないため、「透析」にあたる診療行為が行われている患者を特定し、集計しました。

分析の結果、起因が明らかとなった患者のうち、73.7%が生活習慣を起因とするものであり、その65.8%が糖尿病を起因として透析となる、糖尿病性腎症であることが分かりました。

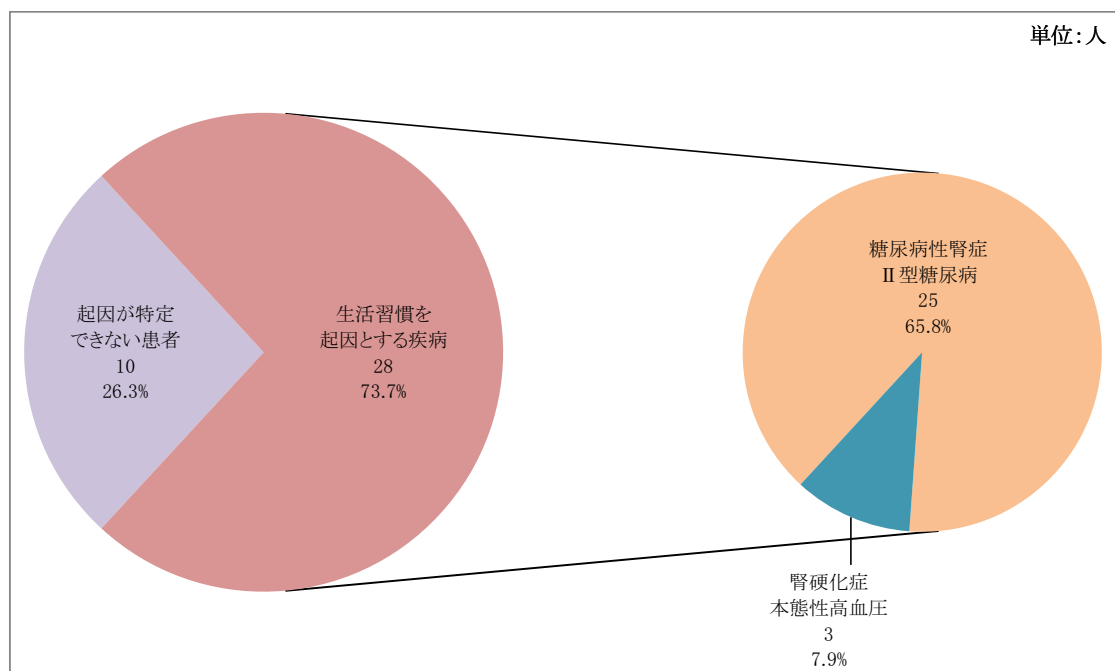
対象レセプト期間内で「透析」に関する診療行為が行われている患者数

透析療法の種類	透析患者数 (人)
血液透析のみ	36
腹膜透析のみ	1
血液透析及び腹膜透析	1
透析患者合計	38

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

データ化範囲(分析対象)期間内に「腹膜透析」もしくは「血液透析」の診療行為がある患者を対象に集計。現時点で資格喪失している被保険者についても集計する。緊急透析と思われる患者は除く。

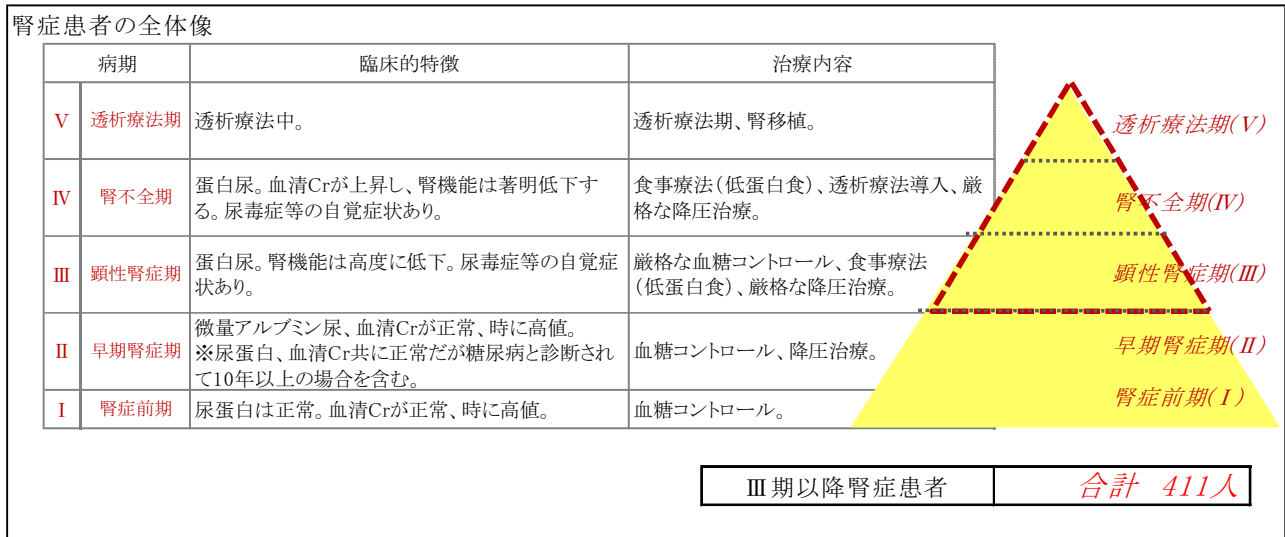
※割合…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。



「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て分析し、適切な対象者集団を特定します。その結果、腎症患者411人中119人の適切な指導対象者を特定しました。

以下は、腎症患者の全体像を示したものです。

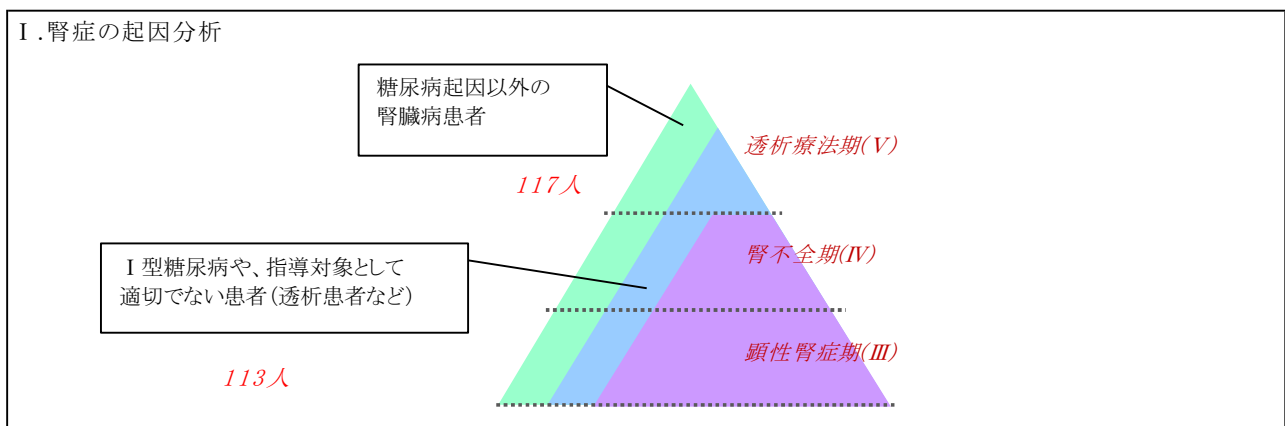
### 腎症患者の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

以下は、「腎症の起因分析」を示したものです。緑色部分は糖尿病起因以外の腎臓病患者と考えられ、117人の患者が存在します。また、青色部分は糖尿病患者ですが、生活習慣を起因としていない糖尿病患者や、指導対象として適切でない患者(透析患者、腎臓移植した可能性がある患者、すでに資格喪失している等)と考えられ、113人の患者が存在します。紫色部分は生活習慣起因の糖尿病または腎症と考えられる患者で、この患者層が保健指導対象者として適切となります。

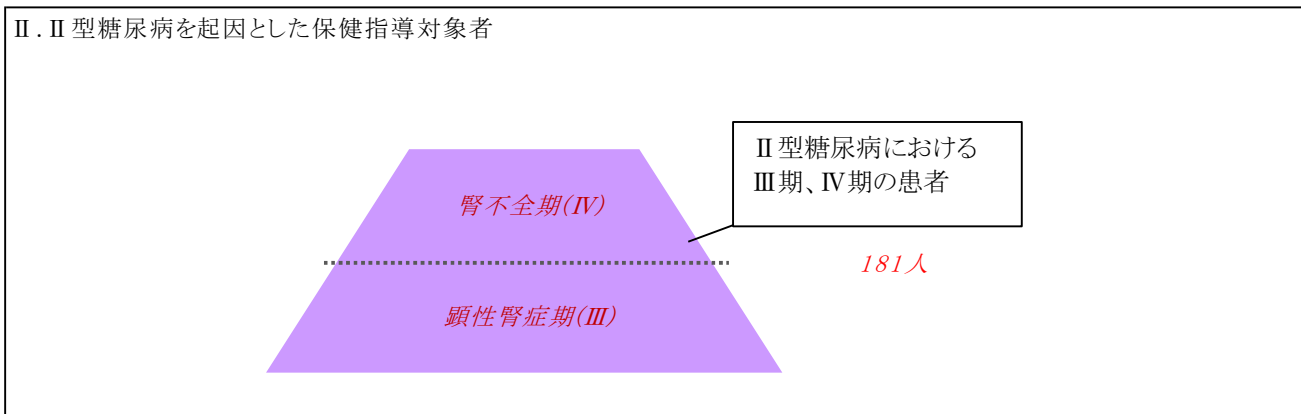
### 腎症の起因分析



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、「Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者」を以下の通り示します。腎不全期または顕性腎症期の患者は合わせて181人となっています。重症化予防を実施するに当たり、適切な病期は、透析への移行が近い腎不全期、腎機能が急激に低下する顕性腎症期となります。

## Ⅱ型糖尿病を起因とした保健指導対象者

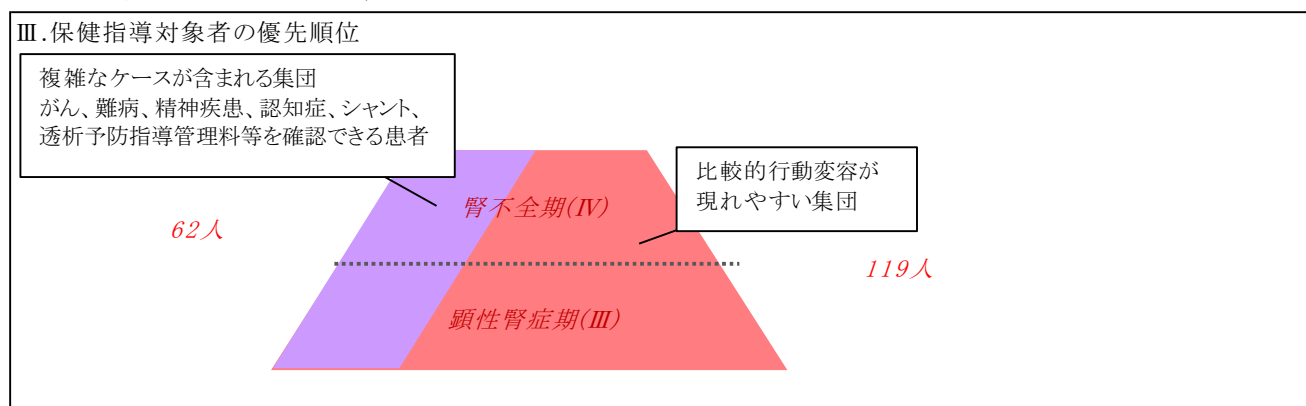


データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、個人毎の状態を見極め、「保健指導対象者の優先順位」について分析しました。181人のうち「複雑なケースが含まれる集団」、つまり、がん、難病、精神疾患、認知症等が含まれる患者は、62人存在しています。

一方、それらの疾病が確認できない「比較的行動変容が現れやすい集団」は、119人存在しています。保健事業を行う上で、これら2つのグループには費用対効果に大きな違いがあります。「比較的行動変容が現れやすい集団」が本事業の対象者です。

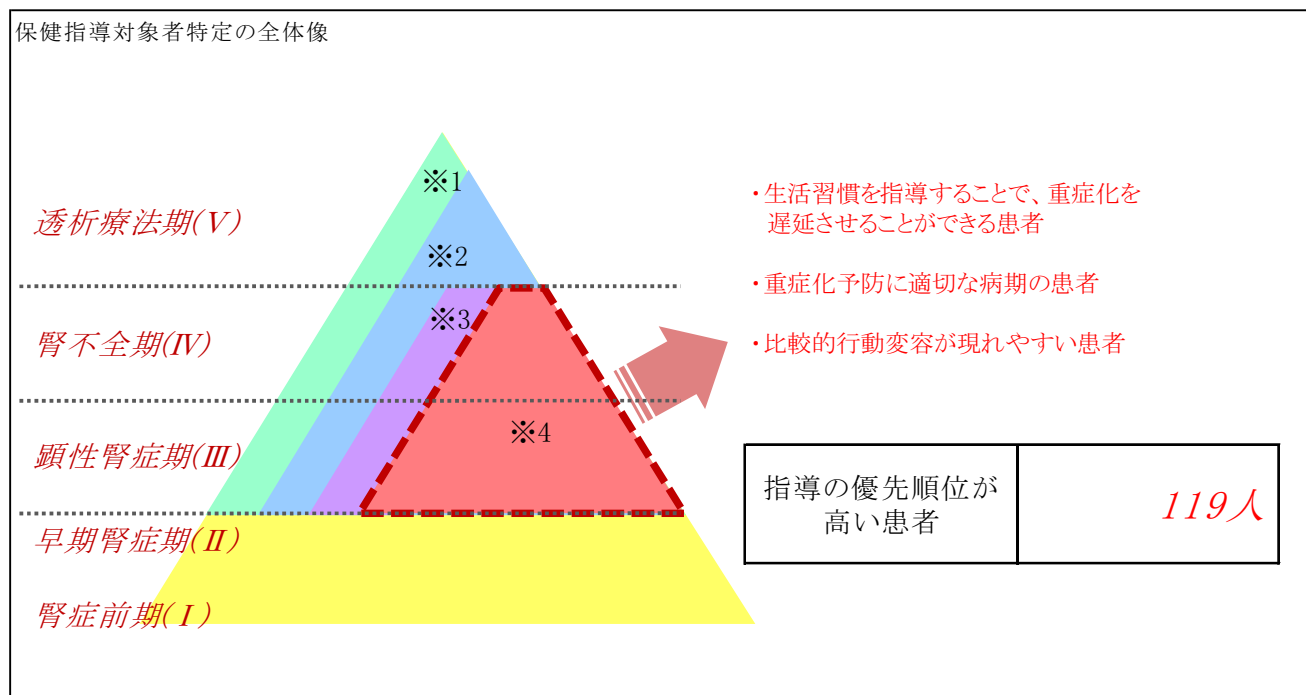
## 保健指導対象者の優先順位



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

以上の分析のように「腎症の起因分析」「II型糖尿病を起因とした保健指導対象者」「保健指導対象者の優先順位」の3段階を経て、適切な指導対象者は、119人となっています。以下は、この分析の全体像を示したものです。

### 保健指導対象者特定の全体像



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※1…糖尿病起因以外の腎臓病患者

※2…I型糖尿病や、指導対象として適切でない患者(透析患者等)

※3…複雑なケースが含まれる集団(がん、難病、精神疾患、認知症等を確認できる患者)

※4…比較的行動変容が現れやすい患者

## (7) COPD(慢性閉塞性肺疾患)に係る分析

COPD(慢性閉塞性肺疾患)は、主に長期の喫煙によってもたらされる肺の炎症性疾患で咳・痰・息切れ等の症状があり、緩徐に呼吸障害が進行する疾患です。世界的にみるとCOPDによる死亡者は年間300万人と推定され、死因順位4位です。日本においてもCOPDによる死亡者は1万5千人を超えており、特に男性は平成28年に1万2千人以上で死因順位8位です。日本の煙草消費量は近年減少傾向にありますが、過去の喫煙習慣による長期的な影響と急速な高齢化により、今後さらに罹患率、有病率、死亡率の増加が続くと予想されます。

日本における40歳以上のCOPD患者は、530万人と推定されていますが、実際に治療を行っている患者は約26万1千人に過ぎません。認知度の低さから医療機関にかからないまま重症化しており、早期発見ができていないと推測されます。

### ①COPD患者の実態と潜在患者

COPD患者の実態と潜在患者について以下の通りです。日本においてCOPDの治療を行っている患者は約26万1千人、それに対して潜在患者は530万人と推定されています。一方、倉吉市国民健康保険の被保険者を対象に平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)で分析したところ、治療を行っている患者は96人でした。日本における治療中患者と潜在患者の比率を参考に、倉吉市国民健康保険被保険者に換算すると、潜在患者は1,920人程度と想定されます。

#### COPD患者の治療状況と潜在患者数

対象範囲	治療患者数	潜在患者数
日本	26万1千人 ※	推定530万人 ※
倉吉市国民健康保険 被保険者	96人 内訳:男性70人 (73%) 女性26人 (27%)	推定1,920人

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

参考資料

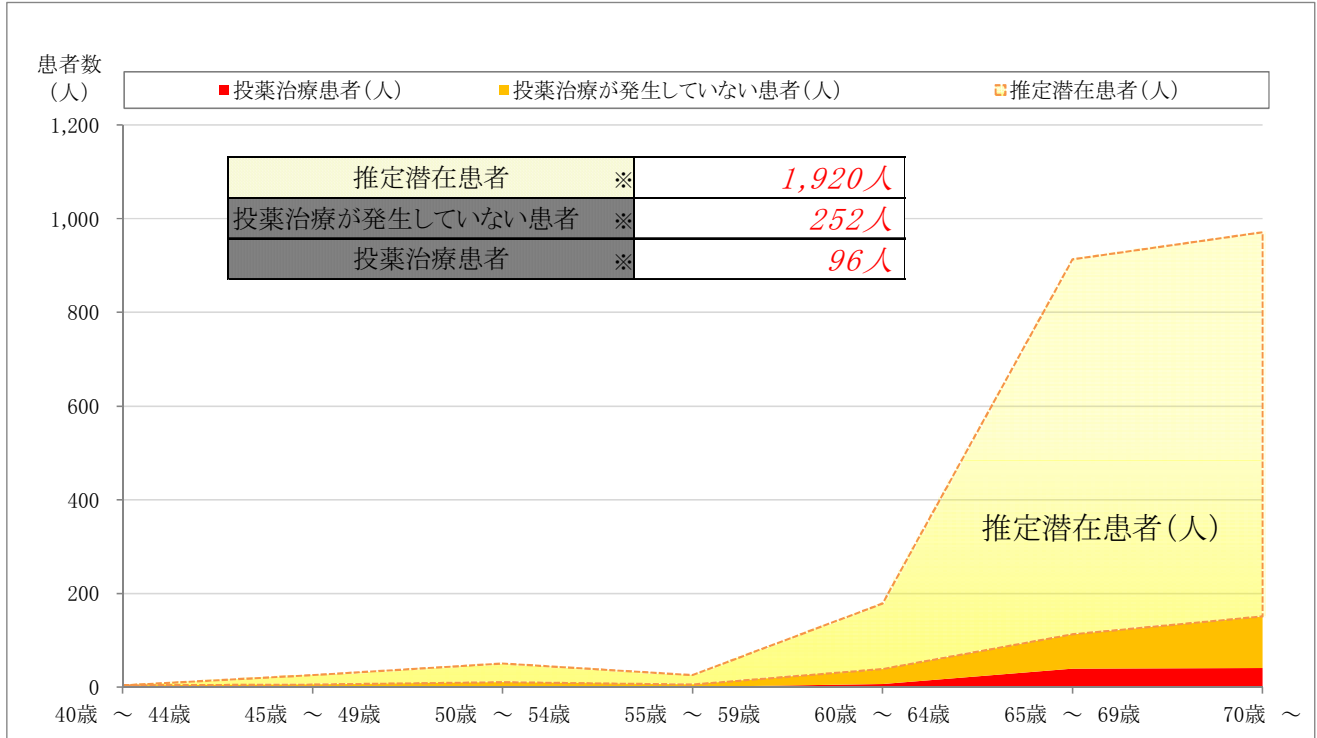
※治療患者数…平成26年患者調査(総患者数, 性・年齢階層×傷病小分類別)

[http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?\\_toGL08020103\\_listID=000001141596](http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/GL08020103.do?_toGL08020103_listID=000001141596)(アクセス日:平成28年6月1日)

※潜在患者数…Fukuchi Y, et al, COPD in Japan: the Nippon COPD Epidemiology study, Respirology.2004Nov;9(4):458-65

COPD患者の年齢階層別「投薬治療患者」「投薬治療が発生していない患者」「推定潜在患者」は以下の通りです。

### COPD患者の治療状況と潜在患者数



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。  
 ※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。  
 ※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。  
 ※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

また、COPD患者全体348人の医療費を分析したところ、以下の通りとなりました。12カ月間での患者一人当たりの医療費平均は106万円程度、このうちCOPD関連の医療費が5万円程度、COPD関連以外の医療費が101万円程度である。COPD関連の医療費自体は高額ではないが、患者毎に見ると、生活習慣病である糖尿病・高血圧・脂質異常等を併存している患者が多いことがわかります。

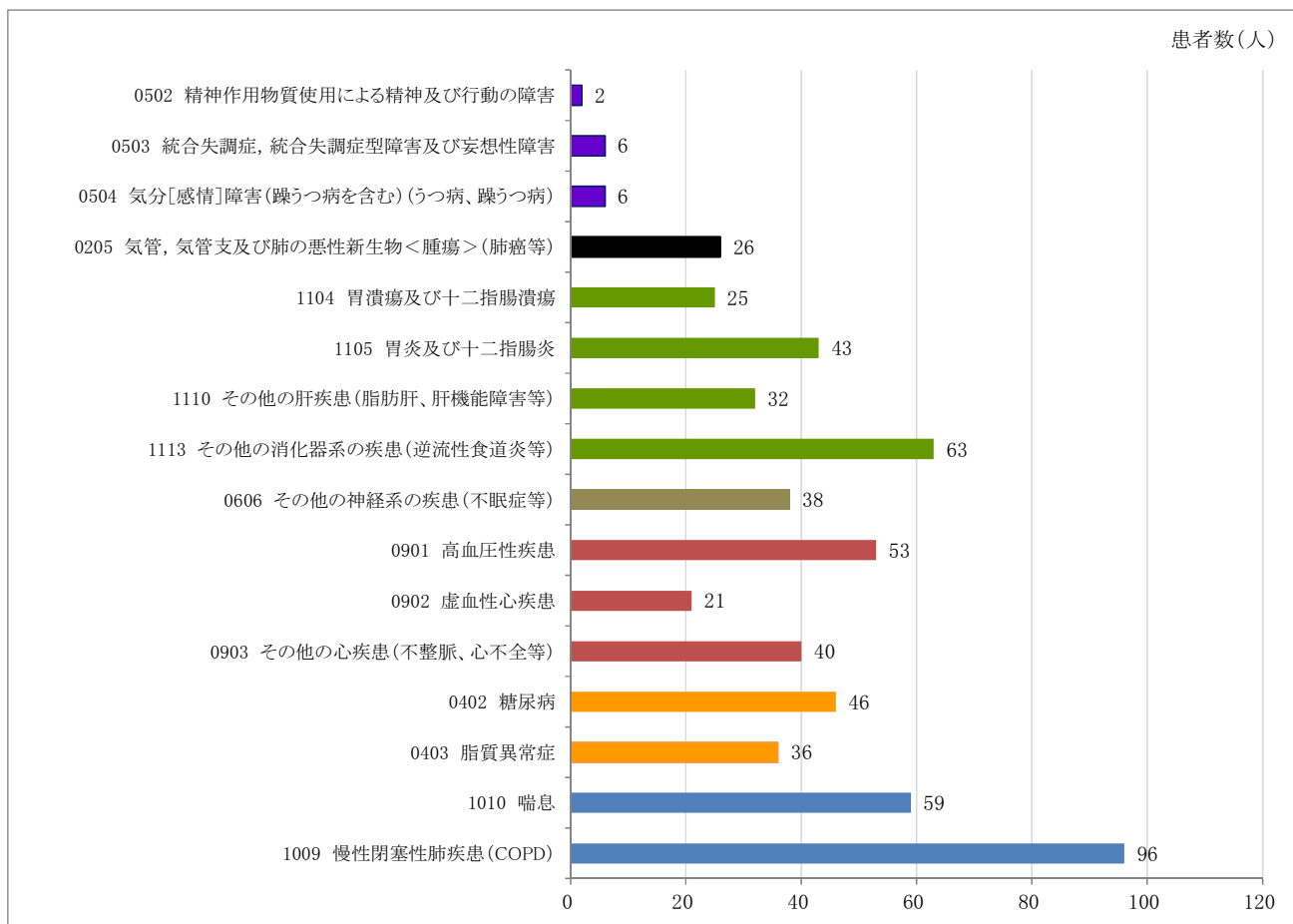
### COPD患者全体の医療費平均

	一人当たり医療費(円)
医療費合計	1,063,352
COPD関連	52,686
COPD関連以外	1,010,666

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

COPD患者96人が併存している疾患を以下の通りです。COPD患者は高血圧・心疾患等の循環器系疾患や、糖尿病及び脂質異常等の生活習慣病を併存しています。また、肺がんは96人のうち27.1%の26人が併存している。肺がん等の悪性新生物、うつ病・躁うつ病、統合失調症については、患者一人当たりの医療費が高額な疾病です。

### COPD患者の併存疾患



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
 対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
 資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。  
 薬物療法が発生している患者のみ分析対象とする。

COPDの併存疾患		COPDの合併疾患
●全身性炎症	●抑うつ	●肺がん
●栄養障害	●糖尿病	●喘息
●骨格筋機能障害	●睡眠障害	
●心・血管疾患(心筋梗塞・狭心症・脳血管障害)	●緑内障	
●骨粗鬆症	●貧血	

出典: 日本呼吸器学会COPDガイドライン第3版作成委員会  
 「COPD(慢性閉塞性肺疾患)診断と治療のためのガイドライン第3版」全身の併存疾患、合併疾患  
 日本呼吸器学会 平成20年6月 ISBN:978-4-7792-0431-9

## ②COPDの認知度及び医療機関の現状

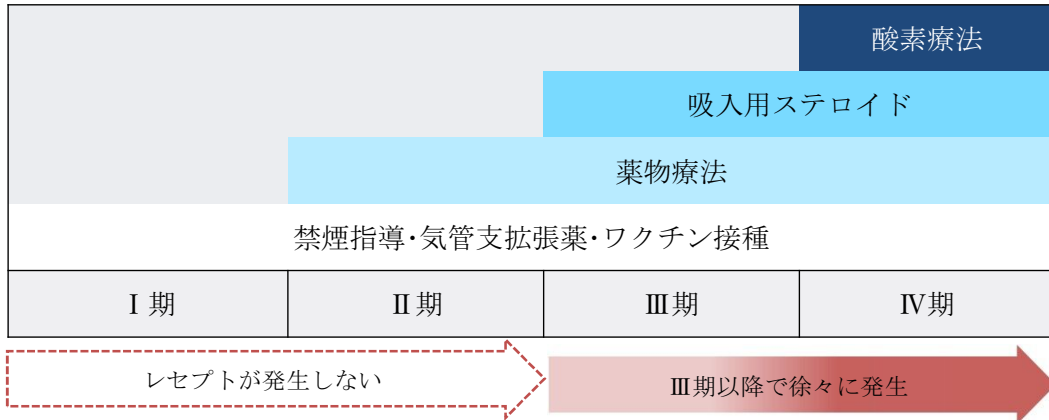
COPDの認知度は、「どんな病気かよく知っている」人が9.6%、「名前は聞いたことがある」人が15.9%で合計25.5%と低く、厚生労働省は健康日本21(第二次)において平成34年度までに認知度を80%に向上させる目標を明らかにしています。COPDの病期は軽度のⅠ期から重度のⅣ期までありますが、Ⅰ期・Ⅱ期の段階ではレセプトはほとんど発生せず、Ⅲ期・Ⅳ期からレセプトが発生することが多い。これは早期に医療機関にかからず、重症化してからようやく医療機関にかかっていることを示しています。

### COPDの認知度状況

設問：あなたはCOPDという病気を知っていますか？		
どんな病気かよく知っている	958	9.6%
名前は聞いたことがある	1,592	15.9%
知らない	7,450	74.5%

出典:GOLD(The Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease) 日本委員会調査  
[http://www.gold-jac.jp/copd\\_facts\\_in\\_japan/copd\\_degree\\_of\\_recognition.html](http://www.gold-jac.jp/copd_facts_in_japan/copd_degree_of_recognition.html) (アクセス日:平成30年1月26日)  
 1万人を対象とした調査。(平成29年12月調査)

### COPDの病期とレセプト発生状況



株式会社データホライゾン調べ

COPDの診断はスパイロメータ(呼吸機能を検査するための医療機器)による検査で行えます。しかし、スパイロメータが設置されている医療機関は、呼吸器内科等ある程度限られているのが現状です。平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)のレセプトにおいて、スパイロメータの診療行為が発生している医療機関は34施設存在します。

## (8) 受診行動適正化に係る分析

多受診(重複受診、頻回受診、重複服薬)は、不適切な受診行動も含まれているため、これらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要です。以下は、指導対象者数の分析結果を示したものです。

ひと月に同系の疾病を理由に複数の医療機関に受診している「重複受診者」や、ひと月に同一の医療機関に一定回数以上受診している「頻回受診者」、ひと月に同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、処方日数が一定以上の「重複服薬者」について平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)のレセプトデータを用いて分析しました。

### 重複受診者数

	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月
重複受診者数(人) ※	4	4	5	7	6	5	7	8	5	7	3	4
12カ月間の延べ人数(人)											65	
12カ月間の実人数(人)											44	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※重複受診者数…1カ月間に同系の疾病を理由に、3医療機関以上受診している人を対象とする。透析中、治療行為を行っていないレセプトは対象外とする。

### 頻回受診者数

	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月
頻回受診者数(人) ※	16	18	16	23	22	21	18	22	20	22	16	18
12カ月間の延べ人数(人)											232	
12カ月間の実人数(人)											68	

データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※頻回受診者数…1カ月間に12回以上受診している患者を対象とする。透析患者は対象外とする。

### 重複服薬者数

	平成29年3月	平成29年4月	平成29年5月	平成29年6月	平成29年7月	平成29年8月	平成29年9月	平成29年10月	平成29年11月	平成29年12月	平成30年1月	平成30年2月
重複服薬者数(人) ※	22	25	28	23	28	25	24	22	41	25	21	16
12カ月間の延べ人数(人)											300	
12カ月間の実人数(人)											170	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…平成30年2月28日時点。

※重複服薬者数…1カ月間に、同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者を対象とする。



分析結果より、12カ月間で重複受診者は44人、頻回受診者は68人、重複服薬者は170人存在しています。機械的に多受診患者を特定した場合、問題になるのは、その患者の多くに「必要な医療」の可能性がある患者も含まれることです。機械的に多受診患者を特定するのではなく、十分な分析の上、指導対象者を特定する必要があります。ここでは、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)のレセプトを対象に、「条件設定による指導対象者の特定」「除外設定」「優先順位」の3段階を経て分析しました。

はじめに、「条件設定による指導対象者の特定」を行います。重複受診・頻回受診・重複服薬を併せ持つ患者がいるため前述の分析結果より患者数は減少します。


### 条件設定による指導対象者の特定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

I. 条件設定による指導対象者の特定	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・重複受診患者 …1カ月間で同系の疾病を理由に3医療機関以上受診している患者</li> <li>・頻回受診患者 …1カ月間で同一医療機関に12回以上受診している患者</li> <li>・重複服薬者 …1カ月間で同系の医薬品が複数の医療機関で処方され、同系医薬品の日数合計が60日を超える患者</li> </ul>	
条件設定により候補者となった患者数	<b>267 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

次に、指導対象者として適切ではない可能性がある患者を「除外設定」により除外します。必要な医療の可能性がある患者、また指導が困難な可能性がある患者、事業の効果を測定できない患者についても除外します。

### 除外設定(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

II. 除外設定		
		除外理由別人数
除外	がん、難病、精神疾患、認知症 ※	<b>216 人</b>
		
除外患者を除き、候補者となった患者数		<b>51 人</b>

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。  
※疑い病名を含む。

次に、残る対象者51人のうち、指導することでより効果が高く、より効率の良い対象者を特定します。これらは費用対効果を重視し、「優先順位」を決めるためです。効果については、レセプト期間最終月から、6カ月間遡ったレセプトのうち5～6カ月重複受診・頻回受診・重複服薬に該当する患者を最優先します。効率については、指導のアポイントメントが取りやすい等の理由から60歳以上を最優先とし、次に、50歳～59歳を対象とします。以下の通り、効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fは1人となっています。

優先順位(重複受診者、頻回受診者、重複服薬者)

Ⅲ. 優先順位				
↑高 効果 低↓	最新6カ月レセプトのうち 5～6カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者A  0人	候補者C  0人	候補者 としない  50人
	最新6カ月レセプトのうち 3～4カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者	候補者B  1人	候補者D  0人	
	最新6カ月レセプトのうち 2カ月 重複・頻回・重複服薬に 該当する患者 (ただし直近2カ月レセに該当)	候補者E  0人	候補者F  0人	
	その他の 重複・頻回・重複服薬患者			
		60歳以上	50～59歳	50歳未満
←良 効率 悪→				
効果が高く効率の良い候補者A～候補者Fの患者数				1人

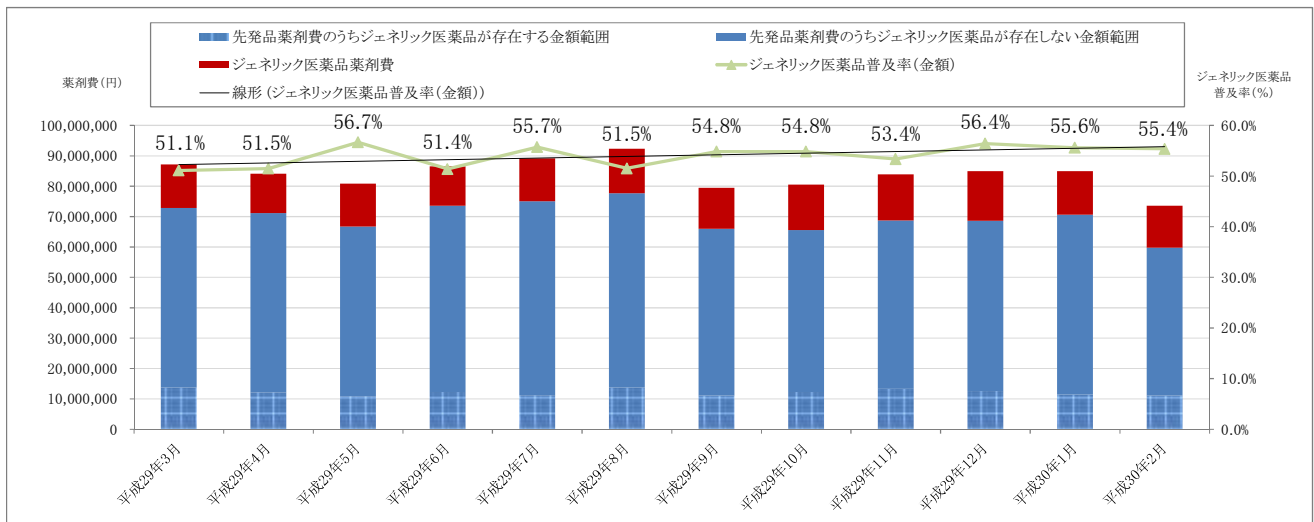
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。  
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。  
資格確認日…平成30年2月28日時点。

## (9) ジェネリック医薬品普及率に係る分析

先発医薬品からジェネリック医薬品への切り替えを患者に促し薬剤費の削減を図ります。ジェネリック医薬品への切り替えは複数の疾病に対して行うことができるため、多くの患者に対してアプローチできる利点があります。

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)のジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を示したものです。現在、ジェネリック医薬品普及率は54.0%(金額ベース)、79.2%(数量ベース)となっています。

### ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



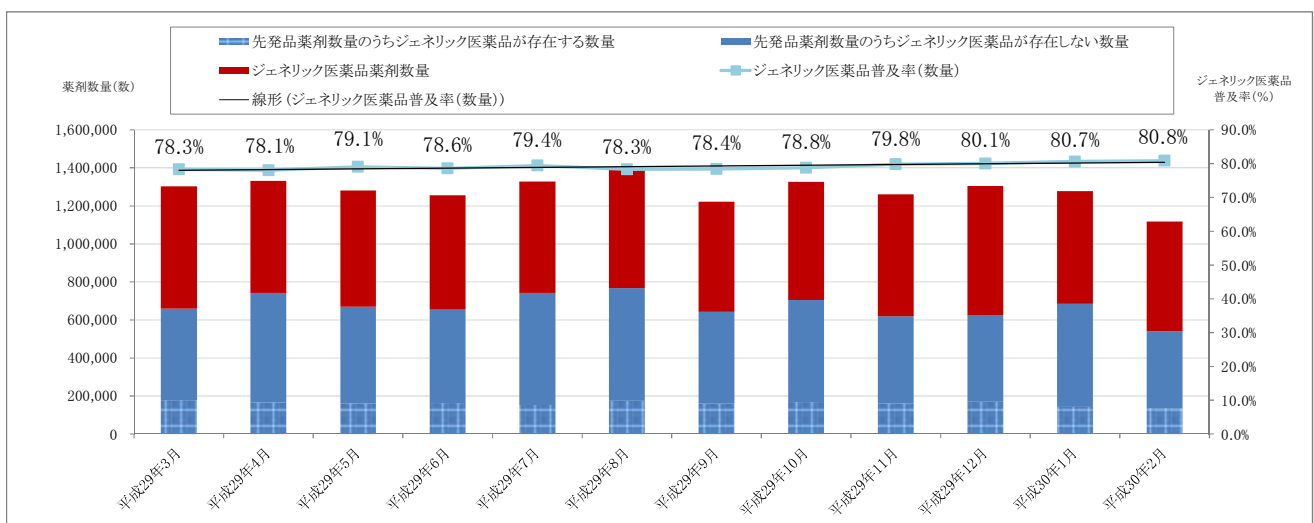
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

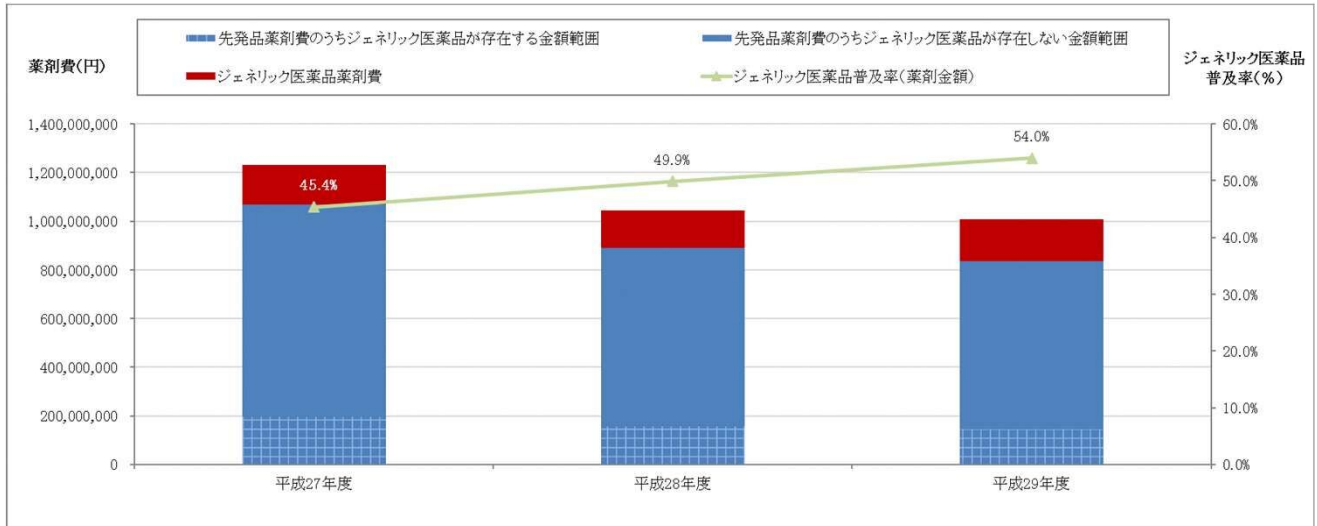
対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

以下は、平成27年度から平成29年度における、ジェネリック医薬品普及率(金額ベース・数量ベース)を年度別に示したものです。平成29年度ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)54.0%は、平成27年度45.4%より8.6ポイント上昇しており、平成29年度ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)79.2%は、平成27年度70.3%より8.9ポイント上昇しています。

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(金額ベース)



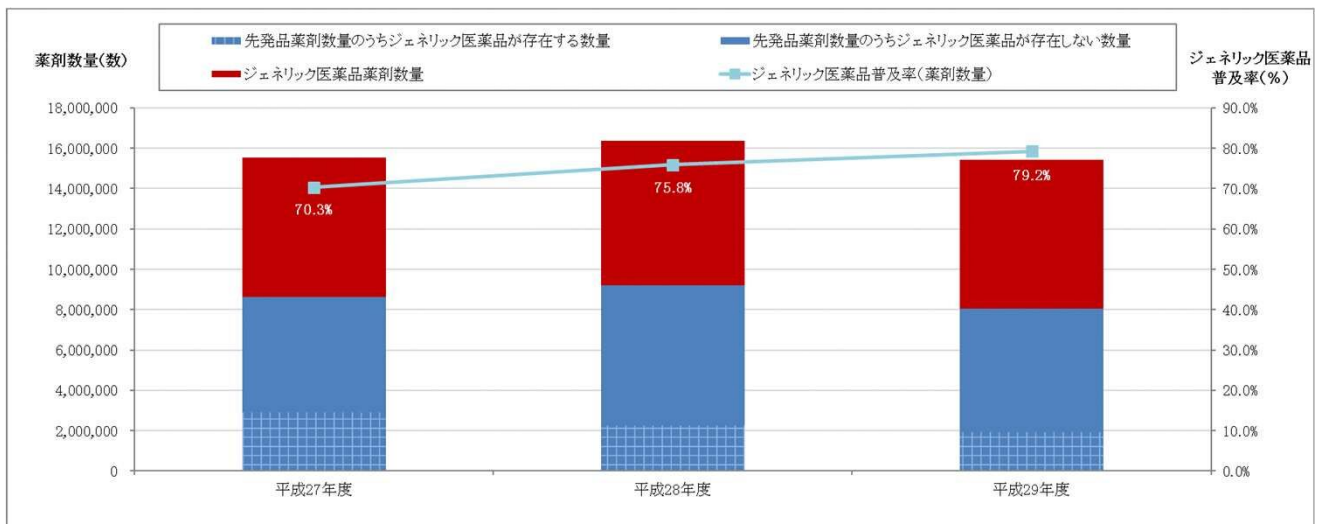
データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤費/(ジェネリック医薬品薬剤費+先発品薬剤費のうちジェネリック医薬品が存在する金額範囲)

### 年度別 ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)



データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

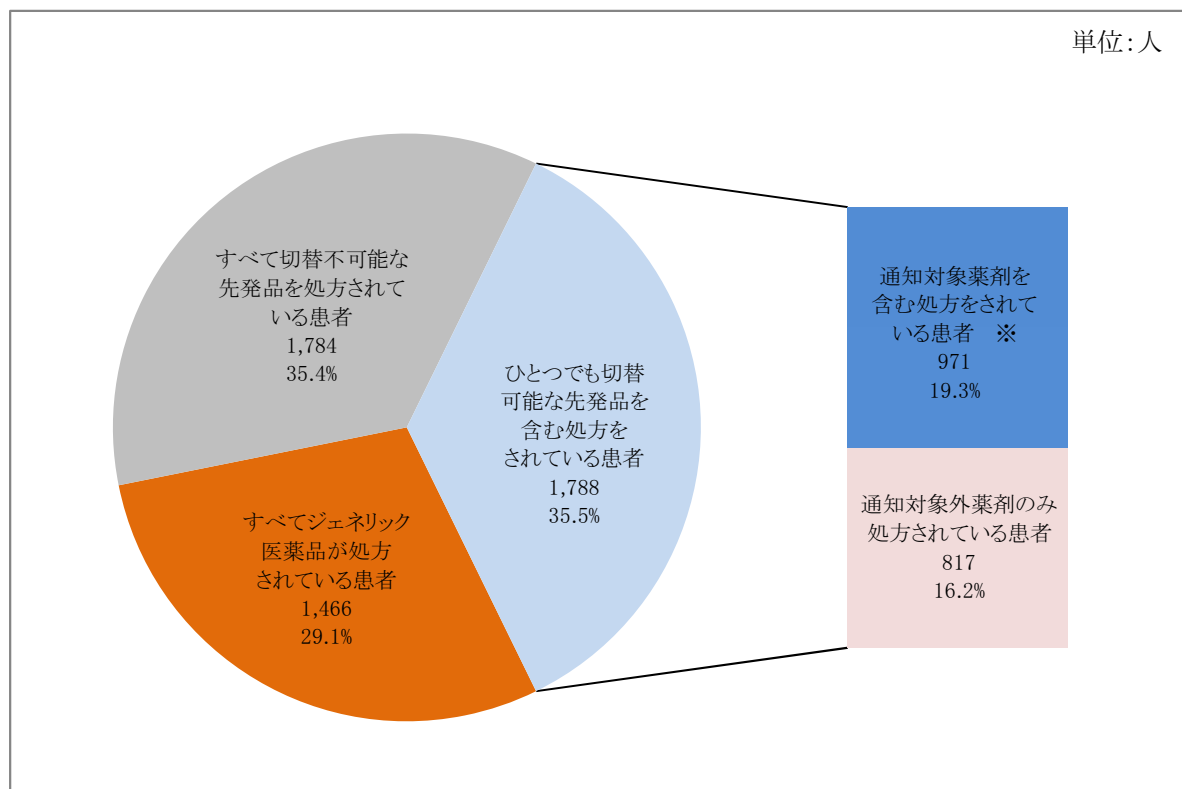
対象診療年月は平成27年3月～平成30年2月診療分(36カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※ジェネリック医薬品普及率…ジェネリック医薬品薬剤数量/(ジェネリック医薬品薬剤数量+先発品薬剤数量のうちジェネリック医薬品が存在する数量)

次に、平成30年2月診療分のレセプトで薬剤処方状況別の患者数を以下に示します。患者数は5,038人(入院レセプトのみの患者は除く)で、このうちひとつでもジェネリック医薬品に切り替え可能な先発品を含む処方をされている患者は1,788人で患者数全体の35.5%を占めています。さらにこのうちデータ分析会社基準の通知対象薬剤のみに絞り込むと、971人がジェネリック医薬品切り替え可能な薬剤を含む処方をされている患者となり、全体の19.3%となっています。

### 薬剤処方状況別患者数



データ化範囲(分析対象)…入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成30年2月診療分(1カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

※通知対象薬剤を含む処方をされている患者…データ分析会社通知対象薬剤基準による(ジェネリック医薬品が存在しても、入院、処置に使用した医薬品及び、がん・精神疾患・短期処方ものは含まない)。

※構成比…小数第2位で四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

## 5. 分析結果に基づく健康課題の把握

### (1) 分析結果

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)における分析結果を示したものです。

#### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	新生物<腫瘍>	696,813,397円	18.3%
2位	循環器系の疾患	580,914,559円	15.2%
3位	精神及び行動の障害	339,109,504円	8.9%

患者数が多い疾病		患者数
1位	消化器系の疾患	5,830人
2位	呼吸器系の疾患	5,279人
3位	内分泌, 栄養及び代謝疾患	5,258人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	新生物<腫瘍>	243,897円
2位	精神及び行動の障害	228,203円
3位	循環器系の疾患	124,606円

#### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病		医療費	構成比
1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041円	5.7%
2位	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948円	5.4%
3位	高血圧性疾患	169,042,239円	4.4%

患者数が多い疾病		患者数
1位	高血圧性疾患	3,496人
2位	脂質異常症	3,417人
3位	糖尿病	3,181人

患者一人当たりの医療費が高額な疾病		患者一人当たりの医療費
1位	白血病	815,489円
2位	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	696,243円
3位	くも膜下出血	631,842円

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

高額レセプト件数	1,415件
高額レセプト件数割合	0.9%
高額レセプト医療費割合	35.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)		患者一人当たりの医療費
1位	その他の理由による保健サービスの利用者	9,228,030円
2位	心臓の先天奇形	8,303,890円
3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,948,812円

【健診異常値放置者の状況】

健診異常値放置者	255人
----------	------

【生活習慣病治療中断者の状況】

生活習慣病治療中断者	54人
------------	-----

【人工透析患者の状況】

人工透析患者	38人
(Ⅱ型糖尿病起因患者)	25人

【COPD患者の治療状況と潜在患者数】

潜在患者数	1,920人
投薬治療が発生していない患者	252人
投薬治療患者	96人

※推定潜在患者…投薬治療患者の数に対し、日本の潜在患者数を参考に推定した患者数。

※投薬治療が発生していない患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があるが投薬は確認できない患者数。

※投薬治療患者…データ化範囲内において傷病名に慢性閉塞性肺疾患があり、投薬も確認できる患者数。

投薬治療が発生していない患者及び投薬治療患者…平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)期間中の実人数

**【医療機関受診状況】**

重複受診者	44人
頻回受診者	68人
重複服薬者	170人

※平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)期間中の実人数

**【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】**

ジェネリック医薬品普及率	79.2%
--------------	-------



以下は、平成27年度から平成29年度における疾病分類別の順位、高額レセプトの件数と割合等を年度別に示したものです。

### 【疾病大分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成27年度	1位	新生物<腫瘍>	659,144,452円	15.3%
	2位	循環器系の疾患	655,303,181円	15.2%
	3位	精神及び行動の障害	392,264,979円	9.1%
平成28年度	1位	新生物<腫瘍>	681,753,770円	17.0%
	2位	循環器系の疾患	667,467,128円	16.6%
	3位	精神及び行動の障害	351,542,185円	8.8%
平成29年度	1位	新生物<腫瘍>	696,813,397円	18.3%
	2位	循環器系の疾患	580,914,559円	15.2%
	3位	精神及び行動の障害	339,109,504円	8.9%

### 【疾病中分類別】

医療費が高い疾病			医療費	構成比
平成27年度	1位	ウイルス性肝炎	271,234,216円	6.3%
	2位	その他の悪性新生物<腫瘍>	237,201,321円	5.5%
	3位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	227,672,462円	5.3%
平成28年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	212,284,965円	5.3%
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	210,833,311円	5.3%
	3位	その他の心疾患	192,279,312円	4.8%
平成29年度	1位	その他の悪性新生物<腫瘍>	216,537,041円	5.7%
	2位	統合失調症，統合失調症型障害及び妄想性障害	205,356,948円	5.4%
	3位	高血圧性疾患	169,042,239円	4.4%

【高額(5万点以上)レセプトの件数と割合】

平成 27 年度	高額レセプト件数	1,604件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	37.3%
平成 28 年度	高額レセプト件数	1,482件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	37.4%
平成 29 年度	高額レセプト件数	1,415件
	高額レセプト件数割合	0.9%
	高額レセプト医療費割合	35.1%

高額レセプト発生患者の疾病傾向 患者一人当たりの医療費順(中分類)			患者一人当たりの医療費
平成 27 年度	1位	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	7,142,667円
	2位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	6,786,250円
	3位	ウイルス性肝炎	5,678,078円
平成 28 年度	1位	白血病	7,638,397円
	2位	慢性閉塞性肺疾患	7,030,485円
	3位	てんかん	6,419,735円
平成 29 年度	1位	その他の理由による保健サービスの利用者	9,228,030円
	2位	心臓の先天奇形	8,303,890円
	3位	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,948,812円

【ジェネリック医薬品普及率 数量ベース】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
ジェネリック医薬品 普及率	70.3%	75.8%	79.2%

## (2) 分析結果に基づく課題とその対策

### 分析結果からみた課題と対策

課題と対策	対策となる事業
<p>◆特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率            疾病大分類や疾病中分類において生活習慣病患者が多数存在し、医療費も多額です。特定健康診査の受診率向上を図り、必要な人に特定保健指導を行うことにより生活習慣病を予防する必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査の受診勧奨</li> <li>・特定保健指導の未利用者対策</li> </ul>
<p>◆健診異常値放置者・生活習慣病治療中断者            健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。医療機関への受診勧奨を行うことで適切な医療につなぎ重症化を予防する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健診異常値放置者受診勧奨</li> <li>・生活習慣病治療中断者受診勧奨</li> </ul>
<p>◆糖尿病性腎症            人工透析患者のうちⅡ型糖尿病起因の患者が存在します。糖尿病は進行すると腎症に至り透析が必要となる。そこで早期に保健指導を行い生活習慣を改善することで、腎症の悪化を遅延させることができると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・糖尿病性腎症重症化予防</li> </ul>
<p>◆COPD(慢性閉塞性肺疾患)            投薬治療中の患者及び投薬治療が発生していない患者が存在し、多数の潜在患者が存在すると推測されます。COPDの早期発見のためには啓発事業を行うことが求められる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COPDの啓発事業</li> </ul>
<p>◆重複・頻回受診者、重複服薬者            重複受診者、頻回受診者、重複服薬者が多数存在し、それらの患者を正しい受診行動に導く指導が必要となる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受診行動適正化指導</li> </ul>
<p>◆ジェネリック医薬品の普及率            国が定める現在の目標(80%以上)と比較して低いため、切り替え勧奨を行う必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェネリック医薬品差額通知</li> </ul>

## 第3章 保健事業実施計画

### 1. 各事業の目的と概要一覧

以下は、第1期データヘルス計画にて、実施する事業一覧を示したものです。

優先順位	事業名	事業目的	事業概要
高※	特定健康診査未受診者対策事業	特定健康診査の受診率向上	特定健康診査を受けていない人を対象者とし特定健康診査の受診を促す。
高※	特定保健指導未利用者対策事業	特定保健指導の実施率向上	特定保健指導の該当者及び未利用者に対して、保健師等が特定保健指導の利用を促し、特定保健指導の実施率を向上させる。
高	生活習慣病重症化予防訪問指導事業	健診異常値を放置している対象者の医療機関受診	特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受療勧奨及び生活習慣改善のためにアプローチを行い、保健師等が訪問指導等を行うことで医療機関受診を促す。
高	生活習慣病治療中断者訪問指導事業	生活習慣病治療中断者の減少	かつて生活習慣病で定期受診をしていたものの、その後定期受診を中断した対象者を特定し、治療再開のためにアプローチを行い、訪問指導等を行うことで医療機関受診再開を促す。
高	糖尿病性腎症重症化予防事業	糖尿病性腎症患者の病期進行阻止	特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職が対象者に面談、電話等による指導を行う。
高	COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見に向けた啓発事業	COPDの認知度向上	COPDの認知度が向上するように広く被保険者へ周知を図る。
中	重複・頻回受診者訪問指導事業	重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少	レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。
中	ジェネリック医薬品差額通知事業	ジェネリック医薬品の普及率向上	レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定します。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

※は優先順位が「高」の事業のうち、重点事業を示す。

実施内容	目標値	
	アウトプット	アウトカム
平成30年度～平成35年度		
対象者を特定し、受診勧奨通知書を作成し、郵送します。通知後に対象者が特定健康診査を受診したかどうかを確認する。	受診勧奨者への通知率 100%	受診勧奨者の特定健康診査受診率 5.0% 特定健康診査受診率 50.0% H30年度…25.0% H31年度…30.0% H32年度…35.0% H33年度…40.0% H34年度…45.0% H35年度…50.0%
特定健康診査の結果から特定保健指導対象者を特定し、保健師等が特定保健指導の利用を促し、特定保健指導の実施率を向上させる。 特定保健指導の未利用者に対して、保健師等が本人データの入った資料や今後の生活習慣病発生の可能性等、生活習慣の改善に取り組む必要性について直接説明するとともに利用勧奨を行う。	訪問対象者へのアプローチ実施率 100%	訪問対象者の特定保健指導実施率 50.0%  特定保健指導実施率 50.0% H30年度…20.0% H31年度…26.0% H32年度…32.0% H33年度…38.0% H34年度…44.0% H35年度…50.0%
特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受療勧奨及び生活習慣改善のためにアプローチを行い、保健師等が訪問指導等を行う。	訪問等による指導の実施率 80.0%	訪問指導等を受けた者の医療機関受診率 50.0%  健診異常値放置者の減少
生活習慣病治療中断者に医療機関受診勧奨通知書を作成し、郵送する。 通知後に医療機関受診があるか確認し、受診がない対象者には訪問指導等を行う。	訪問等による指導の実施率 80.0%	訪問指導等を受けた者の医療機関受診率 40.0%  生活習慣病治療中断者の減少
指導対象者に対して適切な保健指導を行う。 指導後に健康診査データ、レセプトデータより検査値の推移、定期的な通院の有無等を確認する。	対象者の指導完了率 90.0% 以上	指導完了者の生活習慣改善率 70.0% 指導完了者の検査値改善率 30.0%  新規人工透析患者割合 30.0%
保健指導、講演会や各種講座等を活用した啓発チラシの配布、市報の活用等により、広く被保険者へ周知を図る。	認知度 80.0% 以上	COPD患者数の減少 (H30年度倉吉市国民健康保険ポテンシャル分析COPD患者数 348人)
被保険者のレセプトデータ等をもとに、指導対象となる者の抽出及び受診状況の把握を行い、保健師の訪問等により、重複・頻回受診が及ぼす弊害の啓発（重複検査、重複服薬等）や食事・運動等生活改善の指導を行う。	訪問等による指導の実施率 50.0% 以上	受診行動適正化者数 1名以上 (指導完了者のうち医療費が減少した者の人数)
ジェネリック医薬品差額通知書を作成し、郵送する。 対象者特定方法や効果検証方法、実施後の効果を考慮し、継続を検討する。	対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80.0%以上

## 2. 全体スケジュール

以下は、各事業におけるスケジュールについて示したものです。

事業名	計画策定前			第1期					
	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	平成 32年度	平成 33年度	平成 34年度	平成 35年度
特定健康診査未受診者 対策事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
特定保健指導未利用者 対策事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病重症化予防 訪問指導事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
生活習慣病治療中断者 訪問指導事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
糖尿病性腎症 重症化予防事業				P	D	CA	P	D	CA
COPD（慢性閉塞性肺疾患） の早期発見に向けた 啓発事業				P	D	CA	P	D	CA
重複・頻回受診者 訪問指導事業 （重複・頻回受診、重複服薬）		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA
ジェネリック医薬品 差額通知事業		実施	評価	P	D	CA	P	D	CA

### 3. 各事業の実施内容と評価方法

---

本計画(第1期データヘルス計画)における実施事業及び評価方法は以下のとおりです。

#### (1) 特定健康診査未受診者対策事業

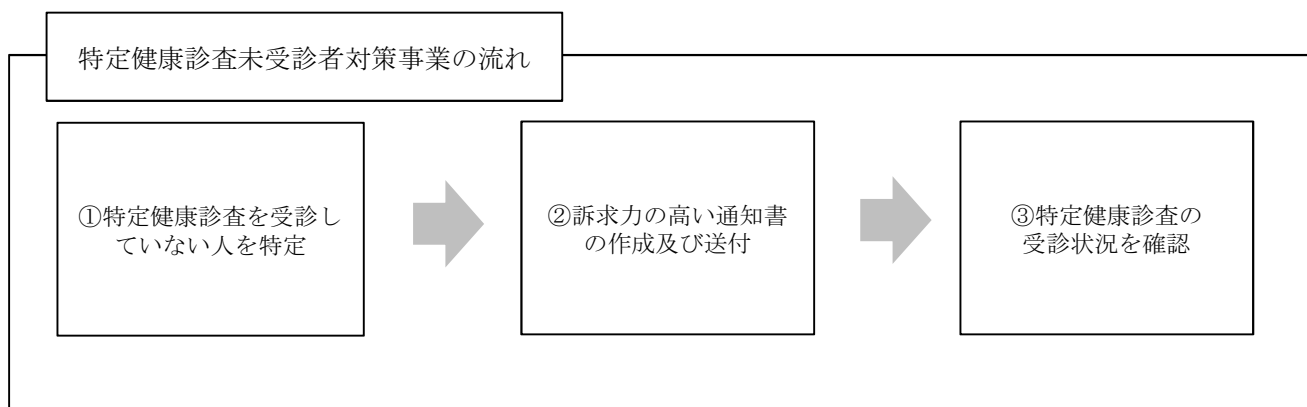
##### 【事業目的】

特定健康診査の受診率向上

##### 【事業概要】

特定健康診査を受診していない人を対象者とし特定健康診査の受診を促す。

##### 【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカム※を以下のとおり設定します。

<p>※ ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ストラクチャー（計画立案体制・実施構成・評価体制） 事業の運営状況を管理できる体制の整備、関係者との連携、資源の確保・活用等</li> <li>・プロセス（保健事業の実施過程） 実態やニーズの把握、目標設定、実施過程、評価等</li> <li>・アウトプット（保健事業の実施状況・実施量） 実施結果、実施量等</li> <li>・アウトカム（成果） 設定した目標の達成状況、指標の変化、対象者の変化、関係者の変化等</li> </ul>
---

ストラクチャー	プロセス
<p>保険年金課と特定健診の実施を行う保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等についての情報共有を行う。</p>	<p>健診受診率、健診結果、レセプトデータ等を分析し、受診勧奨者を選定し、効果効率的な勧奨を行う。 (評価方法：勧奨件数、勧奨回数)</p>

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
受診勧奨者への通知率 100%	短期	<p>受診勧奨者の特定健康診査受診率 5.0%</p> <p>受診勧奨者のうち特定健康診査を受診した人数により確認する。</p>
	中長期	<p>特定健康診査受診率 50.0%</p> <p>H30年度…25.0% H31年度…30.0% H32年度…35.0% H33年度…40.0% H34年度…45.0% H35年度…50.0%</p> <p>特定健康診査・特定保健指導実施状況報告の基準で特定健康診査受診率を確認する。</p>



【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→		
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←→		
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←→		
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←→		
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←→		
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→											
		対策実施				←→									
	C(効果測定)	効果測定				←→									
		効果確認											←→		
	A(改善)	改善計画											←→		
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←→		



## (2) 特定保健指導未利用者対策事業

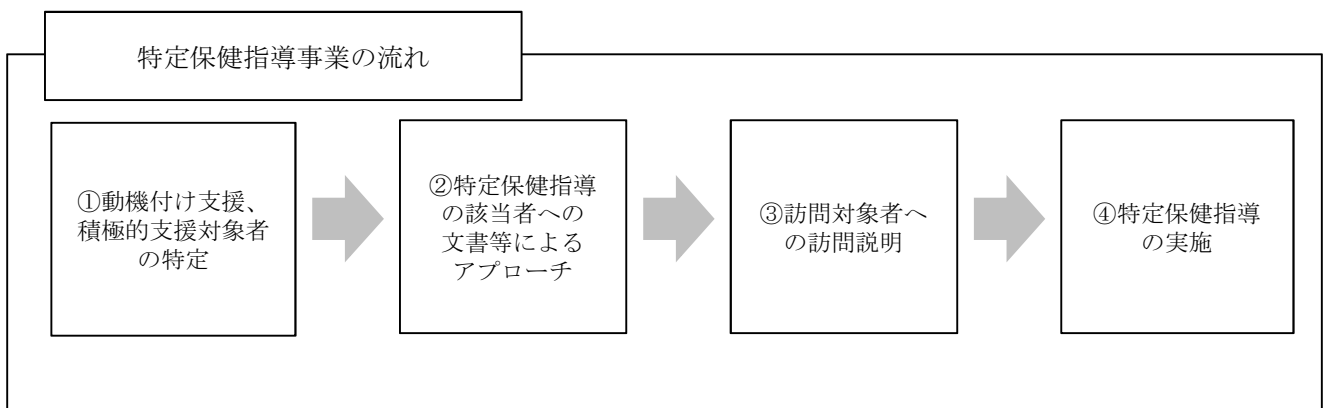
### 【事業目的】

特定保健指導の実施率向上

### 【事業概要】

特定保健指導の該当者及び未利用者に対して、保健師等が特定保健指導の利用を促し、特定保健指導の実施率を向上させる。

### 【事業内容】



### 【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と特定保健指導を実施する保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等について情報共有を行う。	訪問対象者を漏れなく抽出し、確実にアプローチへとつなげる。 (評価方法：訪問対象者数)

アウトプット	アウトカム	
	目標	評価方法
訪問対象者へのアプローチ実施率 100%	短期 訪問対象者の特定保健指導実施率 50.0%	訪問対象者のうち特定保健指導を利用した人数により確認する。
	中長期 特定保健指導実施率 50.0% H30年度…20.0% H31年度…26.0% H32年度…32.0% H33年度…38.0% H34年度…44.0% H35年度…50.0%	特定健康診査・特定保健指導実施状況報告の基準で特定保健指導対象者割合の推移を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備													
		事業実施													
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
	P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													



### (3) 生活習慣病重症化予防訪問指導事業

#### 【事業目的】

健診異常値を放置している対象者の医療機関受診

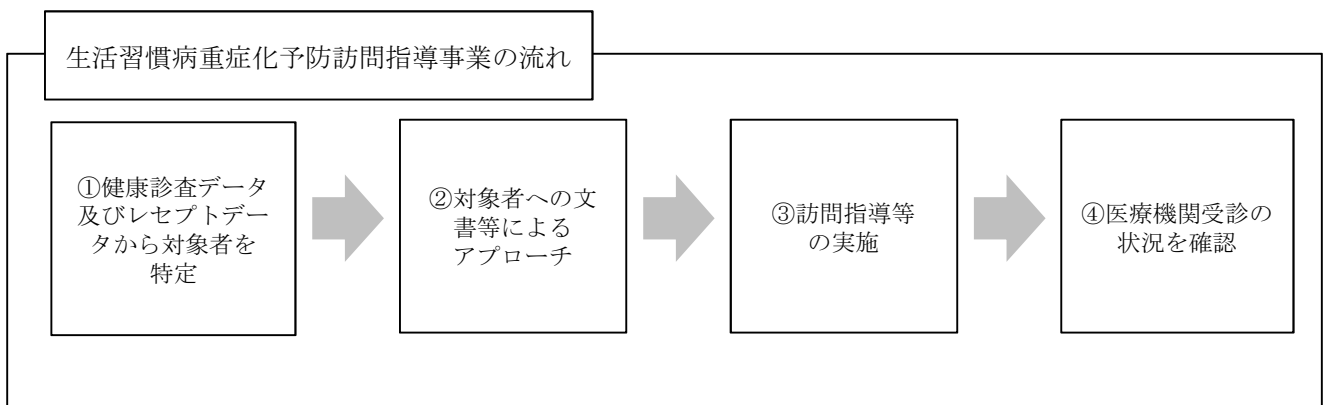
#### 【実施概要】

特定健康診査の受診後、その結果に異常値があるにも関わらず医療機関受診が確認できない対象者を特定し、受療勧奨及び生活習慣改善のためにアプローチを行い、保健師等が訪問指導等を行うことで医療機関受診を促す。

※対象者の基準は次のとおり

- ・ 特定健診結果で血圧の値が収縮期血圧160以上、あるいは拡張期血圧100以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が放置されていると確認された者
- ・ 特定健診結果でHbA1cの値が6.0以上で健診実施後で診療報酬明細書により医療機関受診が放置されていると確認された者

#### 【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下のとおり設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と訪問等指導を行う保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等について情報共有を行う。	通知、電話、訪問等によるアプローチの実施率 100%

アウトプット	アウトカム		
	目標値	評価方法	
訪問等による指導の実施率 80%	短期	訪問指導等を受けた者の医療機関受診率 50.0%	指導後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	健診異常値放置者の減少	健診異常値放置者数の推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成31年度)													↔	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成32年度)													↔	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成33年度)													↔	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成34年度)													↔	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成35年度)													↔	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成36年度)													↔	



#### (4) 生活習慣病治療中断者訪問指導事業

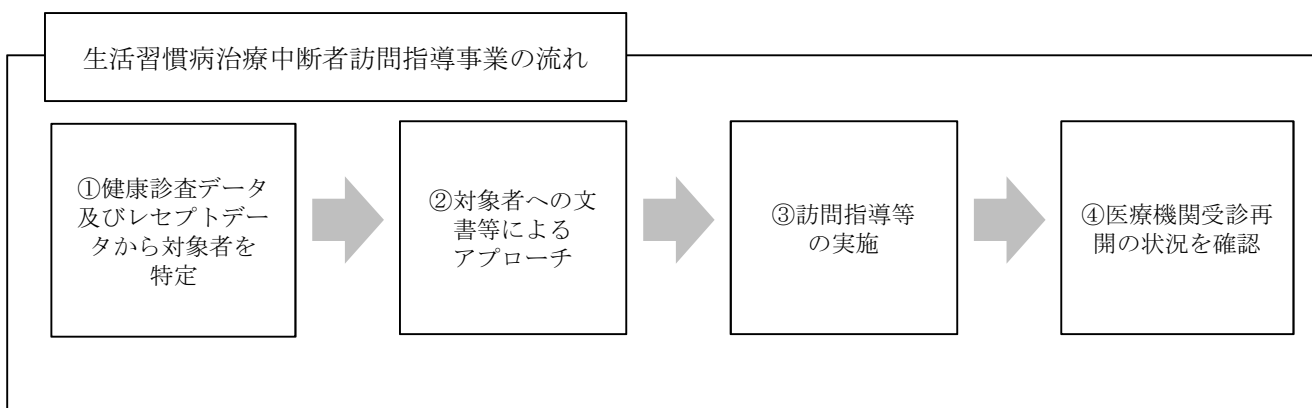
##### 【事業目的】

生活習慣病治療中断者の減少

##### 【実施概要】

かつて生活習慣病で定期受診をしていたものの、その後定期受診を中断した対象者を特定し、治療再開のためにアプローチを行い、訪問指導等を行うことで医療機関受診再開を促す。

##### 【実施内容】



#### 通知書デザイン (例)

The notification letter is designed to be clear and informative. It features a green header with the title "あなたの健康に関する大切なお知らせです。" (Important information about your health). The main body is divided into sections: a top section with a green background and white text asking if treatment has been interrupted; a middle section with a white background and green text explaining the importance of continuing treatment and providing instructions; and a bottom section with a white background and green text listing symptoms and encouraging the use of specific health checkups. The letter also includes a postage stamp area and a return address.

【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と訪問等指導を行う保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等について情報共有を行う。	通知、電話、訪問等によるアプローチの実施率 100%

アウトプット	アウトカム		
	目標値		評価方法
訪問等による指導の実施率 80%	短期	訪問指導等を受けた者の医療機関受診率 40.0%	指導後医療機関を受診したか確認する。
	中長期	生活習慣病治療中断者の減少	生活習慣病治療中断者数の推移により確認する。



【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成31年度)														
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成32年度)														
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成33年度)														
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成34年度)														
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成35年度)														
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備			←										
		指導実施			←										
	C(効果測定)	効果測定													
		効果確認													
	A(改善)	改善計画													
P(計画)	実施計画策定(平成36年度)														



## (5) 糖尿病性腎症重症化予防事業

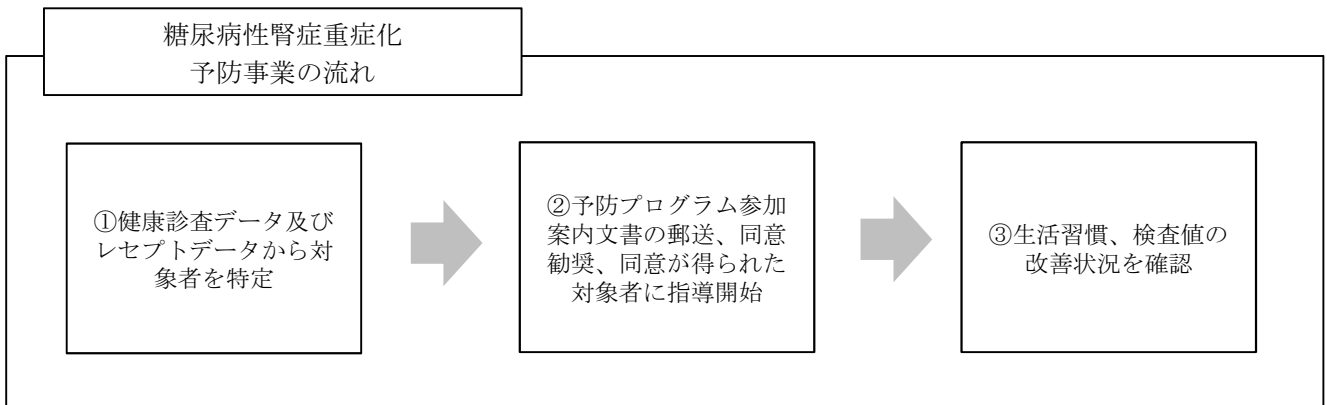
### 【事業目的】

糖尿病性腎症患者の病期進行阻止

### 【実施概要】

特定健康診査の検査値とレセプトデータから対象者を特定し、正しい生活習慣を身に付けることができるように専門職が対象者に面談、電話等による指導を行う。

### 【実施内容】



### 【目標】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
糖尿病性腎症重症化予防に取り組む意思を持つ参加者を10人確保する。	面談、電話等による保健指導を12回実施する。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
指導の完了率 90% 以上	短期 指導完了者の生活習慣改善率 70.0% 指導完了者の検査値改善率 30.0%	指導後の結果から生活習慣や検査値の改善状況を確認する。
	中長期 新規人工透析患者割合 30.0%	レセプトデータより新規人工透析患者数の推移を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←→	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←→	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←→	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←→	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←→	



(6) COPD（慢性閉塞性肺疾患）の早期発見に向けた啓発事業

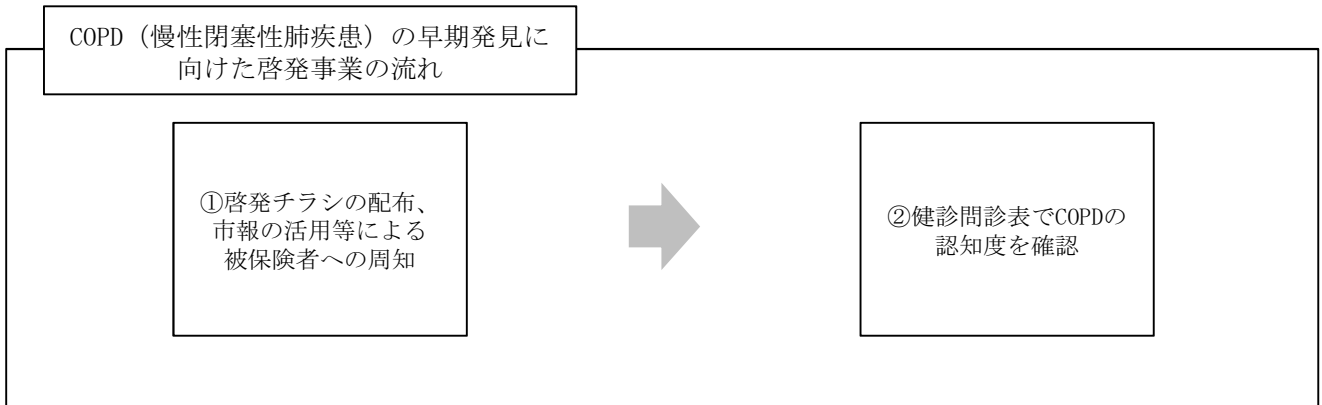
【事業目的】

COPDの認知度向上

【事業概要】

COPDの認知度が向上するように広く被保険者へ周知を図る。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と保健センターとの協議会を年2回以上開催し、啓発チラシの配布方法、市報掲載等について協議し、進捗状況等について情報共有を行う。	啓発チラシの配布、市報の活用等により、広く被保険者へ周知を図る。 (評価方法：配付、広報の回数)

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
COPD認知度 80.0% (健診の問診により集計を行う)	COPD患者数の減少 (H30年度倉吉市国民健康保険ポテンシャル分析COPD患者数 348人)	レセプトデータよりCOPD患者数の推移を確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)													
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)													
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)													
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)													
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)													
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備												
		指導実施												
	C(効果測定)	効果測定												
		効果確認												
	A(改善)	改善計画												
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)													



(7) 重複・頻回受診者訪問指導事業(重複・頻回受診、重複服薬)

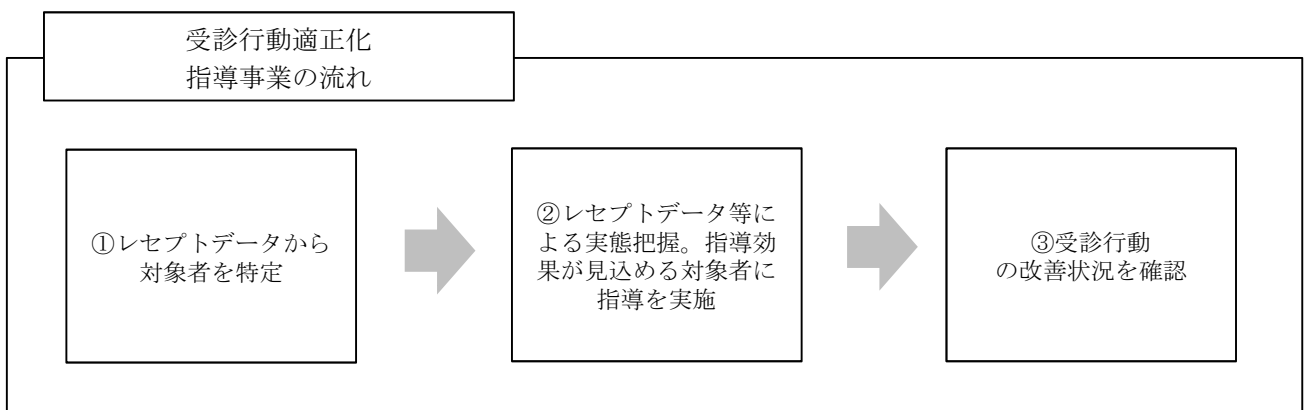
【事業目的】

重複・頻回受診者数、重複服薬者数の減少

【実施概要】

レセプトデータから、医療機関への不適切な受診が確認できる対象者、また重複して服薬している対象者を特定し、適正な医療機関へのかかり方について、専門職による指導を行う。

【実施内容】



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と訪問等指導を行う保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等の情報共有を行う。	レセプトデータ等による実態把握の実施率80%以上。

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
指導による改善効果が見込める者に対する指導の実施率 50.0% 以上	受診行動適正化者数 1名以上 (指導完了者のうち医療費が減少した者の人数)	レセプトデータより指導完了者のうち医療費が減少した者の人数を確認する。

## 【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成31年度)												←→	
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成32年度)												←→	
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成33年度)												←→	
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成34年度)												←→	
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成35年度)												←→	
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備		←→										
		指導実施					←→							
	C(効果測定)	効果測定					←→							
		効果確認											←→	
	A(改善)	改善計画											←→	
P(計画)	実施計画策定 (平成36年度)												←→	

	平成30年度事業		平成31年度事業		平成32年度事業
	平成33年度事業		平成34年度事業		平成35年度事業

# (8) ジェネリック医薬品差額通知事業

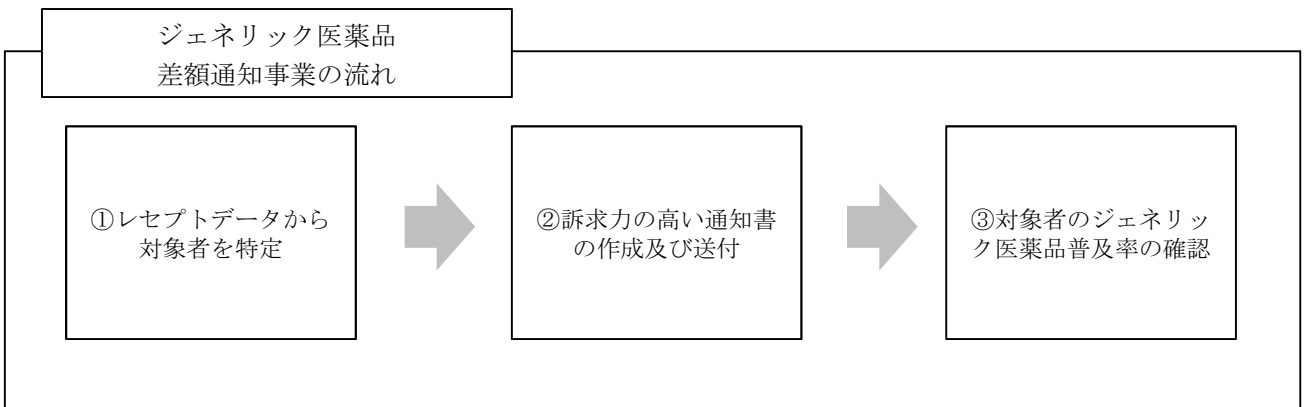
## 【事業目的】

ジェネリック医薬品の普及率向上

## 【実施概要】

レセプトデータから、ジェネリック医薬品の使用率が低く、ジェネリック医薬品への切り替えによる薬剤費軽減額が一定以上の対象者を特定します。通知書を対象者に送付することで、ジェネリック医薬品への切り替えを促す。

## 【実施内容】



## 通知書デザイン

1234567 00000001

〇〇県〇〇市〇〇区〇〇-〇〇-〇〇

様

〒000001234

123456789

000000001

**ジェネリック医薬品使用促進のお知らせ**

医療は、医療者に理解・ご協力いただきまして順に進んでまいります。さて、近年の薬価の高騰化に伴い、患者に占める医療費の割合は年々大きくなってきております。そこで、医療の進歩に伴って医療費の負担軽減を図る観点の一つとして、促進策の一環として、医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合に差代がどれくらい削減できるのか、その一割をお知らせしております。患者様へお知らせいたします。

なお、ジェネリック医薬品への切り替えは、医師・薬剤師と十分にご相談いただき、ご本人が納得された上で行っていただきますようお願いいたします。

**ジェネリック医薬品は、患者さんのお薬代負担を軽くするお薬です。**

**新薬** 開発期間 開発コスト 開発期間が長く、開発コストが大層に掛かるため、お薬代が高くなります。

**ジェネリック** 開発期間 開発コスト 開発期間が短く、開発コストが低いため、お薬代が安くなります。

**ジェネリック医薬品は、安心のお薬です。** ジェネリック医薬品は薬事法に基づき、新薬と同等の厳格な審査が受けられることにより、品質・有効成分・効果効力が同じものとして開発・発売されています。

**ジェネリック医薬品については、医師・薬剤師にご相談ください。** ジェネリック医薬品は、処方せんに記載のジェネリック医薬品に変更不可の記入がなければ、ジェネリック医薬品に変更できます。

**お問い合せ先**

【ジェネリック医薬品通知サポートデスク（ヘルプデスク）】  
受付時間 10:00～17:00  
土・日・祝日を除く

医師・薬剤師に相談してみよう！

**お薬代負担軽減のご案内**

平成25年 2月処方分を、現在よく流通しているジェネリック医薬品に切り替えた場合、お薬代の負担が (2月時点での負担割合です)

**1,700円～** 軽減されます。  
(100円未満は切り捨てています。)

処方されたジェネリック医薬品名	お薬の単位	数量	単価	お薬代(円)(3割負担)	軽減できる金額(円)
サリドピリン錠500mg	23.1	5040	錠 3490	890	890
ザンタクタール錠150mg	48.6	8640	錠 690	590	590
ムコスタ錠1.00mg	17.4	1680	錠 870	310	310
小計				5,040	1,730

合計 5,040 1,730～

※1 商品名とは  
処方されたお薬(先発医薬品)の名称です。医師報酬・薬局ごとに記載しています。

※2 お薬代とは  
1か月にかけたお薬代です。(お薬代のみ)記載で、実際にお支払いになった金額と異なる場合があります。

※3 軽減できる金額とは  
今ご使用されているお薬をジェネリック医薬品に切り替える事によって軽減できる金額の目安です。

**ご注意ください**

- 本通知は、医師報酬・薬局の過去の請求データに基づいて作成されています。本通知に記載されない場合は、軽減額が大きい医薬品から順に記載しています。
- 処方内容から医薬品名を照合している場合、薬剤師の判断と異なる場合があります。
- ジェネリック医薬品1つにつき先発医薬品に対して複数存在する場合があります。実際の軽減額にはなります。
- 上記に記載する医薬品には、がんその他の特殊病態に使用されるお薬、剤形が異なるお薬については除外されています。
- 先発医薬品とジェネリック医薬品は主成分は同一ですが、個人によって常き目副作用など異なる場合があります。詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。
- 本通知書をお薬をご使用されているすべての処方者の方に送付しているわけではありません。



【目標値及び評価方法】

ストラクチャー・プロセス・アウトプット・アウトカムを以下の通り設定します。

ストラクチャー	プロセス
保険年金課と保健センター等との協議会を年2回以上開催し、意見集約・進捗管理等の情報共有を行う。	効果的な対象者を特定し、訴求力の高い通知を送付する。(評価方法：送付回数)

アウトプット	アウトカム	
	目標値	評価方法
対象者への通知率 100%	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース) 80.0% 以上	ジェネリック医薬品普及率(数量ベース)推移により確認する。

【実施スケジュール】

平成30年度～平成35年度に実施することとします。

実施年度	PDCA	実施項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
平成30年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成31年度)													←→
平成31年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成32年度)													←→
平成32年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成33年度)													←→
平成33年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成34年度)													←→
平成34年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成35年度)													←→
平成35年度	D(実行)	対象者特定、準備	←→												
		事業実施	←→												
	C(効果測定)	効果測定	←→												
		効果確認													←→
	A(改善)	改善計画													←→
	P(計画)	実施計画策定(平成36年度)													←→



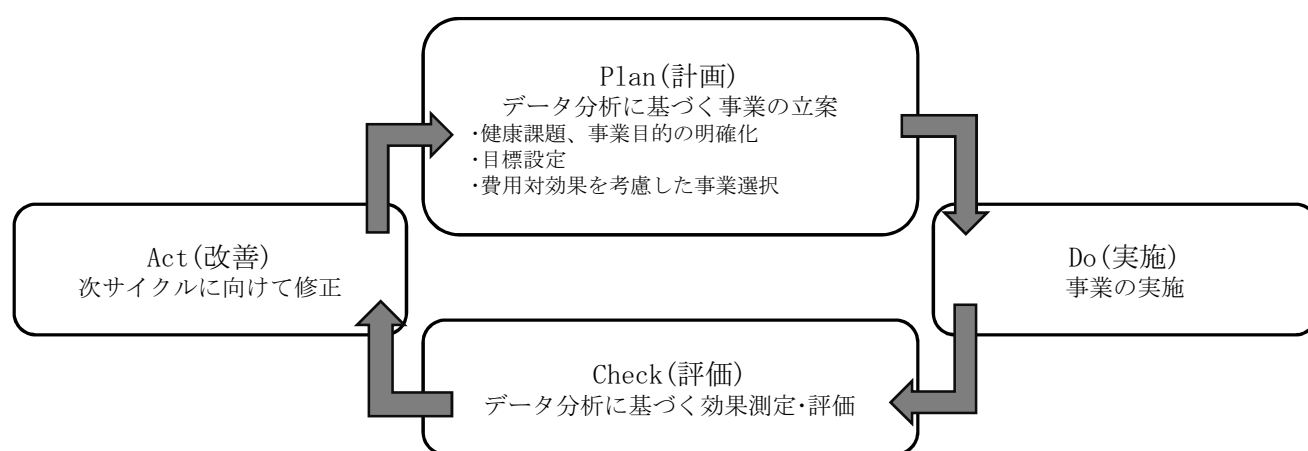
## 第4章 その他

### 1. データヘルス計画の見直し

#### (1) 評価

本計画の目的及び目標の達成状況については、毎年度評価を行うこととします。また、中間期間等計画期間の途中で進捗確認・中間評価を行い、必要に応じて実施体制・目標値等の見直しを行います。最終年度においては、次の期の計画策定を円滑に行うため、上半期に仮評価を行うこととします。

評価・見直しに当たっては、他保険者と連携して行い、国民健康保険団体連合会に設置される支援・評価委員会に指導・助言を受けるものとします。



厚生労働省 保険局「データヘルス計画 作成の手引き」(平成26年12月)より

#### (2) 評価時期

本計画の評価については、各事業のスケジュールに基づき実施します。

### 2. 計画の公表・周知

本計画は、ホームページ等で公表するとともに、本実施計画をあらゆる機会を通じて周知・啓発を図ります。また、目標の達成状況等の公表に努め、本計画の円滑な実施等について広く意見を求めるものとします。

### 3. 個人情報の取り扱い

---

個人情報の取り扱いについては、個人情報の保護に関する法律(平成15年法律第57号)、同法に基づく各種ガイドライン、倉吉市個人情報保護条例等に基づき管理します。

また、業務を外部に委託する際には、個人情報の厳重な管理や目的外使用の禁止について契約書に明記するとともに、委託先の契約遵守状況の管理を行うものとします。

### 4. 地域包括ケアに係る取組及びその他の留意事項

---

高齢化の状況、地理的条件など、地域のおかれた現状によって必要とされる保健事業や対策も異なると考えられることから、地域包括ケアの充実を図り、地域の実態把握・課題分析を被保険者も含めた関係者間で共有し、連携して事業に取り組むことが重要です。

# 地区分析

## 1. 大分類による疾病別医療費地区別統計

以下は、平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)に発生しているレセプトより、疾病項目毎に医療費統計を地区別に示したものです。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【上北条】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,010,232	3.5%	10	919	9	174	8	40,289	13
II. 新生物<腫瘍>	41,235,262	20.4%	1	729	11	139	9	296,657	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5,175,672	2.6%	12	277	16	57	15	90,801	6
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	17,685,309	8.8%	6	3,505	1	274	3	64,545	8
V. 精神及び行動の障害	10,876,750	5.4%	7	826	10	67	14	162,340	3
VI. 神経系の疾患	7,249,867	3.6%	9	1,411	6	126	11	57,539	9
VII. 眼及び付属器の疾患	9,947,548	4.9%	8	980	7	200	6	49,738	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	427,858	0.2%	18	145	17	37	17	11,564	20
IX. 循環器系の疾患	23,995,100	11.9%	2	3,312	2	230	4	104,327	5
X. 呼吸器系の疾患	6,123,915	3.0%	11	1,539	5	285	2	21,487	16
X I. 消化器系の疾患 ※	18,529,746	9.2%	4	3,144	3	324	1	57,191	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,963,404	1.5%	14	943	8	180	7	16,463	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,096,346	9.0%	5	2,264	4	225	5	80,428	7
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	23,146,949	11.5%	3	622	13	109	13	212,357	2
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,284,122	0.6%	17	25	19	9	19	142,680	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	99,630	0.0%	20	2	21	2	21	49,815	11
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	119,193	0.1%	19	48	18	10	18	11,919	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,123,791	1.1%	15	689	12	129	10	16,463	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,124,965	2.0%	13	414	14	113	12	36,504	14
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,614,878	0.8%	16	362	15	46	16	35,106	15
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	29,614	0.0%	21	22	20	6	20	4,936	21
合計	201,860,150			8,918		539		374,509	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【上井】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,936,756	2.9%	12	2,006	9	432	6	29,946	14
II. 新生物<腫瘍>	69,382,009	15.5%	2	1,635	11	363	9	191,135	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,799,766	0.4%	16	620	16	140	15	12,855	20
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	44,504,960	9.9%	3	8,397	1	675	2	65,933	7
V. 精神及び行動の障害	44,258,201	9.9%	4	2,614	7	197	14	224,661	1
VI. 神経系の疾患	32,380,521	7.2%	7	3,769	5	314	11	103,123	5
VII. 眼及び付属器の疾患	13,586,912	3.0%	11	1,892	10	431	7	31,524	13
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,507,098	0.3%	18	374	17	91	17	16,562	19
IX. 循環器系の疾患	75,673,399	16.9%	1	7,823	2	570	4	132,760	3
X. 呼吸器系の疾患	19,259,766	4.3%	8	3,522	6	663	3	29,049	15
X I. 消化器系の疾患 ※	36,356,974	8.1%	6	7,415	3	763	1	47,650	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,748,296	2.0%	13	2,170	8	419	8	20,879	18
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	41,146,112	9.2%	5	4,657	4	507	5	81,156	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	14,585,029	3.3%	10	1,482	13	308	12	47,354	11
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,737,676	0.4%	17	33	19	15	19	115,845	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	55,580	0.0%	20	2	21	2	21	27,790	16
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	847,276	0.2%	19	75	18	26	18	32,588	12
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,519,787	1.9%	14	1,583	12	317	10	26,876	17
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,533,691	3.5%	9	983	14	259	13	59,976	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,712,866	1.3%	15	641	15	92	16	62,096	8
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	16,754	0.0%	21	10	20	3	20	5,585	21
合計	448,549,430			21,399		1,322		339,296	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【西郷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,964,664	2.0%	13	1,525	10	335	7	23,775	19
II. 新生物<腫瘍>	57,389,769	14.2%	2	1,261	12	267	9	214,943	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,933,953	0.7%	17	562	15	114	15	25,736	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	33,770,427	8.4%	4	6,382	1	509	3	66,347	11
V. 精神及び行動の障害	53,495,546	13.3%	3	2,032	7	156	14	342,920	1
VI. 神経系の疾患	24,020,771	6.0%	7	2,885	6	248	10	96,858	7
VII. 眼及び付属器の疾患	13,749,615	3.4%	11	1,618	9	339	6	40,559	14
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,038,440	0.3%	19	317	17	79	16	13,145	20
IX. 循環器系の疾患	62,897,194	15.6%	1	5,978	2	421	4	149,400	4
X. 呼吸器系の疾患	20,620,083	5.1%	9	3,113	5	563	2	36,625	15
X I. 消化器系の疾患 ※	32,438,144	8.0%	5	5,581	3	570	1	56,909	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,334,765	2.3%	12	1,905	8	325	8	28,722	17
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	22,814,823	5.7%	8	3,198	4	384	5	59,414	12
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	26,530,573	6.6%	6	1,280	11	234	12	113,379	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	1,652,956	0.4%	18	46	19	19	18	86,998	8
X VI. 周産期に発生した病態 ※	584,533	0.1%	20	10	20	5	20	116,907	5
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	3,164,717	0.8%	16	87	18	18	19	175,818	3
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,493,175	1.9%	14	1,056	13	236	11	31,751	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	15,756,705	3.9%	10	785	14	226	13	69,720	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	5,422,116	1.3%	15	536	16	75	17	72,295	9
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	403,072,970			15,996		1,038		388,317	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【上灘】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,578,145	1.8%	13	1,578	9	350	8	18,795	15
II. 新生物<腫瘍>	74,356,265	20.4%	1	1,396	11	288	9	258,181	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,512,089	0.7%	15	407	16	92	15	27,305	12
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	28,607,888	7.8%	5	6,449	1	537	3	53,274	7
V. 精神及び行動の障害	34,658,538	9.5%	3	1,989	7	154	14	225,055	2
VI. 神経系の疾患	21,755,849	6.0%	8	3,070	6	268	10	81,179	5
VII. 眼及び付属器の疾患	12,454,911	3.4%	10	1,486	10	361	6	34,501	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,198,278	0.3%	16	375	17	73	17	16,415	17
IX. 循環器系の疾患	56,192,055	15.4%	2	6,297	2	463	4	121,365	3
X. 呼吸器系の疾患	26,406,538	7.2%	7	3,354	5	569	2	46,409	8
X I. 消化器系の疾患 ※	26,929,193	7.4%	6	5,781	3	608	1	44,291	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	8,088,061	2.2%	12	1,829	8	357	7	22,656	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	28,891,962	7.9%	4	3,922	4	439	5	65,813	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	20,472,760	5.6%	9	1,227	12	251	11	81,565	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	117,806	0.0%	19	21	20	11	19	10,710	19
X VI. 周産期に発生した病態 ※	8,510	0.0%	21	2	21	1	21	8,510	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	266,224	0.1%	18	51	18	19	18	14,012	18
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,967,672	1.6%	14	1,196	13	244	12	24,458	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,451,928	2.3%	11	909	14	226	13	37,398	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	792,887	0.2%	17	566	15	76	16	10,433	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	34,519	0.0%	20	26	19	2	20	17,260	16
合計	364,742,080			16,945		1,100		331,584	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【成徳】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を **網掛け** 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	12,073,962	5.1%	9	1,048	10	207	8	58,328	7
II. 新生物<腫瘍>	30,115,515	12.7%	2	853	13	178	9	169,188	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2,109,092	0.9%	15	358	16	63	15	33,478	11
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	19,345,504	8.2%	6	4,216	1	339	2	57,066	8
V. 精神及び行動の障害	16,108,502	6.8%	7	1,218	8	101	14	159,490	2
VI. 神経系の疾患	13,342,607	5.6%	8	2,196	5	176	10	75,810	5
VII. 眼及び付属器の疾患	11,329,966	4.8%	11	1,123	9	229	6	49,476	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,527,558	0.6%	16	219	17	49	17	31,175	14
IX. 循環器系の疾患	42,229,410	17.8%	1	3,980	2	297	4	142,187	4
X. 呼吸器系の疾患	11,346,648	4.8%	10	1,991	6	339	2	33,471	12
X I. 消化器系の疾患 ※	20,178,857	8.5%	4	3,840	3	376	1	53,667	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,559,452	2.3%	12	1,231	7	211	7	26,348	16
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	20,047,666	8.5%	5	2,672	4	273	5	73,435	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	21,664,964	9.1%	3	883	12	146	12	148,390	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	64,047	0.0%	18	7	20	4	19	16,012	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	20,523	0.0%	21	3	21	2	21	10,262	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	63,201	0.0%	19	40	18	10	18	6,320	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,694,231	2.0%	13	921	11	157	11	29,900	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	4,241,768	1.8%	14	558	14	135	13	31,421	13
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	933,688	0.4%	17	460	15	54	16	17,291	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	23,538	0.0%	20	29	19	4	19	5,885	21
合計	237,020,700			10,978		684		346,521	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【明倫】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	5,626,821	2.1%	12	1,261	9	251	7	22,418	12
II. 新生物<腫瘍>	63,612,786	24.2%	1	1,224	11	226	9	281,473	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	800,036	0.3%	17	311	17	70	17	11,429	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	25,140,040	9.6%	3	5,147	2	452	1	55,620	7
V. 精神及び行動の障害	17,471,273	6.7%	7	1,496	7	122	14	143,207	2
VI. 神経系の疾患	13,655,912	5.2%	8	2,439	5	224	10	60,964	6
VII. 眼及び付属器の疾患	9,297,901	3.5%	10	1,278	8	288	6	32,284	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,182,595	0.5%	15	329	16	83	15	14,248	17
IX. 循環器系の疾患	38,500,863	14.7%	2	5,185	1	398	4	96,736	3
X. 呼吸器系の疾患	18,904,402	7.2%	5	2,311	6	436	3	43,359	8
X I. 消化器系の疾患 ※	18,404,616	7.0%	6	4,328	3	448	2	41,082	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	5,131,498	2.0%	13	1,250	10	243	8	21,117	13
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	21,188,489	8.1%	4	3,106	4	347	5	61,062	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	12,422,170	4.7%	9	1,072	12	193	12	64,364	4
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	147,411	0.1%	18	19	19	7	19	21,059	14
X VI. 周産期に発生した病態 ※	4,450	0.0%	21	2	21	2	21	2,225	21
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	74,295	0.0%	19	33	18	11	18	6,754	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,689,594	1.4%	14	942	13	196	11	18,824	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	6,254,993	2.4%	11	626	14	182	13	34,368	10
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,126,503	0.4%	16	471	15	74	16	15,223	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	11,541	0.0%	20	17	20	4	20	2,885	20
合計	262,648,190			13,307		860		305,405	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【灘手】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,400,237	1.7%	11	244	11	55	8	25,459	13
II. 新生物<腫瘍>	34,408,495	42.9%	1	361	7	57	7	603,658	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	140,015	0.2%	17	71	16	11	17	12,729	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,582,187	9.4%	2	1,246	1	92	2	82,415	3
V. 精神及び行動の障害	6,529,171	8.1%	5	341	8	28	13	233,185	2
VI. 神経系の疾患	1,723,907	2.1%	9	484	6	47	10	36,679	8
VII. 眼及び付属器の疾患	2,764,999	3.4%	7	332	9	66	6	41,894	7
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	252,173	0.3%	16	58	17	14	16	18,012	15
IX. 循環器系の疾患	6,776,797	8.4%	4	1,208	2	86	3	78,800	4
X. 呼吸器系の疾患	1,993,649	2.5%	8	486	5	85	4	23,455	14
X I. 消化器系の疾患 ※	7,354,919	9.2%	3	828	3	96	1	76,614	5
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,479,945	1.8%	10	300	10	51	9	29,019	12
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	4,168,442	5.2%	6	684	4	72	5	57,895	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,261,209	1.6%	12	201	14	38	11	33,190	10
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	2,379	0.0%	20	4	19	2	18	1,189	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	4,052	0.0%	18	5	18	2	18	2,026	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	886,497	1.1%	14	209	13	27	14	32,833	11
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,170,148	1.5%	13	107	15	35	12	33,433	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	353,430	0.4%	15	217	12	23	15	15,367	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	2,520	0.0%	19	1	20	1	20	2,520	18
合計	80,255,170			3,122		182		440,962	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【社】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	6,474,822	1.8%	13	1,453	9	332	6	19,502	17
II. 新生物<腫瘍>	65,327,552	18.6%	1	1,288	12	293	9	222,961	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,089,627	0.9%	15	420	16	88	15	35,109	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	29,413,976	8.4%	4	5,539	2	522	3	56,349	7
V. 精神及び行動の障害	33,787,400	9.6%	3	1,740	7	159	14	212,499	2
VI. 神経系の疾患	22,333,956	6.4%	7	2,826	6	266	10	83,962	5
VII. 眼及び付属器の疾患	12,341,038	3.5%	10	1,443	10	303	7	40,729	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,597,998	0.5%	16	333	17	87	16	18,368	18
IX. 循環器系の疾患	59,511,845	17.0%	2	6,335	1	504	4	118,079	3
X. 呼吸器系の疾患	23,453,797	6.7%	6	2,890	5	572	2	41,003	10
X I. 消化器系の疾患 ※	28,787,582	8.2%	5	5,218	3	601	1	47,899	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,128,516	2.0%	12	1,631	8	303	7	23,526	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	21,681,758	6.2%	8	3,656	4	429	5	50,540	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	19,459,398	5.6%	9	1,322	11	245	12	79,426	6
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	776,794	0.2%	18	30	19	8	19	97,099	4
X VI. 周産期に発生した病態 ※	198,759	0.1%	19	7	21	5	20	39,752	13
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	92,213	0.0%	20	42	18	14	18	6,587	21
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,587,829	1.6%	14	1,277	13	261	11	21,409	16
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	8,353,790	2.4%	11	665	14	204	13	40,950	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	900,735	0.3%	17	538	15	69	17	13,054	20
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	89,406	0.0%	21	26	20	5	20	17,881	19
合計	350,388,790			15,560		1,065		329,004	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【北谷】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,436,656	5.8%	7	488	9	105	7	70,825	6
II. 新生物<腫瘍>	30,865,462	23.9%	1	550	7	115	6	268,395	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	816,539	0.6%	15	237	15	43	14	18,989	14
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,925,129	9.2%	3	2,344	2	202	2	59,035	7
V. 精神及び行動の障害	5,193,685	4.0%	10	535	8	39	15	133,171	2
VI. 神経系の疾患	6,721,900	5.2%	8	946	5	80	11	84,024	5
VII. 眼及び付属器の疾患	4,109,405	3.2%	11	475	11	97	9	42,365	10
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	489,965	0.4%	16	134	17	30	16	16,332	17
IX. 循環器系の疾患	19,436,347	15.1%	2	2,505	1	189	3	102,838	4
X. 呼吸器系の疾患	5,827,466	4.5%	9	837	6	174	5	33,491	12
X I. 消化器系の疾患 ※	10,726,870	8.3%	4	1,888	3	214	1	50,126	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	1,668,277	1.3%	14	483	10	99	8	16,851	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	8,572,728	6.6%	6	1,752	4	180	4	47,626	9
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	10,403,367	8.1%	5	462	12	89	10	116,892	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	29,478	0.0%	18	6	18	4	18	7,370	18
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	2,173	0.0%	19	3	19	2	19	1,086	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1,954,158	1.5%	13	404	13	77	12	25,379	13
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	2,566,650	2.0%	12	269	14	76	13	33,772	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	395,022	0.3%	17	162	16	24	17	16,459	16
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	1,525	0.0%	20	1	20	1	20	1,525	19
合計	129,142,800			5,554		354		364,810	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【高城】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	7,990,777	4.1%	11	687	12	131	8	60,998	8
II. 新生物<腫瘍>	32,509,659	16.7%	1	804	8	143	7	227,340	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	710,391	0.4%	15	272	15	52	15	13,661	18
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	15,890,277	8.2%	5	2,822	2	263	2	60,419	9
V. 精神及び行動の障害	14,735,435	7.6%	7	1,108	6	79	14	186,524	2
VI. 神経系の疾患	7,613,451	3.9%	12	1,455	5	128	10	59,480	10
VII. 眼及び付属器の疾患	8,425,713	4.3%	10	696	11	151	6	55,799	11
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	637,117	0.3%	16	169	17	42	16	15,169	16
IX. 循環器系の疾患	27,226,457	14.0%	2	2,915	1	223	4	122,092	4
X. 呼吸器系の疾患	9,494,141	4.9%	9	1,100	7	240	3	39,559	13
X I. 消化器系の疾患 ※	15,674,799	8.1%	6	2,572	3	282	1	55,584	12
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	2,274,546	1.2%	14	590	13	123	11	18,492	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	18,920,251	9.7%	3	1,788	4	208	5	90,963	6
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	16,393,426	8.4%	4	697	10	122	12	134,372	3
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	9,784	0.0%	19	5	19	3	19	3,261	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	5,040	0.0%	20	1	21	1	21	5,040	19
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	561,934	0.3%	17	26	18	7	18	80,276	7
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,315,970	1.2%	13	720	9	129	9	17,953	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	12,404,204	6.4%	8	377	14	104	13	119,271	5
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	422,095	0.2%	18	198	16	29	17	14,555	17
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	4,564	0.0%	21	5	19	2	20	2,282	21
合計	194,220,030			7,281		468		415,000	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【小鴨】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	23,624,162	4.8%	10	2,290	8	437	7	54,060	8
II. 新生物<腫瘍>	68,040,514	13.9%	2	1,859	13	403	9	168,835	2
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3,146,801	0.6%	15	623	15	110	15	28,607	13
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	47,686,794	9.7%	4	8,879	1	707	3	67,449	7
V. 精神及び行動の障害	44,880,873	9.2%	5	2,217	9	183	14	245,251	1
VI. 神経系の疾患	25,261,646	5.2%	9	4,560	5	372	10	67,908	6
VII. 眼及び付属器の疾患	13,649,364	2.8%	11	1,906	12	426	8	32,041	12
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,485,005	0.3%	16	486	17	107	16	13,879	17
IX. 循環器系の疾患	78,960,574	16.1%	1	8,774	2	633	4	124,740	3
X. 呼吸器系の疾患	30,739,954	6.3%	7	4,260	6	709	2	43,357	10
X I. 消化器系の疾患 ※	35,546,109	7.3%	6	8,170	3	779	1	45,630	9
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	9,764,382	2.0%	12	2,543	7	448	6	21,795	14
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	59,456,287	12.1%	3	6,024	4	612	5	97,151	4
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	29,930,638	6.1%	8	1,935	10	372	10	80,459	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	195,958	0.0%	18	25	19	14	18	13,997	16
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	58,343	0.0%	19	28	18	13	19	4,488	20
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,839,829	1.4%	14	1,917	11	347	12	19,711	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	9,342,871	1.9%	13	906	14	275	13	33,974	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	1,114,251	0.2%	17	618	16	99	17	11,255	18
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	32,773	0.0%	20	17	20	6	20	5,462	19
合計	489,757,130			22,664		1,391		352,090	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【上小鴨】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数 (人) ※	順位	患者一人当たりの医療費 (円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	10,288,586	6.8%	6	808	7	122	6	84,333	6
II. 新生物<腫瘍>	39,361,090	25.9%	1	561	9	111	8	354,604	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	483,240	0.3%	16	154	16	32	16	15,101	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	11,871,254	7.8%	5	2,222	2	192	2	61,829	10
V. 精神及び行動の障害	13,946,761	9.2%	3	739	8	52	14	268,207	2
VI. 神経系の疾患	8,850,711	5.8%	8	1,000	5	87	10	101,732	3
VII. 眼及び付属器の疾患	3,111,145	2.0%	12	538	10	119	7	26,144	16
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	330,265	0.2%	17	118	17	27	17	12,232	18
IX. 循環器系の疾患	14,512,582	9.5%	2	2,277	1	173	3	83,888	7
X. 呼吸器系の疾患	8,180,068	5.4%	9	965	6	168	4	48,691	12
X I. 消化器系の疾患 ※	9,799,468	6.4%	7	2,021	3	211	1	46,443	13
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	4,935,135	3.2%	11	523	11	90	9	54,835	11
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	12,847,273	8.4%	4	1,523	4	168	4	76,472	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	2,578,722	1.7%	14	359	13	81	13	31,836	14
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	13,704	0.0%	20	6	20	4	19	3,426	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	101,400	0.1%	18	2	21	1	21	101,400	4
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	17,197	0.0%	19	9	19	5	18	3,439	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,234,681	1.5%	15	452	12	85	12	26,290	15
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	5,717,785	3.8%	10	306	14	86	11	66,486	9
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3,011,227	2.0%	13	197	15	34	15	88,566	5
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	3,776	0.0%	21	10	18	2	20	1,888	21
合計	152,196,070			5,791		344		442,430	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。



上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【関金】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を

網掛け

表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	55,199,232	12.7%	3	1,719	7	283	6	195,050	3
II. 新生物<腫瘍>	89,282,026	20.6%	1	1,406	9	259	7	344,718	1
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,457,286	0.3%	16	480	16	85	15	17,145	17
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	30,750,895	7.1%	5	5,840	2	461	2	66,705	7
V. 精神及び行動の障害	36,374,238	8.4%	4	1,431	8	120	14	303,119	2
VI. 神経系の疾患	23,817,057	5.5%	7	2,676	5	240	9	99,238	6
VII. 眼及び付属器の疾患	12,619,247	2.9%	11	1,097	11	246	8	51,298	9
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	1,131,537	0.3%	17	297	17	62	17	18,251	16
IX. 循環器系の疾患	70,839,769	16.3%	2	5,971	1	455	3	155,692	4
X. 呼吸器系の疾患	18,113,549	4.2%	10	2,128	6	414	4	43,753	12
X I. 消化器系の疾患 ※	24,837,783	5.7%	6	5,137	3	506	1	49,087	10
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	6,826,311	1.6%	13	1,353	10	235	10	29,048	15
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	21,790,482	5.0%	9	3,704	4	370	5	58,893	8
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	23,453,698	5.4%	8	968	13	199	12	117,858	5
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	9,938	0.0%	19	6	20	4	19	2,485	20
X VI. 周産期に発生した病態 ※	9,370	0.0%	20	1	21	1	21	9,370	18
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	41,528	0.0%	18	24	18	6	18	6,921	19
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,344,862	1.5%	14	1,000	12	205	11	30,951	14
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	7,954,677	1.8%	12	632	14	178	13	44,689	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	2,536,201	0.6%	15	517	15	68	16	37,297	13
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	7,084	0.0%	21	15	19	4	19	1,771	21
合計	433,396,770			13,753		838		517,180	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

【その他】大分類による疾病別医療費統計

※各項目毎に上位5疾病を 網掛け 表示する。

疾病分類(大分類)	A			B		C		A/C	
	医療費(円) ※	構成比 (%)	順位	レセプト件数 ※	順位	患者数(人) ※	順位	患者一人当たりの医療費(円)	順位
I. 感染症及び寄生虫症	1,273,175	1.8%	13	162	9	43	4	29,609	16
II. 新生物<腫瘍>	926,992	1.3%	14	50	15	15	14	61,799	13
III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1,332,311	1.9%	12	91	13	12	15	111,026	9
IV. 内分泌, 栄養及び代謝疾患	7,731,021	11.1%	3	313	5	33	7	234,273	2
V. 精神及び行動の障害	6,793,128	9.8%	5	434	3	29	9	234,246	3
VI. 神経系の疾患	11,987,774	17.2%	1	446	2	33	7	363,266	1
VII. 眼及び付属器の疾患	544,039	0.8%	15	92	12	36	5	15,112	18
VIII. 耳及び乳様突起の疾患	198,681	0.3%	16	21	16	8	16	24,835	17
IX. 循環器系の疾患	4,162,166	6.0%	8	258	7	20	11	208,108	4
X. 呼吸器系の疾患	6,792,020	9.8%	6	357	4	62	1	109,549	10
X I. 消化器系の疾患 ※	7,768,891	11.2%	2	557	1	52	2	149,402	8
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患	7,081,165	10.2%	4	263	6	44	3	160,936	7
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患	6,280,615	9.0%	7	250	8	35	6	179,446	5
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患	1,376,113	2.0%	11	133	10	20	11	68,806	12
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく ※	124,800	0.2%	18	7	18	3	17	41,600	15
X VI. 周産期に発生した病態 ※	0	0.0%		0		0		0	
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常	0	0.0%		0		0		0	
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,078,852	4.4%	9	122	11	18	13	171,047	6
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響	1,894,705	2.7%	10	73	14	21	10	90,224	11
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	179,340	0.3%	17	14	17	3	17	59,780	14
X X II. 特殊目的用コード	0	0.0%		0		0		0	
分類外	0	0.0%		0		0		0	
合計	69,525,790			1,431		106		655,904	

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…大分類の疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

※レセプト件数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計件数は他統計と一致しない(1件のレセプトに複数の疾病があるため)。

※患者数…大分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

※消化器系の疾患…歯科レセプト情報と思われるものはデータ化対象外のため算出できない。

※妊娠, 分娩及び産じょく…乳房腫大・骨盤変形等の傷病名が含まれるため、“男性”においても医療費が発生する可能性がある。

※周産期に発生した病態…ABO因子不適合等の傷病名が含まれるため、周産期(妊娠22週から出生後7日未満)以外においても医療費が発生する可能性がある。

## 2. 中分類による疾病別医療費地区別統計

以下は、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、医療費が高額な上位10疾病を示したものです。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【上北条】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402 腎不全	20,091,248	10.0%	11
2	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	10,168,153	5.0%	30
3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	9,775,642	4.8%	25
4	1113 その他の消化器系の疾患	9,745,924	4.8%	163
5	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	9,529,173	4.7%	48
6	0901 高血圧性疾患	8,610,483	4.3%	179
7	0402 糖尿病	7,681,394	3.8%	163
8	0902 虚血性心疾患	6,632,667	3.3%	49
9	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	6,439,064	3.2%	17
10	0704 その他の眼及び付属器の疾患	6,404,655	3.2%	119

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【上井】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	23,188,652	5.2%	80
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	20,485,055	4.6%	128
3	0901 高血圧性疾患	20,076,215	4.5%	415
4	0402 糖尿病	19,963,751	4.5%	436
5	1113 その他の消化器系の疾患	17,192,586	3.8%	366
6	0403 脂質異常症	14,775,389	3.3%	471
7	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	14,120,777	3.1%	12
8	0903 その他の心疾患	13,563,181	3.0%	178
9	0606 その他の神経系の疾患	12,509,925	2.8%	276
10	0906 脳梗塞	12,243,131	2.7%	93

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【西郷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	43,505,389	10.8%	71
2	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	18,111,058	4.5%	100
3	0903 その他の心疾患	18,070,111	4.5%	144
4	1113 その他の消化器系の疾患	17,512,493	4.3%	264
5	1402 腎不全	17,208,644	4.3%	25
6	0402 糖尿病	15,216,202	3.8%	284
7	0901 高血圧性疾患	14,481,280	3.6%	318
8	0606 その他の神経系の疾患	13,503,517	3.4%	214
9	0206 乳房の悪性新生物<腫瘍>	12,751,580	3.2%	20
10	0403 脂質異常症	11,257,391	2.8%	333

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【上灘】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	37,277,909	10.2%	104
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	17,461,608	4.8%	50
3	0901 高血圧性疾患	15,573,043	4.3%	334
4	1402 腎不全	14,691,074	4.0%	17
5	0606 その他の神経系の疾患	13,827,925	3.8%	245
6	0903 その他の心疾患	12,522,049	3.4%	206
7	0402 糖尿病	12,493,530	3.4%	325
8	1113 その他の消化器系の疾患	11,490,576	3.2%	274
9	0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	11,439,996	3.1%	11
10	0403 脂質異常症	10,810,716	3.0%	371

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【成徳】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	1402	腎不全	16,242,714	6.9%	21
2	0905	脳内出血	13,115,724	5.5%	25
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	11,818,217	5.0%	35
4	1113	その他の消化器系の疾患	9,917,023	4.2%	189
5	0901	高血圧性疾患	9,682,668	4.1%	214
6	0906	脳梗塞	8,640,494	3.6%	44
7	0208	悪性リンパ腫	8,459,515	3.6%	10
8	0402	糖尿病	8,338,444	3.5%	181
9	0105	ウイルス性肝炎	6,953,213	2.9%	44
10	0403	脂質異常症	6,781,849	2.9%	217

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【明倫】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	19,980,822	7.6%	90
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	14,745,391	5.6%	46
3	0901	高血圧性疾患	13,935,975	5.3%	310
4	0903	その他の心疾患	11,067,283	4.2%	122
5	0402	糖尿病	10,572,333	4.0%	293
6	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	9,985,460	3.8%	45
7	1113	その他の消化器系の疾患	8,824,663	3.4%	247
8	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	8,753,139	3.3%	90
9	0403	脂質異常症	8,660,968	3.3%	269
10	1402	腎不全	7,696,143	2.9%	20

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【灘手】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	20,957,495	26.1%	26
2	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	9,003,425	11.2%	10
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	5,012,866	6.2%	9
4	0402	糖尿病	4,195,905	5.2%	53
5	0901	高血圧性疾患	3,586,659	4.5%	62
6	0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	2,957,145	3.7%	6
7	1111	胆石症及び胆のう炎	2,632,219	3.3%	9
8	0403	脂質異常症	2,534,462	3.2%	66
9	1113	その他の消化器系の疾患	2,378,578	3.0%	53
10	1301	炎症性多発性関節障害	1,191,790	1.5%	14

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【社】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	36,876,693	10.5%	123
2	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	19,364,571	5.5%	55
3	0901	高血圧性疾患	18,580,400	5.3%	395
4	0402	糖尿病	14,473,242	4.1%	314
5	1113	その他の消化器系の疾患	13,481,419	3.8%	308
6	0903	その他の心疾患	12,785,919	3.6%	151
7	1402	腎不全	12,630,932	3.6%	32
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	11,401,119	3.3%	68
9	0606	その他の神経系の疾患	10,776,529	3.1%	243
10	0403	脂質異常症	10,628,785	3.0%	331

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【北谷】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	13,681,536	10.6%	4
2	1402	腎不全	8,340,201	6.5%	11
3	0901	高血圧性疾患	6,604,841	5.1%	145
4	0105	ウイルス性肝炎	6,200,101	4.8%	31
5	0402	糖尿病	5,200,717	4.0%	118
6	0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	4,857,514	3.8%	28
7	0903	その他の心疾患	4,113,033	3.2%	52
8	0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	3,887,084	3.0%	23
9	0403	脂質異常症	3,812,189	3.0%	135
10	1113	その他の消化器系の疾患	3,231,187	2.5%	88

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【高城】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	13,197,298	6.8%	4
2	1402	腎不全	12,935,228	6.7%	13
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	10,068,986	5.2%	25
4	0902	虚血性心疾患	7,866,808	4.1%	46
5	0903	その他の心疾患	7,807,674	4.0%	67
6	0901	高血圧性疾患	7,768,030	4.0%	178
7	1113	その他の消化器系の疾患	7,521,791	3.9%	142
8	0402	糖尿病	7,447,352	3.8%	149
9	0205	気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	7,373,880	3.8%	23
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,568,534	3.4%	106

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【小鴨】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	25,755,746	5.3%	50
2	0402 糖尿病	24,501,871	5.0%	457
3	0901 高血圧性疾患	24,328,789	5.0%	461
4	0202 結腸の悪性新生物<腫瘍>	19,241,909	3.9%	125
5	1402 腎不全	17,763,342	3.6%	41
6	1113 その他の消化器系の疾患	17,461,389	3.6%	398
7	0403 脂質異常症	15,492,921	3.2%	455
8	0606 その他の神経系の疾患	14,883,353	3.0%	334
9	0903 その他の心疾患	14,879,177	3.0%	182
10	0105 ウイルス性肝炎	12,796,790	2.6%	115

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【上小鴨】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)	医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0210 その他の悪性新生物<腫瘍>	19,726,285	13.0%	36
2	0503 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	8,914,428	5.9%	17
3	0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	8,032,933	5.3%	22
4	0105 ウイルス性肝炎	6,497,825	4.3%	50
5	0901 高血圧性疾患	5,975,589	3.9%	126
6	1113 その他の消化器系の疾患	5,371,620	3.5%	104
7	0201 胃の悪性新生物<腫瘍>	4,802,591	3.2%	23
8	0606 その他の神経系の疾患	4,691,760	3.1%	78
9	0402 糖尿病	4,589,487	3.0%	129
10	0403 脂質異常症	3,838,071	2.5%	120

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。



上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【関金】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0105	ウイルス性肝炎	51,789,804	11.9%	133
2	0903	その他の心疾患	25,279,761	5.8%	151
3	0503	統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害	21,098,913	4.9%	35
4	0208	悪性リンパ腫	19,982,184	4.6%	6
5	0901	高血圧性疾患	19,509,712	4.5%	348
6	1402	腎不全	16,907,670	3.9%	20
7	0402	糖尿病	12,785,972	3.0%	270
8	1113	その他の消化器系の疾患	12,386,878	2.9%	256
9	0209	白血病	11,653,969	2.7%	1
10	0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	11,571,437	2.7%	104

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

### 【その他】中分類による疾病別統計(医療費上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円) ※	構成比(%) (医療費総計全体に 対して占める割合)	患者数(人)
1	0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	7,242,344	10.4%	6
2	1113	その他の消化器系の疾患	6,361,688	9.2%	36
3	0402	糖尿病	5,125,113	7.4%	9
4	0507	その他の精神及び行動の障害	4,144,829	6.0%	12
5	1202	皮膚炎及び湿疹	4,103,147	5.9%	32
6	1004	肺炎	3,562,996	5.1%	8
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,078,852	4.4%	18
8	1307	その他の脊柱障害	2,684,528	3.9%	3
9	0603	てんかん	2,548,203	3.7%	15
10	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,201,869	3.2%	24

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※医療費…中分類における疾病項目毎に集計するため、データ化時点で医科レセプトが存在しない(画像レセプト、月遅れ等)場合集計できない。そのため他統計と一致しない。

以下は、疾病分類表における中分類単位で地区毎に集計し、患者数が多い上位10疾病を示したものです。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【上北条】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	5,786,554	186	34.5%
2	0901	高血圧性疾患	8,610,483	179	33.2%
3	0703	屈折及び調節の障害	1,319,672	176	32.7%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,361,432	166	30.8%
5	1113	その他の消化器系の疾患	9,745,924	163	30.2%
5	0402	糖尿病	7,681,394	163	30.2%
7	1110	その他の肝疾患	913,822	149	27.6%
8	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	847,183	134	24.9%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	1,758,550	130	24.1%
10	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,123,791	129	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【上井】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	14,775,389	471	35.6%
2	0402	糖尿病	19,963,751	436	33.0%
3	0901	高血圧性疾患	20,076,215	415	31.4%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	6,375,690	405	30.6%
5	0703	屈折及び調節の障害	2,682,301	375	28.4%
6	1113	その他の消化器系の疾患	17,192,586	366	27.7%
7	1110	その他の肝疾患	3,805,704	330	25.0%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	8,519,787	317	24.0%
9	1202	皮膚炎及び湿疹	4,118,782	313	23.7%
10	0606	その他の神経系の疾患	12,509,925	276	20.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【西郷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	11,257,391	333	32.1%
2	0901	高血圧性疾患	14,481,280	318	30.6%
3	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,876,620	307	29.6%
4	0402	糖尿病	15,216,202	284	27.4%
5	0703	屈折及び調節の障害	1,992,258	277	26.7%
6	1113	その他の消化器系の疾患	17,512,493	264	25.4%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	3,996,681	247	23.8%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	7,493,175	236	22.7%
9	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,764,607	228	22.0%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,607,965	221	21.3%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【上灘】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	10,810,716	371	33.7%
2	0901	高血圧性疾患	15,573,043	334	30.4%
3	0402	糖尿病	12,493,530	325	29.5%
4	0703	屈折及び調節の障害	2,050,530	306	27.8%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	5,475,507	297	27.0%
6	1113	その他の消化器系の疾患	11,490,576	274	24.9%
7	1202	皮膚炎及び湿疹	4,585,584	273	24.8%
8	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,817,717	262	23.8%
9	1110	その他の肝疾患	2,229,955	257	23.4%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	1,893,987	246	22.4%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【成徳】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	6,781,849	217	31.7%
2	0703	屈折及び調節の障害	1,518,935	215	31.4%
3	0901	高血圧性疾患	9,682,668	214	31.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	9,917,023	189	27.6%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	3,230,956	189	27.6%
6	0402	糖尿病	8,338,444	181	26.5%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,506,053	167	24.4%
8	1110	その他の肝疾患	1,670,535	158	23.1%
9	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	4,694,231	157	23.0%
10	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	869,427	155	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【明倫】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	13,935,975	310	36.0%
2	0402	糖尿病	10,572,333	293	34.1%
3	0403	脂質異常症	8,660,968	269	31.3%
4	1113	その他の消化器系の疾患	8,824,663	247	28.7%
5	0703	屈折及び調節の障害	1,444,280	239	27.8%
6	1003	その他の急性上気道感染症	1,059,664	213	24.8%
7	0704	その他の眼及び付属器の疾患	5,011,782	207	24.1%
8	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,822,085	205	23.8%
9	0606	その他の神経系の疾患	7,109,854	199	23.1%
10	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	3,689,594	196	22.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【灘手】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0403	脂質異常症	2,534,462	66	36.3%
2	0901	高血圧性疾患	3,586,659	62	34.1%
3	0703	屈折及び調節の障害	520,674	59	32.4%
4	0402	糖尿病	4,195,905	53	29.1%
4	1113	その他の消化器系の疾患	2,378,578	53	29.1%
4	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,173,164	53	29.1%
7	1105	胃炎及び十二指腸炎	575,062	46	25.3%
8	1003	その他の急性上気道感染症	282,712	41	22.5%
9	0606	その他の神経系の疾患	1,095,321	40	22.0%
10	1202	皮膚炎及び湿疹	854,922	38	20.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【社】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	18,580,400	395	37.1%
2	0403	脂質異常症	10,628,785	331	31.1%
3	0402	糖尿病	14,473,242	314	29.5%
4	1113	その他の消化器系の疾患	13,481,419	308	28.9%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,195,932	293	27.5%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	5,587,829	261	24.5%
7	0703	屈折及び調節の障害	1,855,038	259	24.3%
8	1003	その他の急性上気道感染症	1,682,807	257	24.1%
9	0606	その他の神経系の疾患	10,776,529	243	22.8%
10	1110	その他の肝疾患	2,254,496	235	22.1%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【北谷】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	6,604,841	145	41.0%
2	0403	脂質異常症	3,812,189	135	38.1%
3	0402	糖尿病	5,200,717	118	33.3%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	1,426,662	109	30.8%
5	1110	その他の肝疾患	1,146,130	94	26.6%
6	1003	その他の急性上気道感染症	429,800	89	25.1%
7	1113	その他の消化器系の疾患	3,231,187	88	24.9%
8	1011	その他の呼吸器系の疾患	3,005,857	87	24.6%
9	1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	1,511,947	82	23.2%
10	0703	屈折及び調節の障害	664,338	80	22.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【高城】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	7,768,030	178	38.0%
2	0403	脂質異常症	4,963,110	156	33.3%
3	0402	糖尿病	7,447,352	149	31.8%
4	1113	その他の消化器系の疾患	7,521,791	142	30.3%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,490,216	136	29.1%
6	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,315,970	129	27.6%
7	0703	屈折及び調節の障害	717,137	124	26.5%
8	1110	その他の肝疾患	2,928,414	121	25.9%
9	0606	その他の神経系の疾患	4,589,159	115	24.6%
10	1003	その他の急性上気道感染症	513,626	112	23.9%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【小鴨】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	24,328,789	461	33.1%
2	0402	糖尿病	24,501,871	457	32.9%
3	0403	脂質異常症	15,492,921	455	32.7%
4	1113	その他の消化器系の疾患	17,461,389	398	28.6%
5	1105	胃炎及び十二指腸炎	6,339,583	365	26.2%
6	0703	屈折及び調節の障害	2,242,994	361	26.0%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,839,829	347	24.9%
8	1202	皮膚炎及び湿疹	5,285,878	345	24.8%
9	0606	その他の神経系の疾患	14,883,353	334	24.0%
10	1006	アレルギー性鼻炎	3,624,003	301	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【上小鴨】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0402	糖尿病	4,589,487	129	37.5%
2	0901	高血圧性疾患	5,975,589	126	36.6%
3	0403	脂質異常症	3,838,071	120	34.9%
4	1113	その他の消化器系の疾患	5,371,620	104	30.2%
4	0703	屈折及び調節の障害	535,436	104	30.2%
6	1105	胃炎及び十二指腸炎	2,087,563	101	29.4%
7	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	2,234,681	85	24.7%
8	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	3,056,386	80	23.3%
9	0606	その他の神経系の疾患	4,691,760	78	22.7%
9	0704	その他の眼及び付属器の疾患	1,625,662	78	22.7%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

上北条	上井	西郷	上灘	成徳	明倫	灘手
社	北谷	高城	小鴨	上小鴨	関金	その他

### 【関金】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	0901	高血圧性疾患	19,509,712	348	41.5%
2	0403	脂質異常症	10,750,301	296	35.3%
3	0402	糖尿病	12,785,972	270	32.2%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	4,760,650	260	31.0%
5	1113	その他の消化器系の疾患	12,386,878	256	30.5%
6	0703	屈折及び調節の障害	1,933,134	217	25.9%
7	0606	その他の神経系の疾患	11,484,404	215	25.7%
8	1800	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	6,344,862	205	24.5%
9	1110	その他の肝疾患	2,640,669	187	22.3%
10	0704	その他の眼及び付属器の疾患	6,662,189	181	21.6%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。

### 【その他】中分類による疾病別統計(患者数上位10疾病)

順位	疾病分類(中分類)		医療費(円)	患者数(人) ※	構成比(%) (患者数全体に 対して占める割合)
1	1113	その他の消化器系の疾患	6,361,688	36	34.0%
2	1202	皮膚炎及び湿疹	4,103,147	32	30.2%
2	1011	その他の呼吸器系の疾患	1,631,806	32	30.2%
4	1105	胃炎及び十二指腸炎	359,749	26	24.5%
5	1006	アレルギー性鼻炎	358,664	25	23.6%
5	1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	171,404	25	23.6%
7	1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	2,201,869	24	22.6%
8	0606	その他の神経系の疾患	2,036,773	23	21.7%
9	0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	1,171,406	22	20.8%
9	0703	屈折及び調節の障害	104,226	22	20.8%

データ化範囲(分析対象)…入院(DPCを含む)、入院外、調剤の画像及び電子レセプト。

対象診療年月は平成29年3月～平成30年2月診療分(12カ月分)。

資格確認日…1日でも資格があれば分析対象としている。

株式会社データホライゾン 医療費分解技術を用いて疾病毎に点数をグルーピングし算出。

※患者数…中分類における疾病項目毎に集計するため、合計人数は他統計と一致しない(複数疾病をもつ患者がいるため)。



# 年度別 特定健康診査結果分析

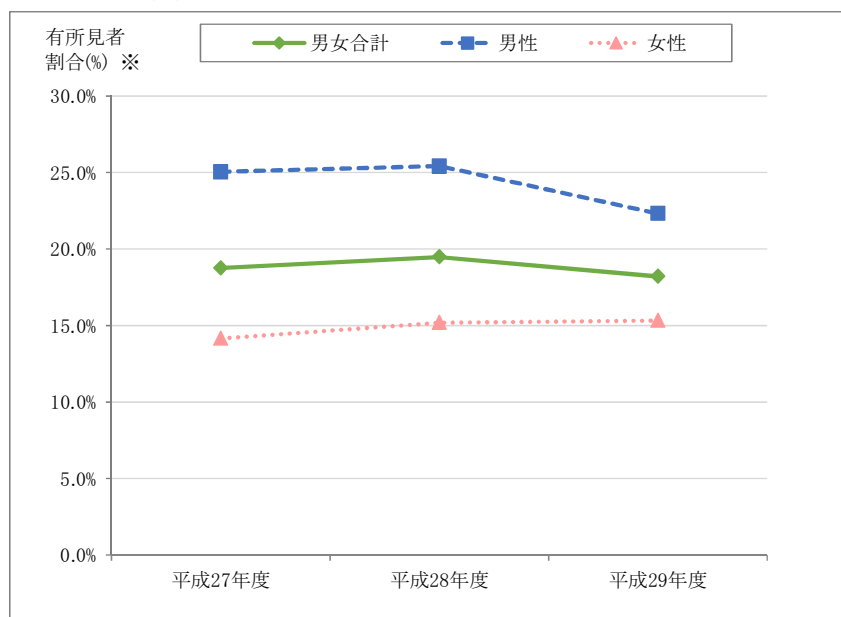
## 1. 有所見者割合

以下は、平成27年度から平成29年度の特定健康診査受診者における有所見者割合を年度別に示したものです。

年度別 有所見者割合 (BMI)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	252	276	293
	有所見者割合(%) ※	18.8%	19.5%	18.2%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	142	151	148
	有所見者割合(%) ※	25.0%	25.4%	22.3%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	110	125	145
	有所見者割合(%) ※	14.2%	15.2%	15.3%

年度別 有所見者割合 (BMI)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

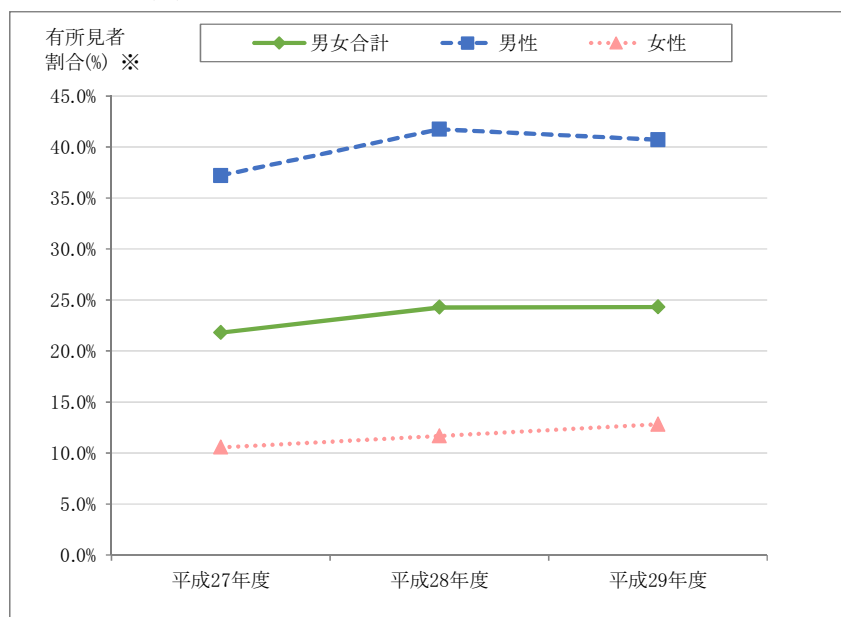
保健指導判定値により有所見を判定する。

BMI:25以上

### 年度別 有所見者割合(腹囲)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,608
	有所見者数(人) ※	293	344	391
	有所見者割合(%) ※	21.8%	24.3%	24.3%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	211	248	270
	有所見者割合(%) ※	37.2%	41.8%	40.7%
女性	対象者数(人) ※	777	823	945
	有所見者数(人) ※	82	96	121
	有所見者割合(%) ※	10.6%	11.7%	12.8%

### 年度別 有所見者割合(腹囲)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

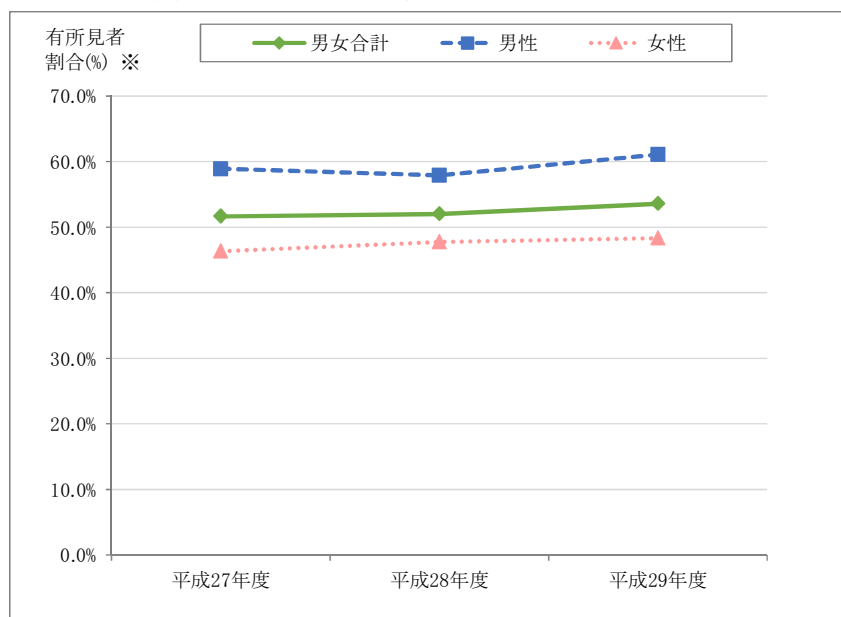
保健指導判定値により有所見を判定する。

腹囲:男性85cm以上、女性90cm以上

### 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	694	737	862
	有所見者割合(%) ※	51.6%	52.0%	53.6%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	334	344	405
	有所見者割合(%) ※	58.9%	57.9%	61.1%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	360	393	457
	有所見者割合(%) ※	46.3%	47.8%	48.3%

### 年度別 有所見者割合(収縮期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

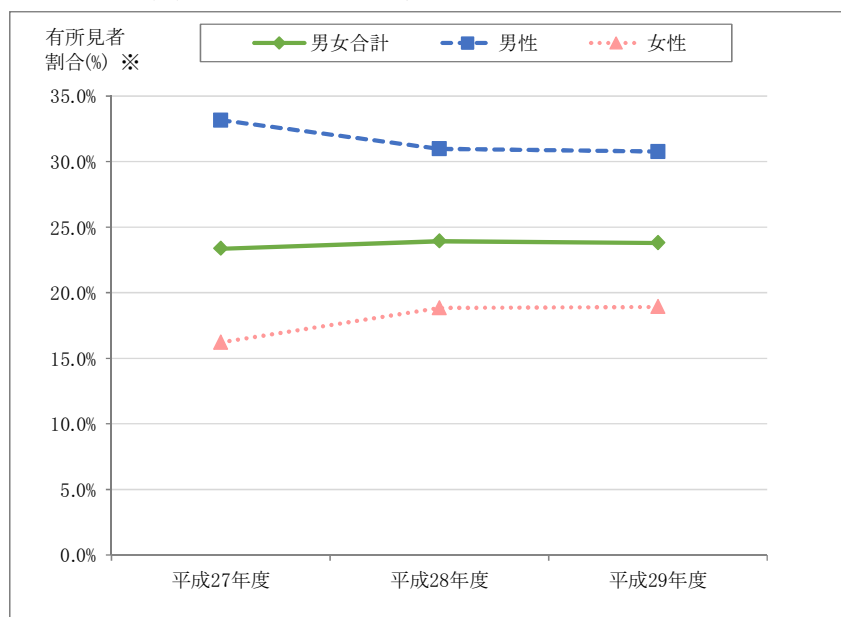
保健指導判定値により有所見を判定する。

収縮期血圧:130mmHg以上

### 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	314	339	383
	有所見者割合(%) ※	23.4%	23.9%	23.8%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	188	184	204
	有所見者割合(%) ※	33.2%	31.0%	30.8%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	126	155	179
	有所見者割合(%) ※	16.2%	18.8%	18.9%

### 年度別 有所見者割合(拡張期血圧)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

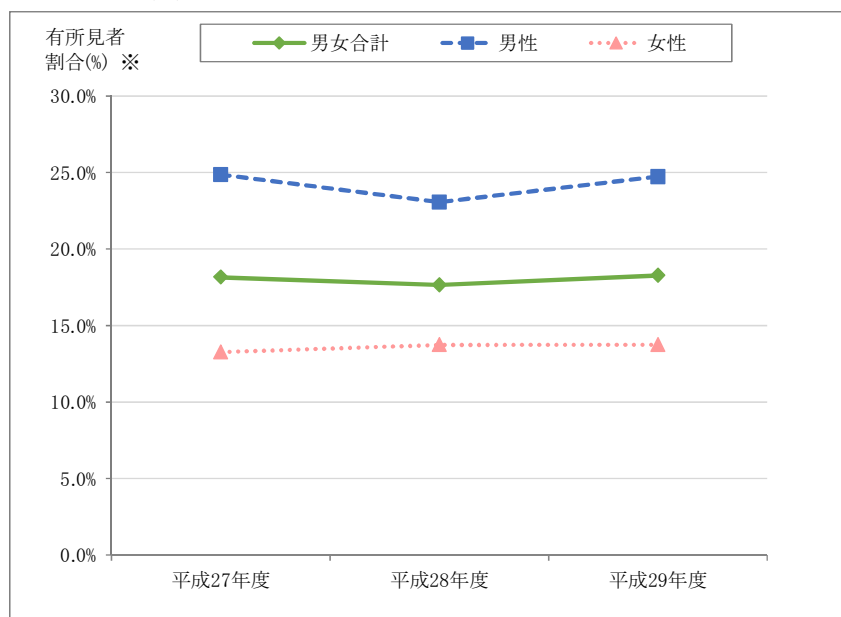
保健指導判定値により有所見を判定する。

拡張期血圧:85mmHg以上

### 年度別 有所見者割合(中性脂肪)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	244	250	294
	有所見者割合(%) ※	18.2%	17.6%	18.3%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	141	137	164
	有所見者割合(%) ※	24.9%	23.1%	24.7%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	103	113	130
	有所見者割合(%) ※	13.3%	13.7%	13.7%

### 年度別 有所見者割合(中性脂肪)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

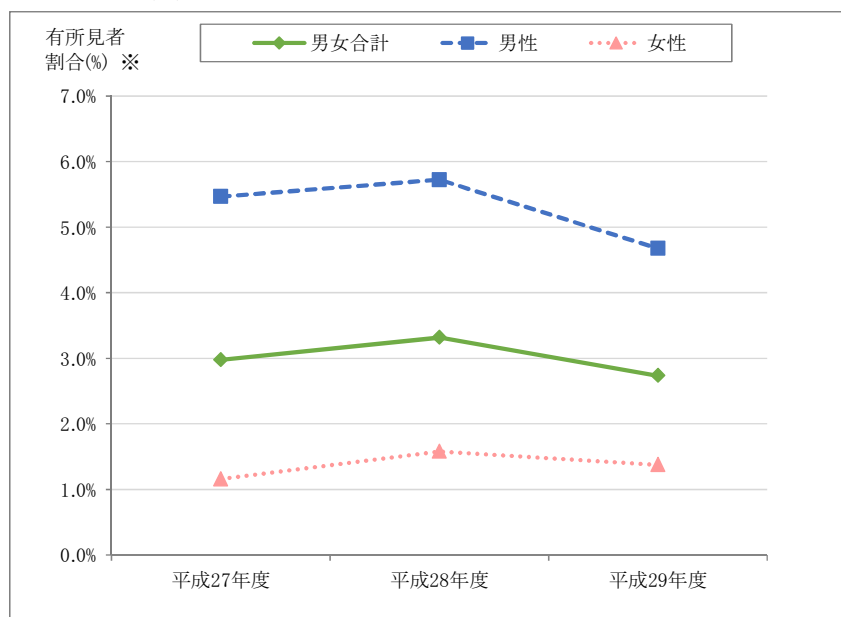
保健指導判定値により有所見を判定する。

中性脂肪:150mg/dl以上

### 年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	40	47	44
	有所見者割合(%) ※	3.0%	3.3%	2.7%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	31	34	31
	有所見者割合(%) ※	5.5%	5.7%	4.7%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	9	13	13
	有所見者割合(%) ※	1.2%	1.6%	1.4%

### 年度別 有所見者割合 (HDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

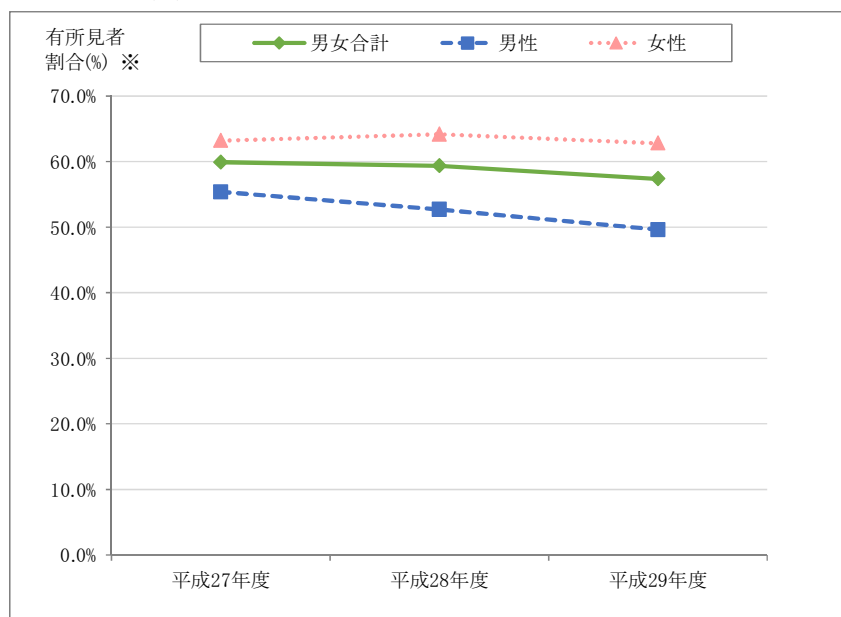
保健指導判定値により有所見を判定する。

HDLコレステロール:39mg/dl以下

### 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	有所見者数(人) ※	805	841	923
	有所見者割合(%) ※	59.9%	59.4%	57.4%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	314	313	329
	有所見者割合(%) ※	55.4%	52.7%	49.6%
女性	対象者数(人) ※	777	823	946
	有所見者数(人) ※	491	528	594
	有所見者割合(%) ※	63.2%	64.2%	62.8%

### 年度別 有所見者割合 (LDLコレステロール)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

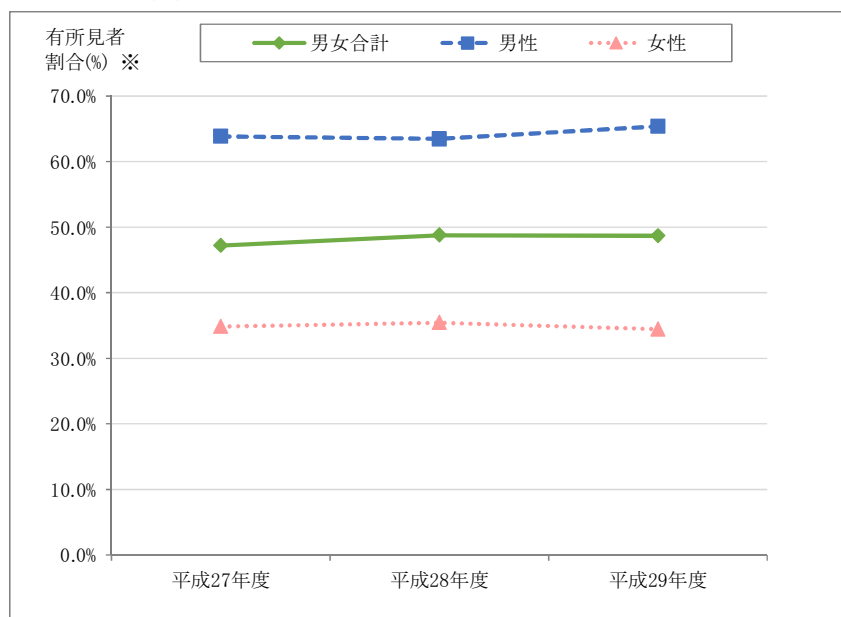
保健指導判定値により有所見を判定する。

LDLコレステロール:120mg/dl以上

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	195	242	226
	有所見者数(人) ※	92	118	110
	有所見者割合(%) ※	47.2%	48.8%	48.7%
男性	対象者数(人) ※	83	115	104
	有所見者数(人) ※	53	73	68
	有所見者割合(%) ※	63.9%	63.5%	65.4%
女性	対象者数(人) ※	112	127	122
	有所見者数(人) ※	39	45	42
	有所見者割合(%) ※	34.8%	35.4%	34.4%

### 年度別 有所見者割合(空腹時血糖)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

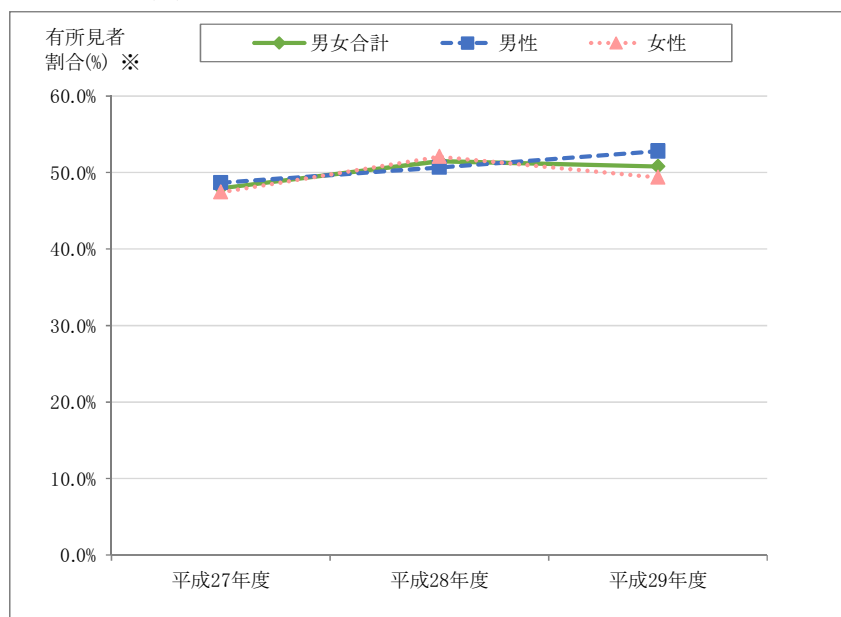
空腹時血糖値:100mg/dl以上



### 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	対象者数(人) ※	1,343	1,416	1,609
	有所見者数(人) ※	644	729	817
	有所見者割合(%) ※	48.0%	51.5%	50.8%
男性	対象者数(人) ※	567	594	663
	有所見者数(人) ※	276	301	350
	有所見者割合(%) ※	48.7%	50.7%	52.8%
女性	対象者数(人) ※	776	822	946
	有所見者数(人) ※	368	428	467
	有所見者割合(%) ※	47.4%	52.1%	49.4%

### 年度別 有所見者割合 (HbA1c (NGSP))



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※対象者数 …健診検査値が記録されている人数。

※有所見者数 …保健指導判定値を超えている人数。

※有所見者割合…健診検査値が記録されている人のうち、保健指導判定値を超えている人の割合。

保健指導判定値により有所見を判定する。

HbA1c (NGSP) : 5.6%以上

## 2. 質問別回答状況

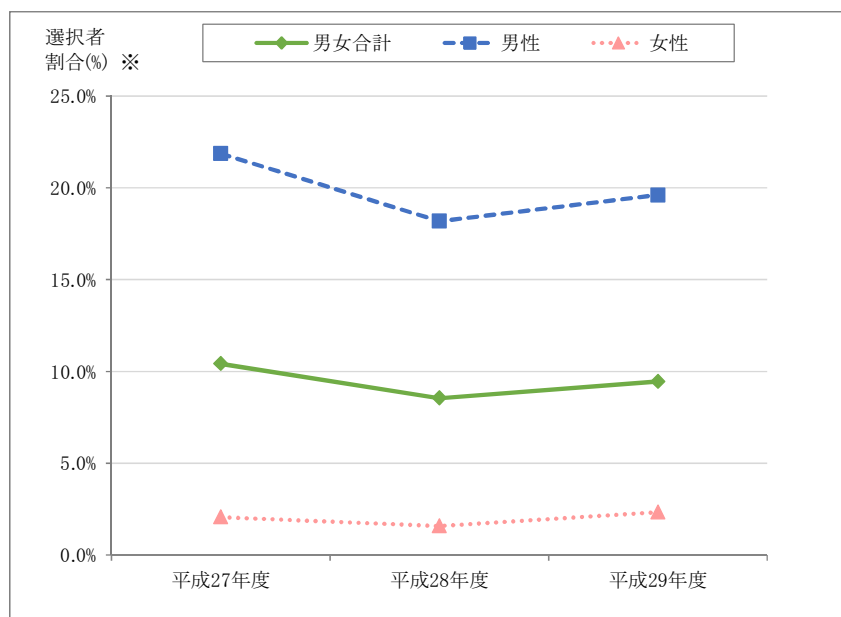
以下は、平成27年度から平成29年度の特定健康診査の質問票における喫煙習慣・運動習慣・食習慣・飲酒習慣・生活習慣に関する集計結果を年度別に示したものです。

### ①喫煙習慣

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	1,344	1,417	1,609
	選択者数(人) ※	140	121	152
	選択者割合(%) ※	10.4%	8.5%	9.4%
男性	質問回答者数(人) ※	567	594	663
	選択者数(人) ※	124	108	130
	選択者割合(%) ※	21.9%	18.2%	19.6%
女性	質問回答者数(人) ※	777	823	946
	選択者数(人) ※	16	13	22
	選択者割合(%) ※	2.1%	1.6%	2.3%

#### 年度別「喫煙あり」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…喫煙習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…喫煙習慣の質問に回答した人のうち、「喫煙あり」を選択した人の割合。

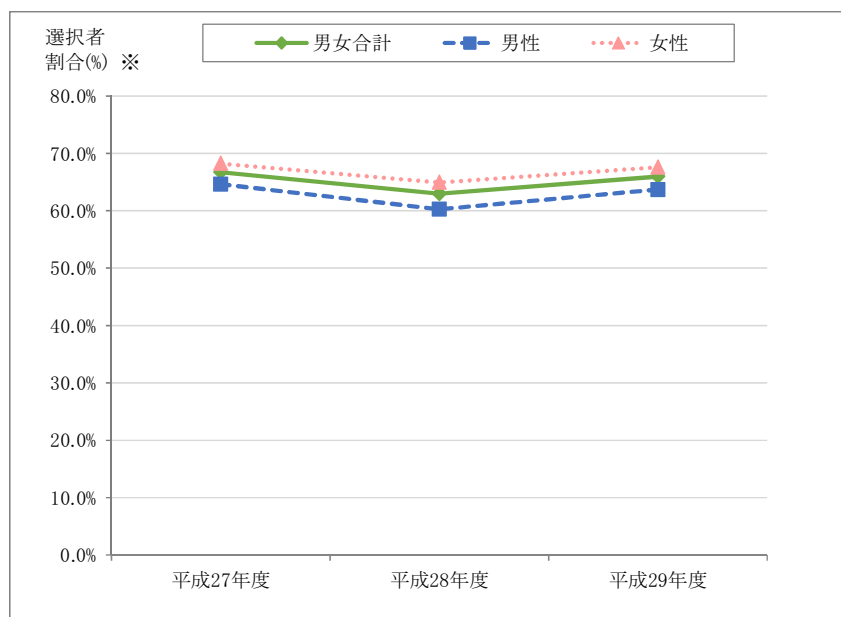
喫煙あり…「現在、たばこを習慣的に吸っている。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

## ②運動習慣

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	925	872	999
	選択者数(人) ※	617	549	659
	選択者割合(%) ※	66.7%	63.0%	66.0%
男性	質問回答者数(人) ※	390	370	416
	選択者数(人) ※	252	223	265
	選択者割合(%) ※	64.6%	60.3%	63.7%
女性	質問回答者数(人) ※	535	502	583
	選択者数(人) ※	365	326	394
	選択者割合(%) ※	68.2%	64.9%	67.6%

### 年度別「1回30分以上の運動習慣なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

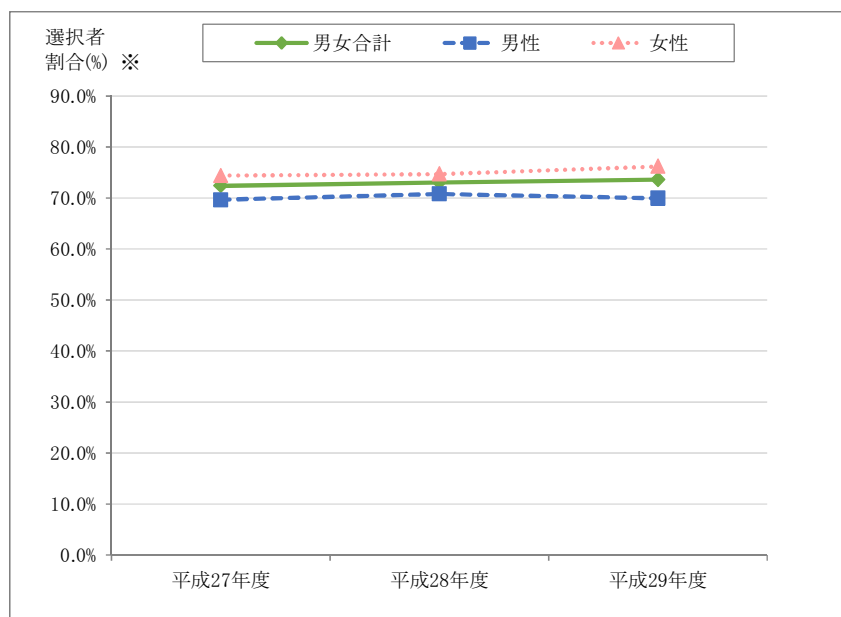
※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1回30分以上の運動習慣なし」を選択した人の割合。

1回30分以上の運動習慣なし…「1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上かつ1年以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	924	872	1,000
	選択者数(人) ※	669	637	736
	選択者割合(%) ※	72.4%	73.1%	73.6%
男性	質問回答者数(人) ※	389	370	416
	選択者数(人) ※	271	262	291
	選択者割合(%) ※	69.7%	70.8%	70.0%
女性	質問回答者数(人) ※	535	502	584
	選択者数(人) ※	398	375	445
	選択者割合(%) ※	74.4%	74.7%	76.2%

### 年度別「1日1時間以上の身体活動なし」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…運動習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…運動習慣の質問に回答した人のうち、「1日1時間以上の身体活動なし」を選択した人の割合。

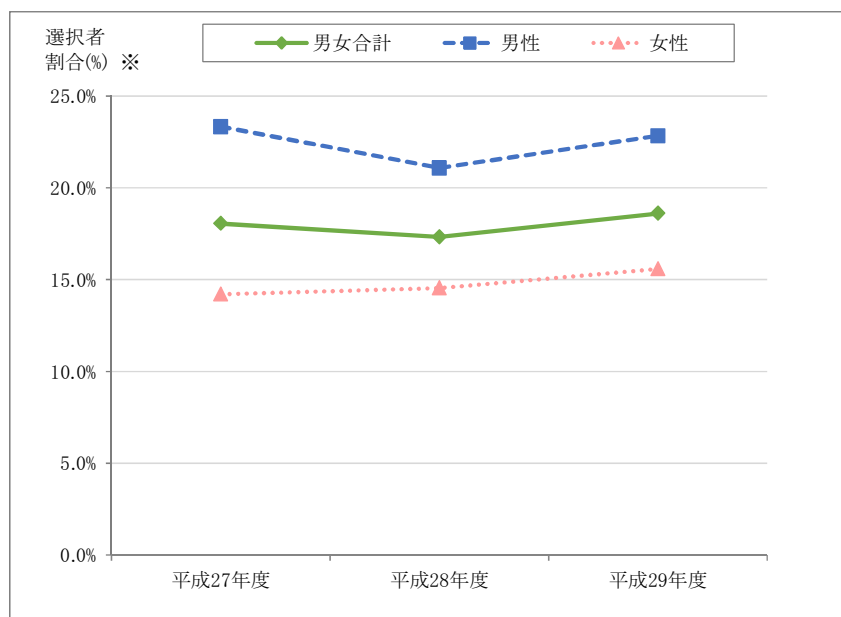
1日1時間以上の身体活動なし…「日常生活において歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施。」の質問に対し、「いいえ」の回答数を集計。

### ③食習慣

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	925	872	1,000
	選択者数(人) ※	167	151	186
	選択者割合(%) ※	18.1%	17.3%	18.6%
男性	質問回答者数(人) ※	390	370	416
	選択者数(人) ※	91	78	95
	選択者割合(%) ※	23.3%	21.1%	22.8%
女性	質問回答者数(人) ※	535	502	584
	選択者数(人) ※	76	73	91
	選択者割合(%) ※	14.2%	14.5%	15.6%

#### 年度別「週3回以上就寝前に夕食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

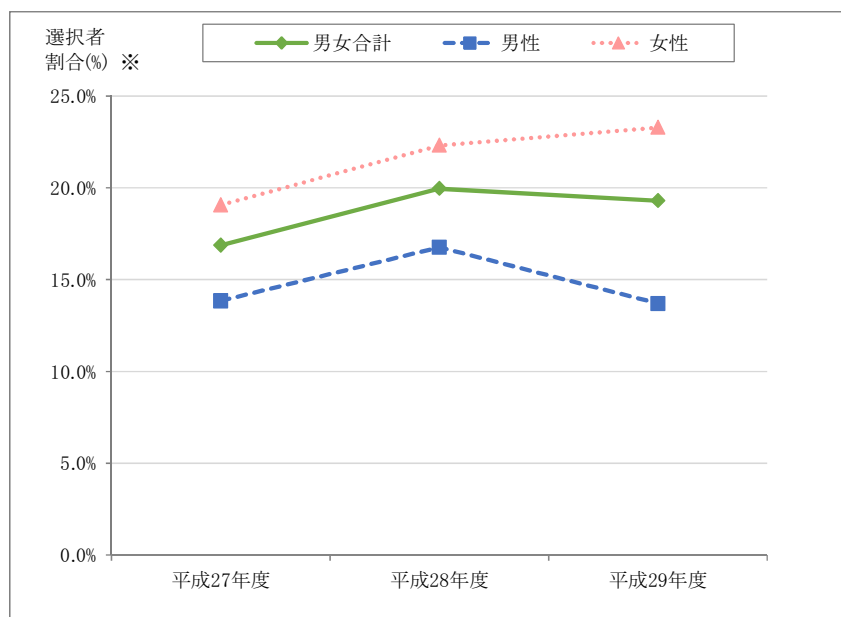
※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上就寝前に夕食」を選択した人の割合。

週3回以上就寝前に夕食…「就寝前の2時間以内に夕食をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

### 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況

		平成27年度	平成28年度	平成29年度
男女合計	質問回答者数(人) ※	925	872	1,000
	選択者数(人) ※	156	174	193
	選択者割合(%) ※	16.9%	20.0%	19.3%
男性	質問回答者数(人) ※	390	370	416
	選択者数(人) ※	54	62	57
	選択者割合(%) ※	13.8%	16.8%	13.7%
女性	質問回答者数(人) ※	535	502	584
	選択者数(人) ※	102	112	136
	選択者割合(%) ※	19.1%	22.3%	23.3%

### 年度別「週3回以上夕食後に間食」の回答状況



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…食習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…質問の選択肢を選択した人数。

※選択者割合…食習慣の質問に回答した人のうち、「週3回以上夕食後に間食」を選択した人の割合。

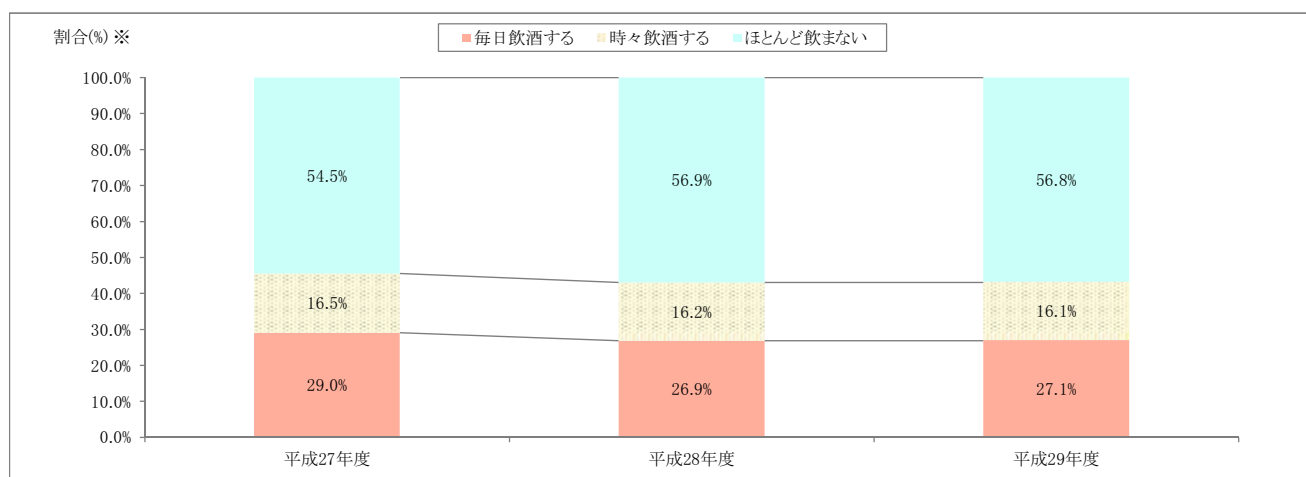
週3回以上夕食後に間食…「夕食後に間食(3食以外の夜食)をとることが週に3回以上ある。」の質問に対し、「はい」の回答数を集計。

#### ④飲酒習慣

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	1,265	367	29.0%	209	16.5%	689	54.5%
平成28年度	1,324	356	26.9%	214	16.2%	754	56.9%
平成29年度	1,482	401	27.1%	239	16.1%	842	56.8%

##### 年度別 飲酒頻度の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

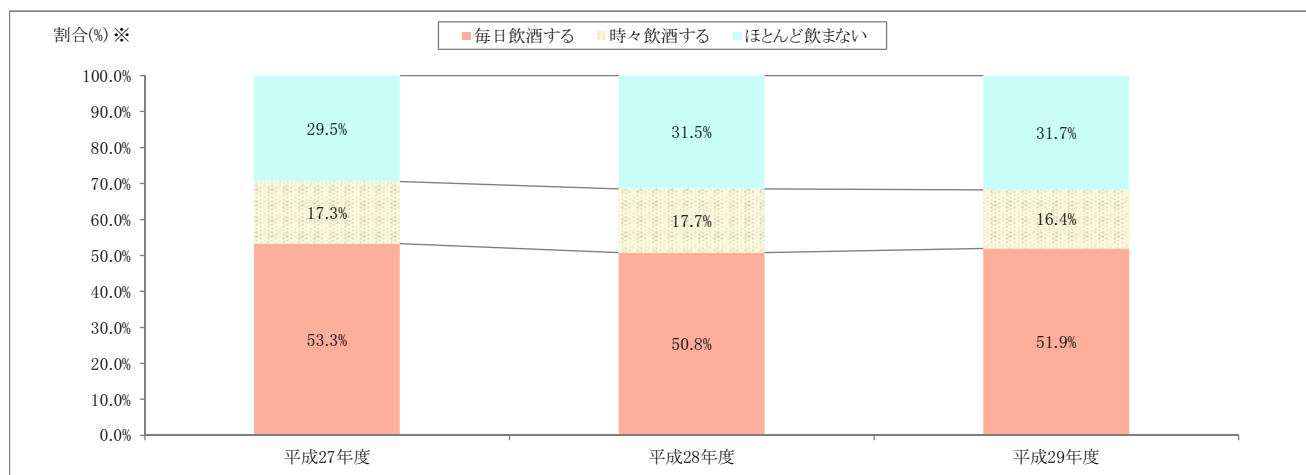
※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(清酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

### 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	533	284	53.3%	92	17.3%	157	29.5%
平成28年度	559	284	50.8%	99	17.7%	176	31.5%
平成29年度	605	314	51.9%	99	16.4%	192	31.7%

### 年度別 飲酒頻度の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数 …飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合 …飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

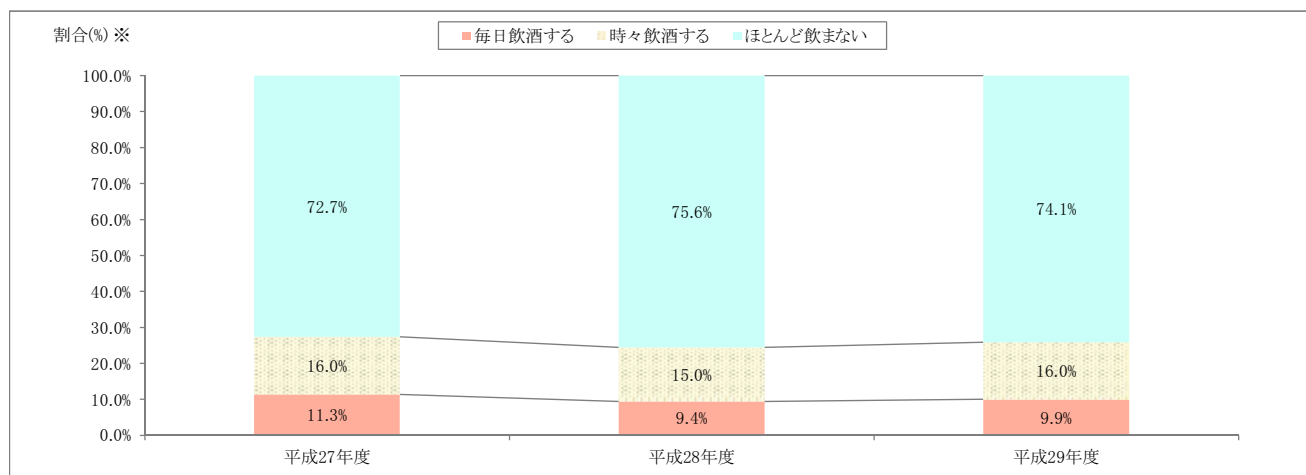
飲酒頻度…「お酒(清酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。



## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	毎日飲酒する		時々飲酒する		ほとんど飲まない	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	732	83	11.3%	117	16.0%	532	72.7%
平成28年度	765	72	9.4%	115	15.0%	578	75.6%
平成29年度	877	87	9.9%	140	16.0%	650	74.1%

## 年度別 飲酒頻度の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…飲酒習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…飲酒習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…飲酒習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

飲酒頻度…「お酒(清酒・焼酎・ビール・洋酒など)を飲む頻度」の質問に対する回答数を集計。

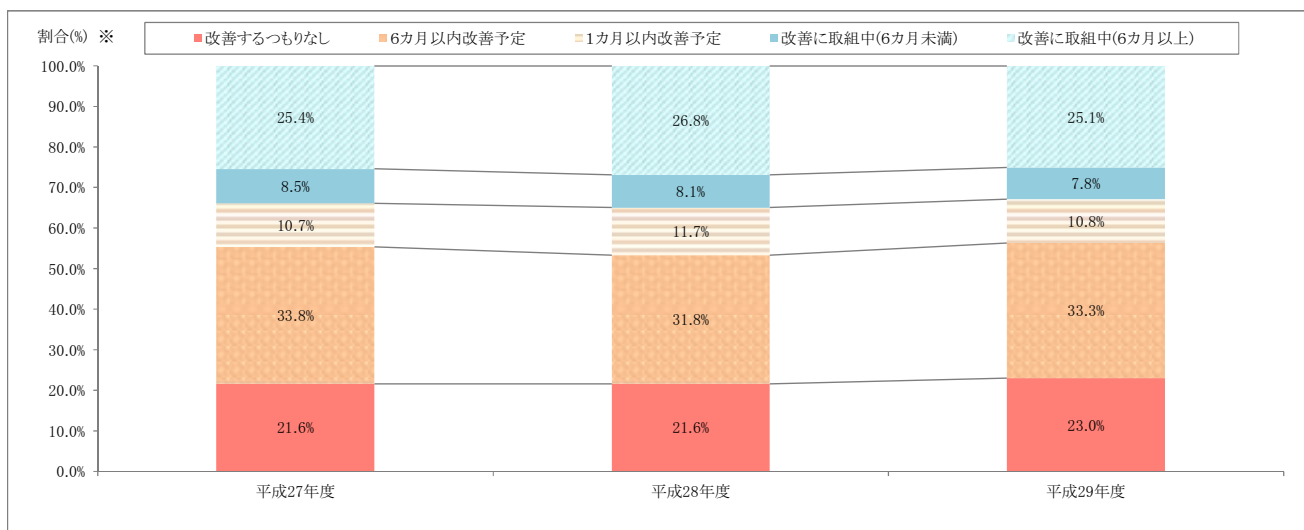
## ⑤生活習慣

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	921	199	21.6%	311	33.8%	99	10.7%
平成28年度	872	188	21.6%	277	31.8%	102	11.7%
平成29年度	1,000	230	23.0%	333	33.3%	108	10.8%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	921	78	8.5%	234	25.4%
平成28年度	872	71	8.1%	234	26.8%
平成29年度	1,000	78	7.8%	251	25.1%

### 年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(全体)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

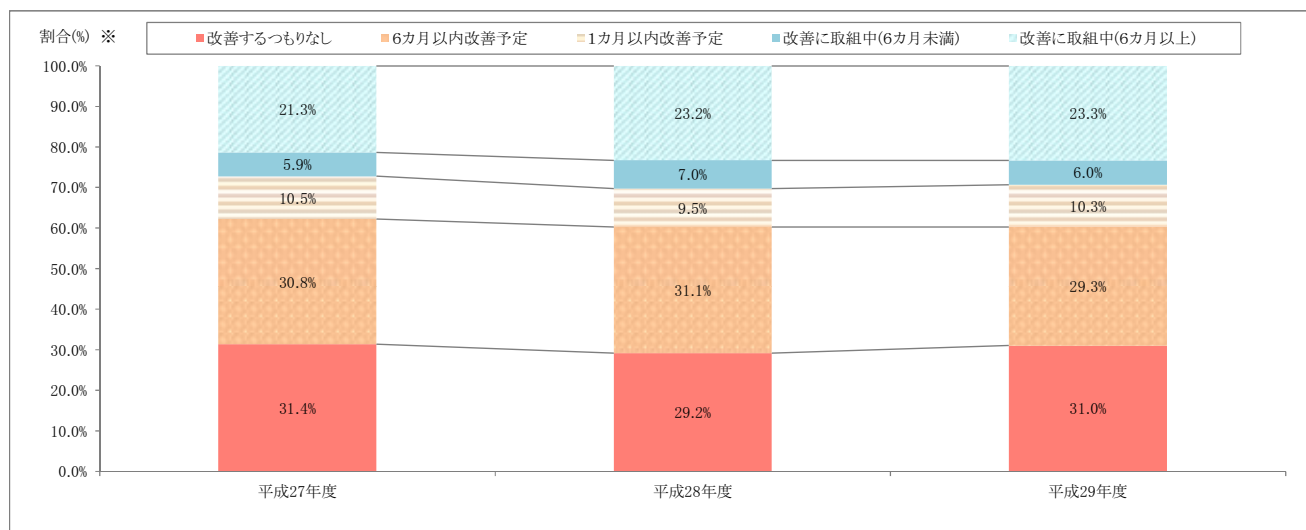
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	389	122	31.4%	120	30.8%	41	10.5%
平成28年度	370	108	29.2%	115	31.1%	35	9.5%
平成29年度	416	129	31.0%	122	29.3%	43	10.3%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	389	23	5.9%	83	21.3%
平成28年度	370	26	7.0%	86	23.2%
平成29年度	416	25	6.0%	97	23.3%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(男性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

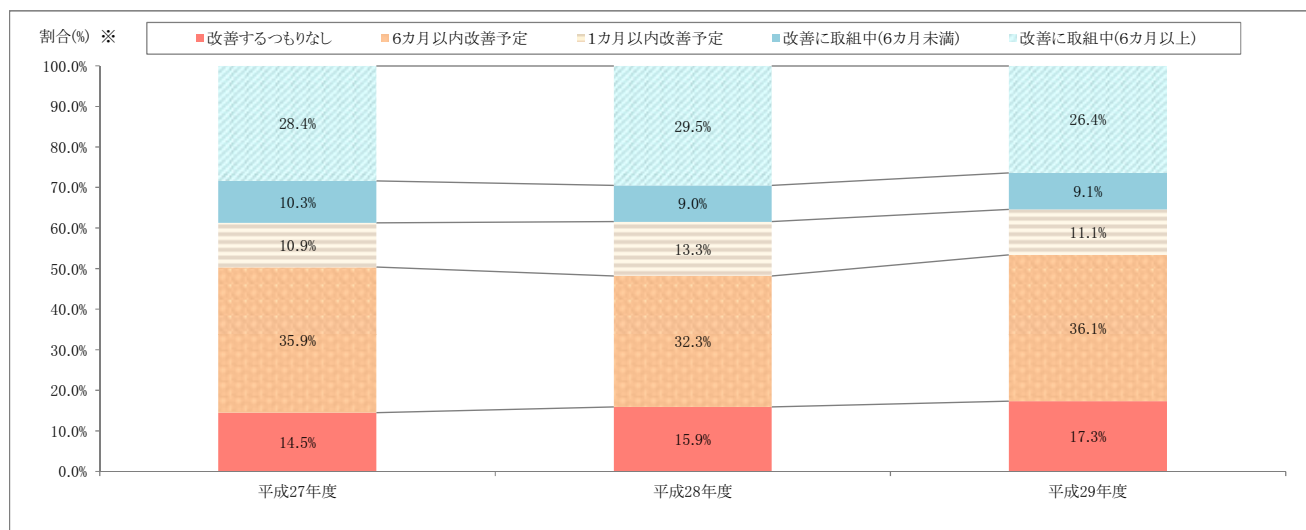
生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)

年度	質問回答者数(人) ※	改善するつもりなし		6カ月以内改善予定		1カ月以内改善予定	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	532	77	14.5%	191	35.9%	58	10.9%
平成28年度	502	80	15.9%	162	32.3%	67	13.3%
平成29年度	584	101	17.3%	211	36.1%	65	11.1%

年度	質問回答者数(人) ※	改善に取り組中(6カ月未満)		改善に取り組中(6カ月以上)	
		選択者数(人) ※	割合(%) ※	選択者数(人) ※	割合(%) ※
平成27年度	532	55	10.3%	151	28.4%
平成28年度	502	45	9.0%	148	29.5%
平成29年度	584	53	9.1%	154	26.4%

年度別 生活習慣の改善の意思の回答状況(女性)



データ化範囲(分析対象)…健康診査データは平成27年4月～平成30年3月健診分(36カ月分)。

資格確認日…各年度末時点。

※質問回答者数…生活習慣の質問に回答した人数。

※選択者数…生活習慣の選択肢を選択した人数。

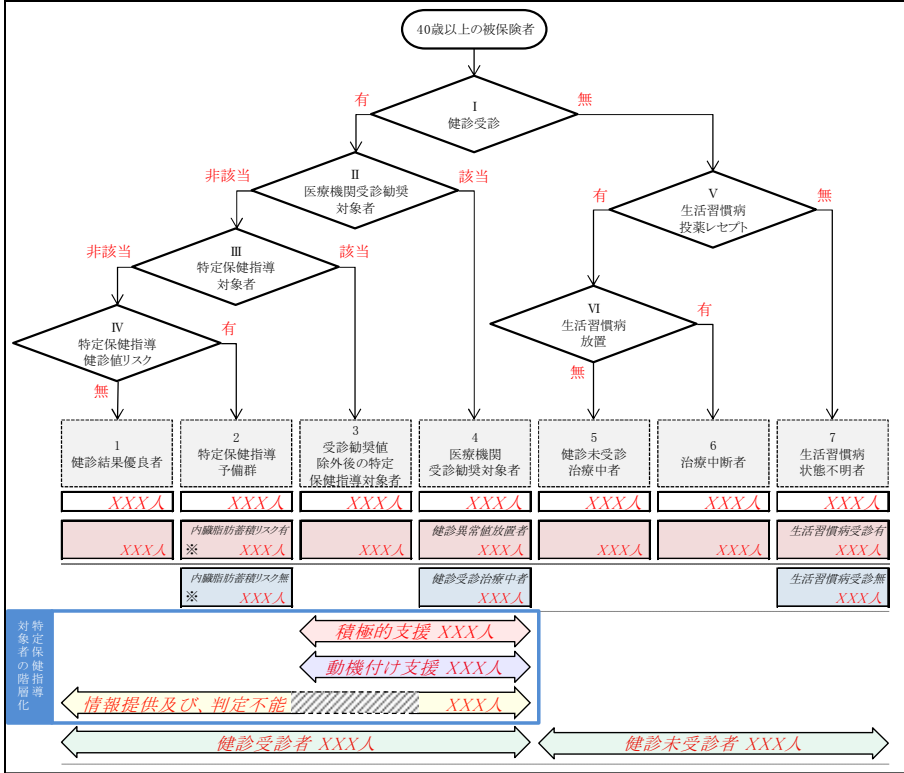
※割合…生活習慣の質問に回答した人のうち、各選択肢を選択した人の割合。

生活習慣の改善の意思…「運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いますか。」の質問に対する回答数を集計。

# 巻末資料

## 1. 「指導対象者群分析」のグループ分けの見方

### 健康診査及びレセプトによる指導対象者群分析



#### 【フロー説明】

- I 健診受診 … 健診受診の有無を判定。
- II 医療機関受診勧奨対象者 … 健診値(血糖、血圧、脂質)のいずれかが、厚生労働省が定めた受診勧奨判定値を超えて受診勧奨対象者に該当するか判定。
- III 特定保健指導対象者 … 厚生労働省が定めた「標準的な健診・保健指導プログラム【改訂版】」に沿って、特定保健指導対象者に該当するか判定。
- IV 特定保健指導健診値リスク … 厚生労働省が定めた保健指導判定値により、健診値(血糖、血圧、脂質)のリスクの有無を判定。判定に喫煙は含めない。
- V 生活習慣病投薬レセプト … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)に関する、投薬の有無を判定。
- VI 生活習慣病放置 … 生活習慣病(糖尿病、高血圧症、脂質異常症)を治療している患者で、一定期間の受診状況により生活習慣病放置の有無を判定。

#### 【グループ別説明】

##### 健診受診あり

1. 健診結果優良者 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しない者。
2. 特定保健指導予備群 … 保健指導判定値(血糖、血圧、脂質)に該当しているが、その他の条件(服薬有り等)により保健指導対象者でない者。  
 内臓脂肪蓄積リスク有 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、服薬が有るため特定保健指導対象者にならなかった者。  
 内臓脂肪蓄積リスク無 … 「2. 特定保健指導予備群」のうち、内臓脂肪蓄積リスク(腹囲・BMI)がないため特定保健指導対象者にならなかった者。
3. 受診勧奨値除外後の特定保健指導対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当していない特定保健指導対象者。
4. 医療機関受診勧奨対象者 … 受診勧奨判定値(血糖、血圧、脂質)に該当する者。  
 健診異常値放置者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がない者。  
 健診受診治療中者 … 「4. 医療機関受診勧奨対象者」のうち、健診受診後に生活習慣病に関する医療機関受診がある者。または健診受診後生活習慣病に関する医療機関受診はないが、健診受診後間もないため医療機関受診の意志がない「健診異常値放置者」と判断できない者。

##### 健診受診なし

5. 健診未受診治療中者 … 生活習慣病治療中の者。
6. 治療中断者 … 過去に生活習慣病の治療をしていたが、生活習慣病に関する医療機関受診が一定期間ない者。
7. 生活習慣病の投薬治療をしていない者 … 生活習慣病の投薬治療をしていない者。  
 生活習慣病受診有 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がある者。  
 生活習慣病受診無 … 「7. 生活習慣病状態不明者」のうち、生活習慣病に関する医療機関受診がない者。

## 2. 用語解説集

	用語	説明
ア 行	HDLコレステロール	余分なコレステロールを回収して肝臓に運び、動脈硬化を抑える。善玉コレステロール。
	LDLコレステロール	肝臓で作られたコレステロールを全身へ運ぶ役割を担っており、増えすぎると動脈硬化を起こして心筋梗塞や脳梗塞を発症させる。悪玉コレステロール。
カ 行	空腹時血糖	空腹時に血液中にあるブドウ糖の量を示している。検査値が高いと糖尿病の疑いがある。
	血圧(収縮期・拡張期)	血管にかかる圧力のこと。心臓が血液を送り出すときに示す最大血圧を収縮期血圧、全身から戻った血液が心臓にたまっているときに示す最小血圧を拡張期血圧という。
	高齢化率	65歳以上の高齢者が総人口に占める割合。
サ 行	ジェネリック医薬品	先発医薬品と治療学的に同等であるものとして製造販売が承認され、一般的に研究開発に要する費用が低く抑えられることから、先発医薬品に比べて薬価が安い医薬品。
	疾病分類	「疾病、傷害及び死因の統計分類」の「ICD-10(2013年版)準拠 疾病分類表」を使用。
	腎不全	腎臓の機能が低下し、老廃物を十分排泄できなくなったり、体内に不要なものや体にとって有害なものがたまっている状態。
	積極的支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクがより高い者に対して行われる保健指導。「動機付け支援」の内容に加え、対象者が主体的に生活習慣の改善を継続できるよう、面接、電話等を用いて、3カ月以上の定期的・継続的な支援を行う。
タ 行	中性脂肪	体を動かすエネルギー源となる物質であるが、蓄積することにより、肥満の原因になる。
	動機付け支援	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高い者に対して行われる保健指導。医師・保健師・管理栄養士等による個別、またはグループ面接により、対象者に合わせた行動計画の策定と保健指導が行われる。初回の保健指導終了後、対象者は行動計画を実践し、3カ月経過後に面接、電話等で結果の確認と評価を行う。
	特定健康診査	平成20年4月から開始された、生活習慣予防のためのメタボリックシンドロームに着目した健康診査のこと。特定健診。40歳～74歳の医療保険加入者を対象とする。
	特定保健指導	特定健康診査の結果により、生活習慣病の発症リスクが高く、生活改善により生活習慣病の予防効果が期待できる人に対して行う保健指導のこと。特定保健指導対象者の選定方法により「動機付け支援」「積極的支援」に該当した人に対し実施される。
ナ 行	日本再興戦略	日本産業再興プラン・戦略市場創造プラン・国際展開戦略の3つのアクションプランを軸とする。データヘルス計画に関する内容は、戦略市場創造プランの【テーマ1：国民の「健康寿命」の延伸】の中に「予防・健康管理の推進に関する新たな仕組みづくり」の一つとして示されている。
ハ 行	HbA1c	ブドウ糖と血液中のヘモグロビンが結びついたもので、過去1～2カ月の平均的な血糖の状態を示す検査に使用される。
マ 行	メタボリックシンドローム	内臓脂肪型肥満に高血圧、高血糖、脂質代謝異常が組み合わさり、心臓病や脳卒中などの動脈硬化性疾患を招きやすい状態。内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に加えて、血圧・血糖・脂質の基準のうち2つ以上に該当する状態を「メタボリックシンドローム」、1つのみ該当する状態を「メタボリックシンドローム予備群」という。
ヤ 行	有所見	検査の結果、何らかの異常(検査基準値を上回っている等)が認められたことをいう。
ラ 行	レセプト	診療報酬請求明細書の通称。

### 3. 疾病分類表(2013年版)

コード	疾病分類	主な疾病		
<b>I. 感染症及び寄生虫症</b>				
0101	腸管感染症	下痢症	急性胃腸炎	感染性胃腸炎
0102	結核	肺結核	結核性胸膜炎	潜在性結核感染症
0103	主として性的伝播様式をとる感染症	梅毒	クラミジア頸管炎	淋病
0104	皮膚及び粘膜の病変を伴うウイルス性疾患	尋常性疣贅	帯状疱疹	単純ヘルペス
0105	ウイルス性肝炎	B型肝炎	C型肝炎	C型慢性肝炎
0106	その他のウイルス性疾患	アデノウイルス感染症	流行性角結膜炎	RSウイルス感染症
0107	真菌症	足白癬	皮膚カンジダ症	爪白癬
0108	感染症及び寄生虫症の続発・後遺症	陳旧性肺結核	肺結核後遺症	小児麻痺後遺症
0109	その他の感染症及び寄生虫症	ヘリコバクター・ピロリ感染症	溶連菌感染症	敗血症
<b>II. 新生物&lt;腫瘍&gt;</b>				
0201	胃の悪性新生物<腫瘍>	胃癌	早期胃癌	胃体部癌
0202	結腸の悪性新生物<腫瘍>	大腸癌	S状結腸癌	上行結腸癌
0203	直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物<腫瘍>	直腸癌	直腸S状部結腸癌	直腸癌術後再発
0204	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍>	肝癌	肝細胞癌	原発性肝癌
0205	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	肺癌	上葉肺癌	下葉肺癌
0206	乳房の悪性新生物<腫瘍>	乳癌	乳房上外側部乳癌	乳癌再発
0207	子宮の悪性新生物<腫瘍>	子宮体癌	子宮頸癌	子宮癌
0208	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫	非ホジキンリンパ腫	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫
0209	白血病	成人T細胞白血病リンパ腫	白血病	慢性骨髄性白血病
0210	その他の悪性新生物<腫瘍>	前立腺癌	膝癌	膀胱癌
0211	良性新生物<腫瘍>及びその他の新生物<腫瘍>	子宮筋腫	脳腫瘍	肺腫瘍
<b>III. 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害</b>				
0301	貧血	鉄欠乏性貧血	貧血	巨赤芽球性貧血
0302	その他の血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	播種性血管内凝固	血液凝固異常	血小板減少症
<b>IV. 内分泌、栄養及び代謝疾患</b>				
0401	甲状腺障害	甲状腺機能低下症	甲状腺機能亢進症	甲状腺腫
0402	糖尿病	糖尿病	2型糖尿病	糖尿病網膜症
0403	脂質異常症	高脂血症	高コレステロール血症	脂質異常症
0404	その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	脱水症	高尿酸血症	卵巣機能不全
<b>V. 精神及び行動の障害</b>				
0501	血管性及び詳細不明の認知症	認知症	血管性認知症	老年精神病
0502	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	ニコチン依存症	アルコール依存症	急性アルコール中毒
0503	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	統合失調症	統合失調症様状態	幻覚妄想状態
0504	気分〔感情〕障害（躁うつ病を含む）	うつ病	うつ状態	躁うつ病
0505	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	不安神経症	神経症	心身症
0506	知的障害<精神遅滞>	知的障害	軽度知的障害	重度知的障害
0507	その他の精神及び行動の障害	摂食障害	器質性精神障害	せん妄

コード	疾病分類	主な疾病		
VI. 神経系の疾患				
0601	パーキンソン病	パーキンソン症候群	パーキンソン病	パーキンソン病Yahr3
0602	アルツハイマー病	アルツハイマー型認知症	アルツハイマー病	アルツハイマー型老年認知症
0603	てんかん	てんかん	症候性てんかん	精神運動発作
0604	脳性麻痺及びその他の麻痺性症候群	片麻痺	脳性麻痺	不全麻痺
0605	自律神経系の障害	自律神経失調症	神経調節性失神	自律神経障害
0606	その他の神経系の疾患	不眠症	片頭痛	睡眠時無呼吸症候群
VII. 眼及び付属器の疾患				
0701	結膜炎	アレルギー性結膜炎	結膜炎	慢性結膜炎
0702	白内障	白内障	加齢性白内障	後発白内障
0703	屈折及び調節の障害	近視性乱視	遠視性乱視	老視
0704	その他の眼及び付属器の疾患	ドライアイ	緑内障	眼精疲労
VIII. 耳及び乳様突起の疾患				
0801	外耳炎	外耳炎	外耳湿疹	急性外耳炎
0802	その他の外耳疾患	耳垢栓塞	耳介軟骨膜炎	耳瘻孔
0803	中耳炎	滲出性中耳炎	急性中耳炎	中耳炎
0804	その他の中耳及び乳様突起の疾患	耳管狭窄症	耳管機能低下	真珠腫性中耳炎
0805	メニエール病	メニエール病	メニエール症候群	内耳性めまい
0806	その他の内耳疾患	良性発作性頭位めまい症	末梢性めまい症	耳性めまい
0807	その他の耳疾患	感音難聴	難聴	耳鳴症
IX. 循環器系の疾患				
0901	高血圧性疾患	高血圧症	本態性高血圧症	高血圧性心疾患
0902	虚血性心疾患	狭心症	急性心筋梗塞	心筋梗塞
0903	その他の心疾患	心不全	不整脈	慢性心不全
0904	くも膜下出血	くも膜下出血	くも膜下出血後遺症	脳動脈瘤破裂
0905	脳内出血	脳出血	脳出血後遺症	視床出血
0906	脳梗塞	脳梗塞	脳梗塞後遺症	多発性脳梗塞
0907	脳動脈硬化（症）	脳動脈硬化症	動脈硬化性脳症	
0908	その他の脳血管疾患	内頸動脈狭窄症	頸動脈硬化症	脳血管障害
0909	動脈硬化（症）	閉塞性動脈硬化症	動脈硬化症	動脈硬化性網膜症
0911	低血圧（症）	起立性低血圧症	低血圧症	起立性調節障害
0912	その他の循環器系の疾患	深部静脈血栓症	末梢循環障害	慢性動脈閉塞症
X. 呼吸器系の疾患				
1001	急性鼻咽頭炎 [かぜ] <感冒>	感冒	急性鼻炎	急性鼻咽頭炎
1002	急性咽頭炎及び急性扁桃炎	咽頭炎	急性咽頭炎	扁桃炎
1003	その他の急性上気道感染症	急性上気道炎	急性咽頭喉頭炎	急性副鼻腔炎
1004	肺炎	肺炎	急性肺炎	マイコプラズマ肺炎
1005	急性気管支炎及び急性細気管支炎	急性気管支炎	マイコプラズマ気管支炎	クループ性気管支炎



コード	疾病分類	主な疾病		
1006	アレルギー性鼻炎	アレルギー性鼻炎	花粉症	季節性アレルギー性鼻炎
1007	慢性副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎	副鼻腔炎	慢性副鼻腔炎急性増悪
1008	急性又は慢性と明示されない気管支炎	気管支炎	気管気管支炎	びまん性気管支炎
1009	慢性閉塞性肺疾患	慢性気管支炎	肺気腫	慢性閉塞性肺疾患
1010	喘息	気管支喘息	喘息性気管支炎	気管支喘息発作
1011	その他の呼吸器系の疾患	インフルエンザ	呼吸不全	誤嚥性肺炎
X I. 消化器系の疾患				
1101	う蝕	う蝕	二次う蝕	う蝕第2度
1102	歯肉炎及び歯周疾患	歯周炎	歯肉炎	歯冠周囲炎
1103	その他の歯及び歯の支持組織の障害	顎関節症	歯痛	顎関節炎
1104	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍	胃潰瘍	十二指腸潰瘍	出血性胃潰瘍
1105	胃炎及び十二指腸炎	慢性胃炎	胃炎	急性胃炎
1106	痔核	内痔核	痔核	外痔核
1107	アルコール性肝疾患	アルコール性肝障害	アルコール性肝炎	アルコール性肝硬変
1108	慢性肝炎（アルコール性のものを除く）	慢性肝炎	活動性慢性肝炎	慢性肝炎増悪
1109	肝硬変（アルコール性のものを除く）	肝硬変症	原発性胆汁性肝硬変	非代償性肝硬変
1110	その他の肝疾患	肝機能障害	脂肪肝	肝障害
1111	胆石症及び胆のう炎	胆のう結石症	胆のう炎	総胆管結石
1112	膵疾患	膵炎	急性膵炎	慢性膵炎
1113	その他の消化器系の疾患	便秘症	逆流性食道炎	口内炎
X II. 皮膚及び皮下組織の疾患				
1201	皮膚及び皮下組織の感染症	皮膚感染症	蜂窩織炎	膿痂疹性湿疹
1202	皮膚炎及び湿疹	湿疹	皮膚炎	アトピー性皮膚炎
1203	その他の皮膚及び皮下組織の疾患	皮脂欠乏症	皮脂欠乏性湿疹	じんま疹
X III. 筋骨格系及び結合組織の疾患				
1301	炎症性多発性関節障害	関節リウマチ	痛風	関節炎
1302	関節症	変形性膝関節症	変形性関節症	変形性股関節症
1303	脊椎障害（脊椎症を含む）	腰部脊柱管狭窄症	変形性腰椎症	頸椎症
1304	椎間板障害	腰椎椎間板症	腰椎椎間板ヘルニア	頸椎椎間板ヘルニア
1305	頸腕症候群	頸肩腕症候群	頸肩腕障害	
1306	腰痛症及び坐骨神経痛	腰痛症	坐骨神経痛	筋筋膜性腰痛症
1307	その他の脊柱障害	腰椎すべり症	背部痛	頸部痛
1308	肩の傷害<損傷>	肩関節周囲炎	肩関節腱板炎	肩石灰性腱炎
1309	骨の密度及び構造の障害	骨粗鬆症	閉経後骨粗鬆症	脊椎骨粗鬆症
1310	その他の筋骨格系及び結合組織の疾患	筋肉痛	神経痛	関節痛
X IV. 腎尿路生殖器系の疾患				
1401	糸球体疾患及び腎尿管間質性疾患	腎炎	腎盂腎炎	水腎症
1402	腎不全	慢性腎不全	腎性貧血	腎不全

コード	疾病分類	主な疾病		
1403	尿路結石症	腎結石症	尿管結石症	尿路結石症
1404	その他の腎尿路系の疾患	膀胱炎	腎機能低下	尿路感染症
1405	前立腺肥大（症）	前立腺肥大症	前立腺症	
1406	その他の男性生殖器の疾患	慢性前立腺炎	前立腺炎	亀頭包皮炎
1407	月経障害及び閉経周辺期障害	更年期症候群	月経困難症	萎縮性膣炎
1408	乳房及びその他の女性生殖器の疾患	子宮腔部びらん	細菌性膣炎	膣炎
X V. 妊娠, 分娩及び産じょく				
1501	流産	稽留流産	異所性妊娠	絨毛性疾患
1502	妊娠高血圧症候群	妊娠高血圧症候群	重症妊娠高血圧症候群	子癇
1503	単胎自然分娩	自然頭位分娩	自然分娩	単胎自然分娩
1504	その他の妊娠, 分娩及び産じょく	切迫流産	子宮内感染症	血液型不適合
X VI. 周産期に発生した病態				
1601	妊娠及び胎児発育に関連する障害	子宮内胎児発育遅延	低出生体重児	早産児
1602	その他の周産期に発生した病態	新生児黄疸	胎児ジストレス	A B O因子不適合
X VII. 先天奇形, 変形及び染色体異常				
1701	心臓の先天奇形	心房中隔欠損症	心室中隔欠損症	先天性心疾患
1702	その他の先天奇形, 変形及び染色体異常	足底角化症	角皮症	毛孔性苔癬
X VIII. 症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの				
1800	症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	頭痛	嘔吐症	めまい症
X IX. 損傷, 中毒及びその他の外因の影響				
1901	骨折	腰椎圧迫骨折	肋骨骨折	大腿骨頸部骨折
1902	頭蓋内損傷及び内臓の損傷	脳挫傷	外傷性脳出血	硬膜下血腫
1903	熱傷及び腐食	熱傷	第2度熱傷	手熱傷
1904	中毒	刺虫症	蜂刺症	食中毒
1905	その他の損傷及びその他の外因の影響	打撲傷	結膜異物	捻挫
X X I. 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用				
2101	検査及び診査のための保健サービスの利用者	検診	健康診断	胃癌検診
2102	予防接種	予防接種		
2103	正常妊娠及び産じょくの管理並びに家族計画	妊娠	正常妊娠	多産婦
2104	歯の補てつ			
2105	特定の処置（歯の補てつを除く）及び保健ケアのための保健サービスの利用者	抜釘	気管切開口に対する手当て	骨髄移植ドナー
2106	その他の理由による保健サービスの利用者	白内障術後	ペースメーカー植え込み後	人工股関節置換術後
X X II. 特殊目的用コード				
2210	重症急性呼吸器症候群 [SARS]	重症急性呼吸器症候群		
2220	その他の特殊目的用コード			
分類外				
9999	分類外	ICD-10及び疾病分類に該当のない疾病		

## 4. 分析方法

データベースの作成方法及び分析方法は、株式会社データホライゾンの特許技術及び独自技術を用います。

### ●医療費分解技術(特許第4312757号)

レセプトに記載されたすべての傷病名と診療行為(医薬品、検査、手術、処置、指導料等)を正しく結び付け、傷病名毎の医療費を算出します。

レセプトは傷病名毎に点数が振り分けられておらず、通常の統計資料は主傷病名で点数集計されています。そのまま分析に使用すると「傷病名毎の医療費が把握できない」「現在治療中の疾病が把握できない」等の問題があります。ここでは、株式会社データホライゾンにおいて開発した、傷病名毎に診療行為を点数分解し、グループ化する技術を用いて医療費の集計を行います。

### ●未コード化傷病名のコード化

レセプトに記載されている未コード化傷病名を、可能な限りコード化します。

レセプトは請求情報のため、傷病名が正確でない場合があります。現状10%程度の未コード化傷病名が含まれています。この問題を解決するため、マスタとの突合検索処理を行い、可能な限りコード化を行います。

#### 医科レセプト

傷病名	(1) 本態性高血圧(主)			
		(2) 狭心症	(3) うつ病	(4) 高コレステロール血症
	(6) 急性上気道炎	(7) アレルギー性鼻炎		
12 再診 時 明 外	調剤レセプト			
60 糖 Hb 外 B- 尿- 外 血 生	No.	医薬品名・規格・用量・剤形・用法	単位 薬剤科点	数量
	1	ブラビックス錠75mg	1錠	28
		カルネート錠2.5mg カデュエット配合錠4番 トラゼンタ錠5mg	1錠 1錠 1錠	
		グリメビリド錠1mg「NP」 【内服】1日1回朝食後服用	1錠	
80 短 一 長	2	ニコランマート錠5mg 【内服】1日3回食後服用	3錠	2 28
	3	エチカーム錠0.5mg 【内服】1日1回就寝前服用	2錠	1 28
	4	スルピリド錠50mg「アメル」 エバデールS900 900mg 安全性のため別包 【内服】1日2回朝夕食後服用	2錠 2包	27 28
決定点数			2,688	

#### ①未コード化傷病名のコード化

未コード化傷病名を株式会社データホライゾン独自の辞書情報と突合検索処理しコード化します。

医科レセプトの記載	コード化
(1) 本態性高血圧(主)	未コード化傷病名 ⇒ 8840107 本態性高血圧症
(2) 狭心症	4139007 狭心症
(3) うつ病	2961003 うつ病
(4) 高コレステロール血症	2720004 高コレステロール血症
(5) 2型糖尿病	2500015 2型糖尿病
(6) 急性上気道炎	4659007 急性上気道炎
(7) アレルギー性鼻炎	4779004 アレルギー性鼻炎

#### ②医療費分解後グルーピング

レセプトに記載された全傷病名に対し、適応のある医薬品や診療行為を関連付け、医療費を分解後、傷病ごとにグルーピングします。

医科レセプトの記載	薬品	検査	診療行為	合計点数
(1) 本態性高血圧症(主)	184.3	25.2	266.5	476.0
(2) 狭心症	963.6	4.7	61.0	1,029.3
(3) うつ病	63.7	0.3	11.0	75.0
(4) 高コレステロール血症	858.1	4.1	57.2	919.4
(5) 2型糖尿病	618.3	356.7	61.3	1,036.3
(6) 急性上気道炎	0.0	0.0	0.0	0.0
(7) アレルギー性鼻炎	0.0	0.0	0.0	0.0
合計				3,536.0

### ●傷病管理システム(特許第5203481号)

レセプトに記載されている傷病識別情報、医薬品識別情報及び診療行為識別情報に基づき、傷病の重症度を判定します。

例えば糖尿病の重症度を判定することで、将来の重症化予測や特定した対象患者の病期に合わせた的確な指導を行うことが可能となります。株式会社データホライゾンにおいて開発した傷病管理システムを用いて、糖尿病患者を階層化し特定します。

### ●マスタの整備

マスタ(傷病名、医薬品、診療行為等レセプトに記載されるすべてを網羅したデータベース)を定期的にメンテナンスし最新状態に保ちます。

### ●レセプト分析システムおよび分析方法(特許第5992234号)

中長期にわたるレセプトから特定の患者についてアクティブな傷病名とノンアクティブな傷病名を識別します。

レセプトに記載されている傷病名は、追記式のため、過去から現在までの傷病名が記載されており、その内、約4割が現在治療中でない傷病名といわれています。重症化予防や受診勧奨等、個別の保健事業の実施にあたっては、現在治療中の傷病名のみを取り出し、該当者を抽出する必要があります。前述の「医療費分解技術」では、当月の傷病名別にどのような医薬品や診療行為が使用されたのかは把握できました。しかし、傷病の種類によっては、中長期にわたる投薬や診療がなされるため、必ずしもその傷病名がアクティブかノンアクティブかを識別することが困難でしたが、当特許技術で解決しました。



第1期 倉吉市国民健康保険データヘルス計画

平成31年3月

---

【発行】 鳥取県 倉吉市

【編集】 倉吉市 福祉保健部 保険年金課

---

(住所) 〒682-8611  
鳥取県倉吉市葵町722

(電話) 0858-22-8151